



INFORMATION-TECHNOLOGY PROMOTION AGENCY, JAPAN

2007情財第295号

2007年度第2回  
情報セキュリティに関する脅威に  
対する意識調査 報告書

2008年4月

独立行政法人 情報処理推進機構

# 目次

1. 調査概要	2
調査概要	3
基本属性	4
2. 調査結果の概要	6
3. 調査結果	9
3.1. インターネットの利用状況	10
3.2. セキュリティ上の脅威に対する認識	21
3.3. 情報セキュリティに対する行動実態	48
参考 調査票	

# 1. 調査概要

# 調査概要

1. 調査名 「情報セキュリティに関するアンケート」
2. 調査目的 個人PCユーザーの情報セキュリティに関する認知、理解、意識、および行動の現状を把握する。その結果を基に、個人PCユーザーに対するセキュリティ関連施策の効果や課題を抽出し、今後の施策検討に資することを目的とする。
3. 調査方法 ウェブアンケート調査  
株式会社イプシ・マーケティング研究所が調査設計・作成した調査票に基づき、株式会社マクロミル\*がリサーチモニターを対象に調査を実施した。  
\*国内有効モニター数:約60万人(2007年12月現在)
4. 調査対象 15歳(高校生)以上のPCインターネット利用者(自宅にネット接続PCを保有する人)
5. 調査期間 2008年1月18日(金)～2008年1月19日(土)
6. 有効回答数

5,148名(男性 50.0%・女性 50.0%、平均年齢 40.1歳)

各性別・年代別に分析を行うのに十分なサンプルを確保するために、性別・年代別に割付回収を行い、インターネット利用者数(インプレス社「インターネット白書2007」)に応じてウェイトバック集計を行った。

		母集団	母集団 (%)	回収数	ウェイト値	規正標本数	規正標本数 (%)
男性	10代	152	4.1%	429	0.50	213	4.1%
	20代	375	10.2%	429	1.22	524	10.2%
	30代	448	12.2%	429	1.46	626	12.2%
	40代	334	9.1%	429	1.09	467	9.1%
	50代	349	9.5%	429	1.14	488	9.5%
	60代～	294	8.0%	429	0.96	410	8.0%
女性	10代	151	4.1%	429	0.49	211	4.1%
	20代	361	9.8%	429	1.18	504	9.8%
	30代	426	11.6%	429	1.39	595	11.6%
	40代	319	8.7%	429	1.04	446	8.7%
	50代	283	7.7%	429	0.92	395	7.7%
	60代～	193	5.2%	429	0.63	270	5.2%
合計		3,685	100.0%	5,148		5,148	100.0%

注)10代は15-19歳

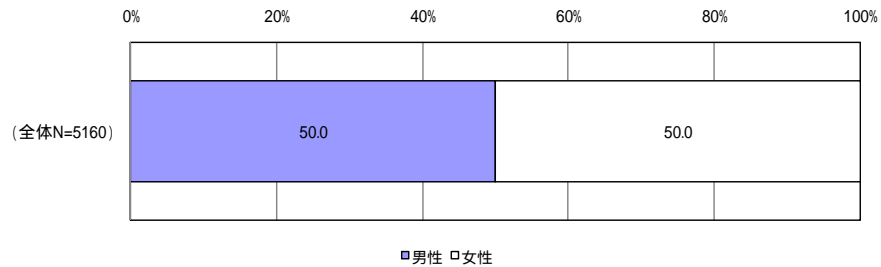
## 7. 調査内容

- PCインターネットの利用状況
- インターネット上の脅威の認知状況と事象の理解状況
- インターネット上の脅威の被害遭遇経験
- 情報セキュリティ対策方法の認知状況・意識と実施状況
- 組織における情報セキュリティ対策の実施状況

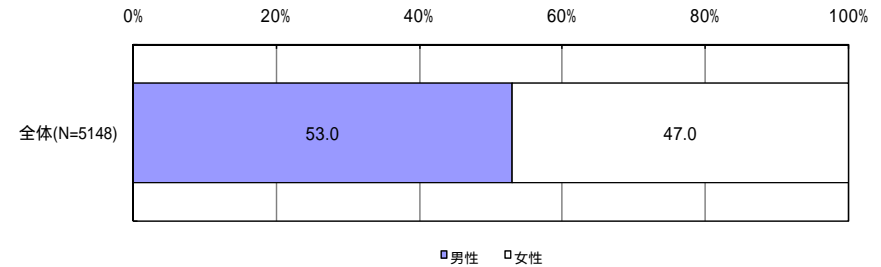
# 基本属性(1)

- ウェイトバック後の性別構成は、「男性」が53.0%、「女性」が47.0%である。
- ウェイトバック後の年齢構成は、「30代」をピークとし、次いで「20代」が多く、「40代」～「60代以上」の合計が約半数を占める。「10代」は全年代の中で最も少なく1割弱となった。

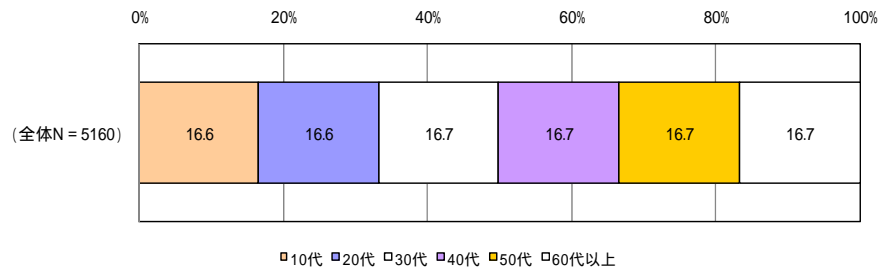
**性別[回答者全体]  
(ウェイトバック前)**



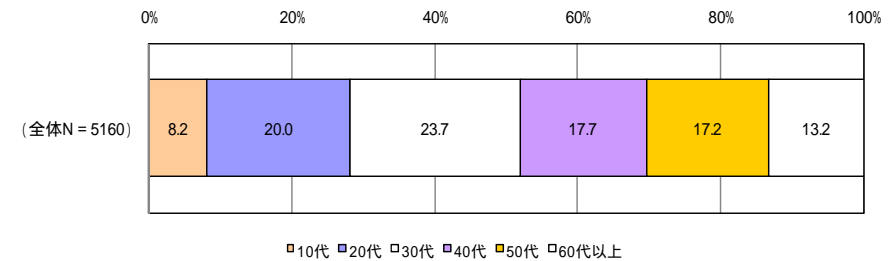
**性別[回答者全体]  
(ウェイトバック後)**



**年齢構成[回答者全体]  
(ウェイトバック前)**



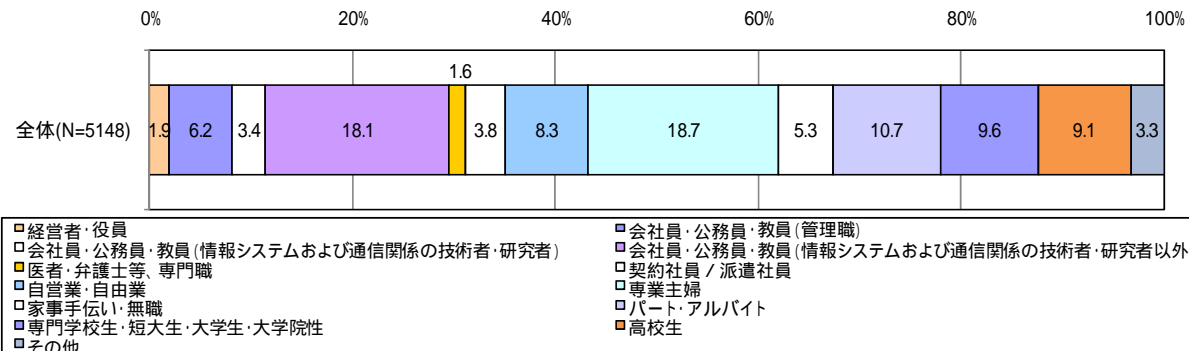
**年齢構成[回答者全体]  
(ウェイトバック後)**



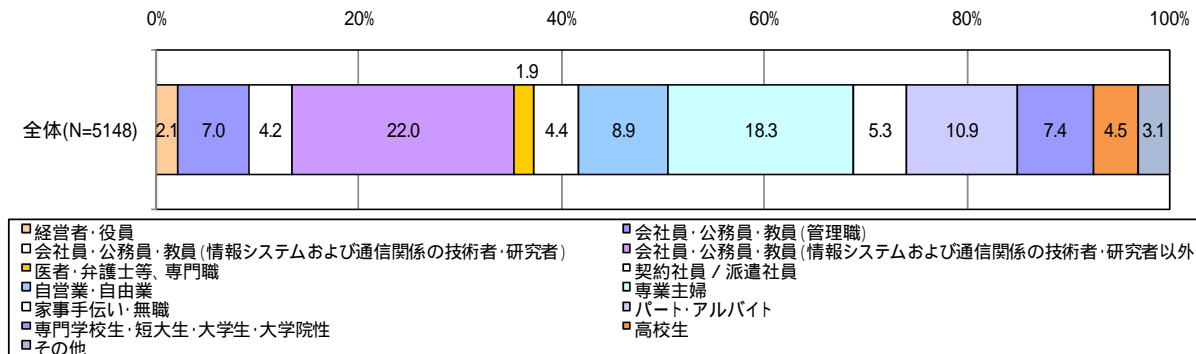
## 基本属性(2)

- ウェイトバック後の職業構成は、「会社員・公務員・教員」が最も多く計33.2%、次いで「専業主婦」が18.3%である。

職業[回答者全体](ウェイトバック前)



職業[回答者全体](ウェイトバック後)



## 2. 調査結果の概要

## 情報セキュリティに関する脅威に対する意識調査

「Microsoft Update等によるセキュリティパッチの更新」の実施率は67.3%。  
非実施者の5割超が自動更新機能があることを知らず、常にOSを最新状態に  
保つべきという意識が低い。

男性の実施率は8割だが、女性では半数程度。10代での実施率の低さが目立つ。

「Microsoft Update等OSの自動アップデート機能」の認知率は77.1%。認知率には男女差、年代差が大きく、女性と10代のおよそ3人に1人、また、実施不明者の65.9%がOSの自動アップデート機能を知らない。

「OSは、セキュリティ更新プログラムが出たらすぐにインストールし、常に最新の状態にしておくべきである」という人は、実施者では9割を超えるが、非実施者では7割、実施不明者では6割と意識に差が大きい。

自動アップデート機能の周知の徹底に加え、常にOSを最新状態に保つ必要性を啓蒙すべきである。

「3.3.2 情報セキュリティ対策の実施状況(1)～(7)」(P53～59)参照

「3.3.3 情報セキュリティ対策に対する意識(1)～(2)」(P60～61)参照

最も実施率の高いセキュリティ対策は「怪しいメール・添付ファイルの削除」。  
ただし、差出人名や件名の表示だけでは「“怪しいメール”かどうかの判断が難しい」  
という人が半数に上る。

「怪しいメール・添付ファイルの削除」は84.6%が実施。非実施者は1割、実施不明者は5%。

“怪しいメール”の判断に迷う人は年代が高い層ほど多くなり、60代以上では7割。実施していても判断根拠が明確でないケースが高齢層ほど存在することが懸念される。「怪しい」かどうかの判断基準について理解促進をすべきである。

「3.3.2 情報セキュリティ対策の実施状況(1)～(4)」(P53～56)参照

「3.3.3 情報セキュリティ対策に対する意識(4)～(5)」(P63～64)参照

インターネット利用中に、新しいプログラムやソフトのインストールを推奨された際、  
それが「安全かどうか判断を下すことは難しい」と感じる人が6割に上る。

「新しいプログラムやソフトのダウンロードを勧める表示が出た時、それがセキュリティ被害をもたらすような怪しいものかどうか判断するのは難しい」という人が64.2%。ソフト等のダウンロードに際して安全かどうかの判断を下すことには、男女差、年代差があり、

女性や年代が高い層ほど判断を難しいと感じる人が多い。メールと同様、「怪しい」かどうかの判断基準について理解促進が望まれる。

「3.3.3 情報セキュリティ対策に対する意識(6)」(P65)参照

## 情報セキュリティに関する脅威に対する意識調査

「セキュリティ対策ソフトの導入・活用」は7割超が実施。  
非実施者の8割は、自分に合った製品・機能の見極めに際し、迷いを感じている。  
セキュリティ対策ソフトの利用徹底には、製品に対する理解促進が必要。

「セキュリティ対策ソフトの導入・活用」は74.3%が実施。非実施者は18.8%、実施不明者は6.9%。  
「種類が多いので、どれを選ぶべきかわからない」「各機能のうち、自分のPCの使用状況に合った機能がどれか選定に迷う」という人が、それぞれ全体の68.4%、66.2%に上る。非実施者では更に増え、81.7%、79.8%と多数を占める。  
非実施者の購入段階での阻害要因を取り除くべく、セキュリティ対策ソフトの種類・機能の特徴について、特別な知識がなくても簡単に選択できるような周知方法が望まれる。

「3.3.2 情報セキュリティ対策の実施状況(1)～(4)」(P53～56)参照  
「3.3.4 セキュリティ対策ソフトに対する意識(1)～(5)」(P66～70)参照

組織の情報セキュリティに関する規定策定率は大企業で8割、中小企業では半数以下。  
ただし、中小企業の「経営者・役員」でのセキュリティ意識が高まっており、  
今後は中小企業でのセキュリティ対策の強化が期待される。

組織における情報セキュリティ関連のルール策定率は企業勤務者全体で63.1%、そのうち9割近くが遵守。策定率には企業規模による差が大きく、「300人以上」では82.2%、「300人未満」では46.4%。いずれの情報セキュリティ対策の実施率も「300人以上」のほうが高い。  
一方で、情報セキュリティに対する意識について[職業別]の結果をみると、2007年3月調査で意識の低さが指摘されていた「経営者・役員」で「非常に重要」との回答が6割を超えており、「情報システム担当」と並ぶ意識の高さが示された。「経営者・役員」の9割が「300人未満」の企業勤務者であることから、中小企業のトップの意識改革が進んでいることがうかがえる。

「3.3.2 情報セキュリティに対する考え(3)」(P33)参照  
「3.3.5 組織における情報セキュリティ対策の実施状況(1)～(7)」(P71～77)参照

### 3. 調査結果

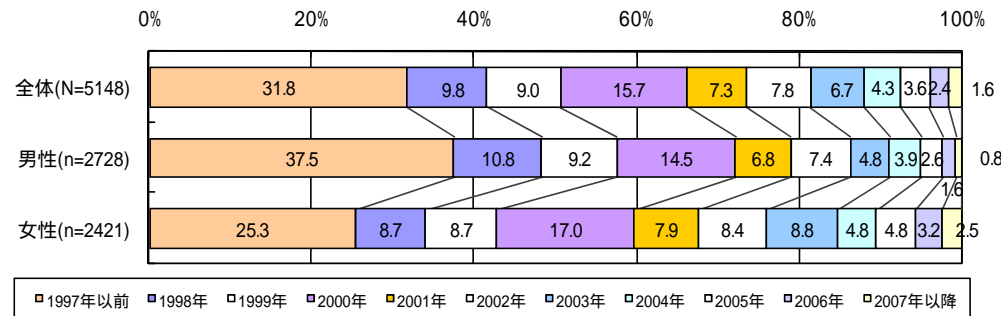
パーセンテージ数値は小数点第2位以下を四捨五入しているため、個々の数値の合計値は100%にならない場合がある。

## 3.1. インターネットの利用状況

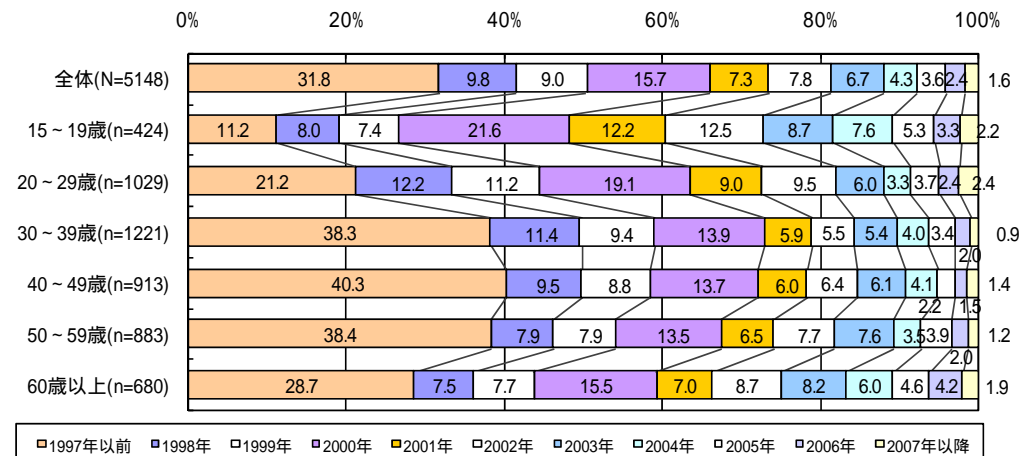
## 3.1.1 PCインターネット利用開始時期

- 回答者全員にPCでのインターネット利用開始時期について尋ねた。
- 最も多いのは、「1997年以前」で31.8%、次いで「2000年」15.7%と続く。
- [性別]では、男性の「1997年以前」が37.5%、女性は25.3%であった。
- [年代別]にみると、30代～50代では「1997年以前」が4割前後と最も多くなっている。20代は「1997年以前」と「2000年」がほぼ同程度、10代のピークは「2000年」で「2001年以降」が半数に上る。

PCインターネットの利用開始時期  
[回答者全体] / [性別]

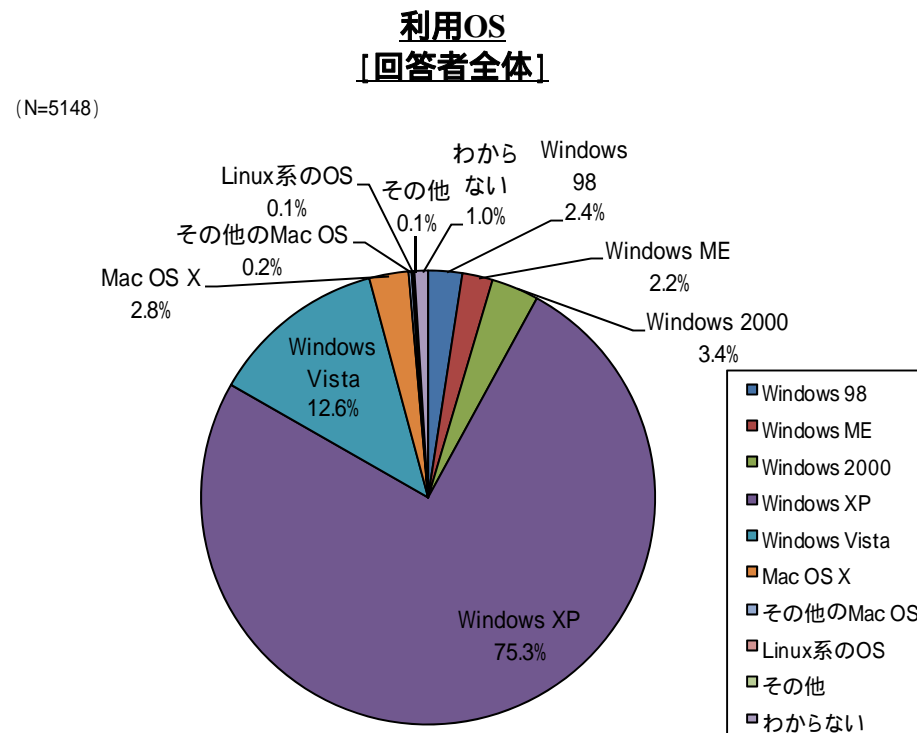


PCインターネットの利用開始時期  
[年代別]



## 3.1.2 利用OSの種類

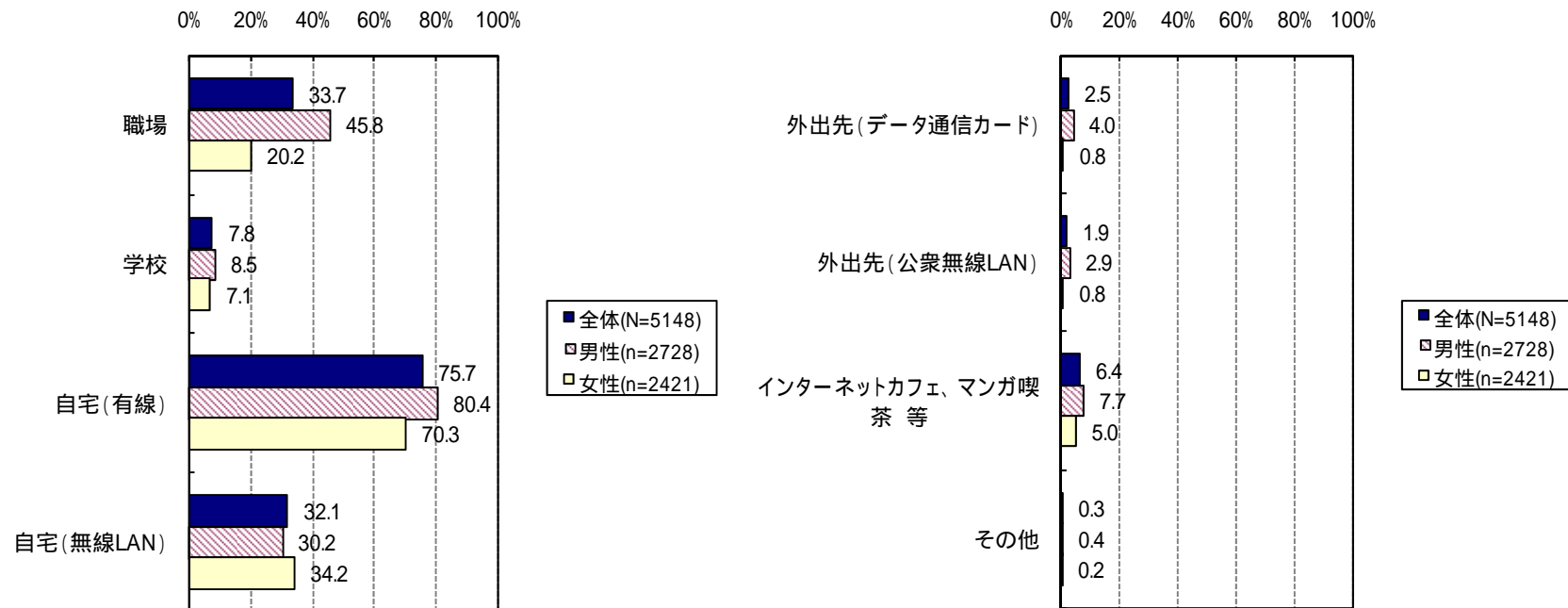
- 回答者全員に、主に利用しているPCの利用OSについて尋ねた。
- 最も多いのは「Windows XP」で75.3%、「Windows Vista」は12.6%、その他「Windows」系OSが計8.0%で、合計すると「Windows」ユーザーが95.8%と多数を占める。



### 3.1.3 PCインターネット利用場所(1)

- 回答者全員にPCでインターネットを利用する場所を複数回答で求めた。
- 全体では「自宅(有線)」が最も多く75.7%、次いで「職場」33.7%、「自宅(無線LAN)」32.1%と続く。
- [性別]では、男性で「職場」が45.8%、女性では20.2%と男女差が目立つ。

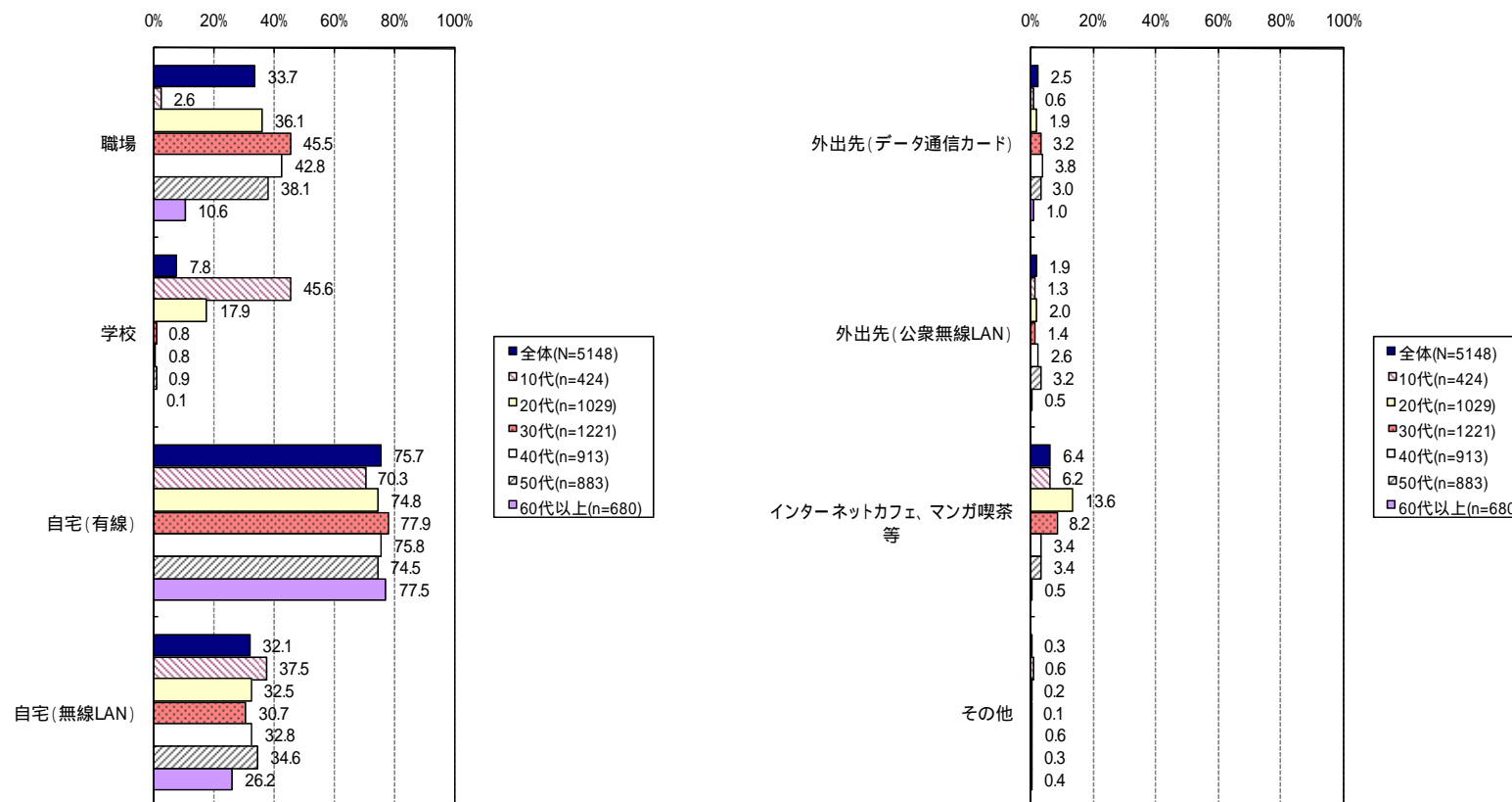
PCインターネットの利用場所(複数回答)  
[回答者全体] / [性別]



### 3.1.3 PCインターネット利用場所(2)

- 回答者全員にPCでインターネットを利用する場所を複数回答で求めた。
- [年代別]では、「インターネットカフェ、マンガ喫茶等」は、20代が最も多く13.6%、次いで30代が8.2%、10代が6.2%で続いている。

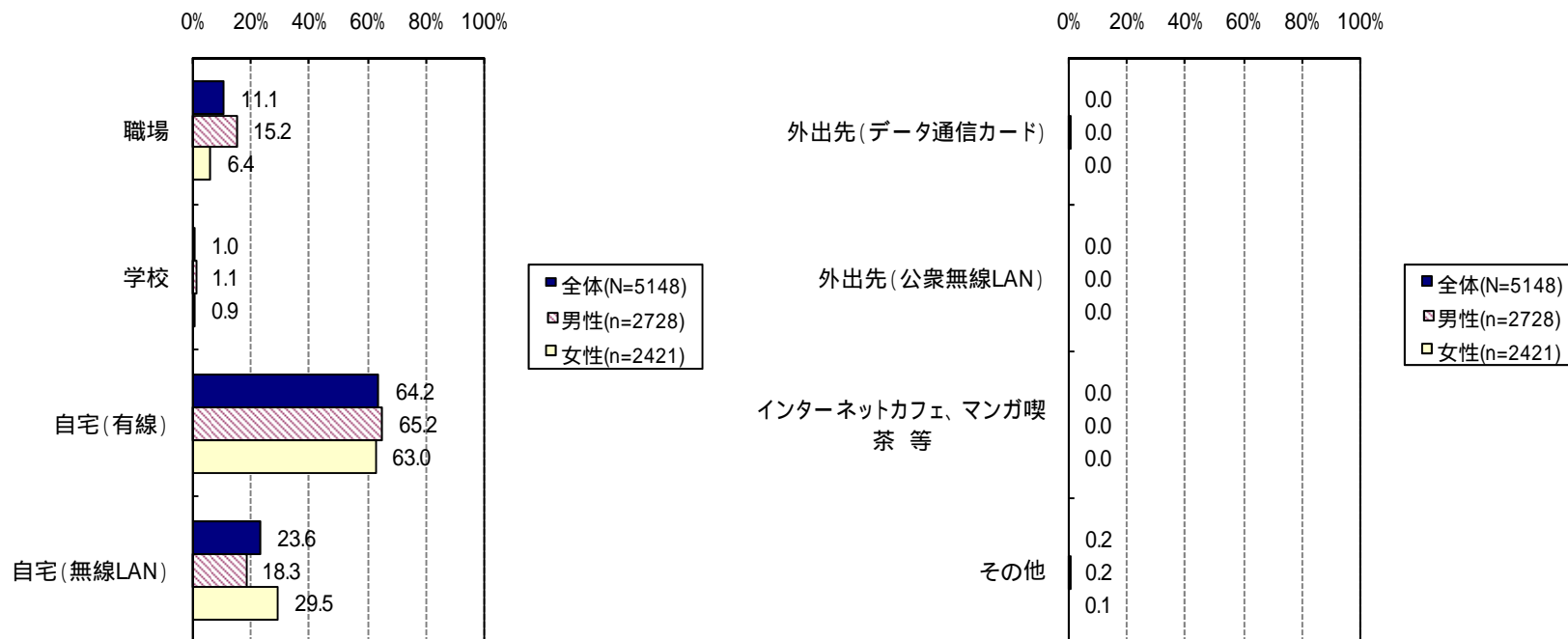
PCインターネットの利用場所(複数回答)  
[回答者全体] / [年代別]



### 3.1.3 PCインターネット利用場所(3)

- このうち、最も長時間利用する場所を尋ねたところ、最も多いのは「自宅(有線)」で64.2%、次いで「自宅(無線LAN)」23.6%が続いた。「職場」は11.1%にとどまり、利用時間は自宅のほうが上回っている。
- [性別]では、「職場」を最長利用場所と回答する割合は、男性で15.2%、女性では6.4%と1割に満たない。

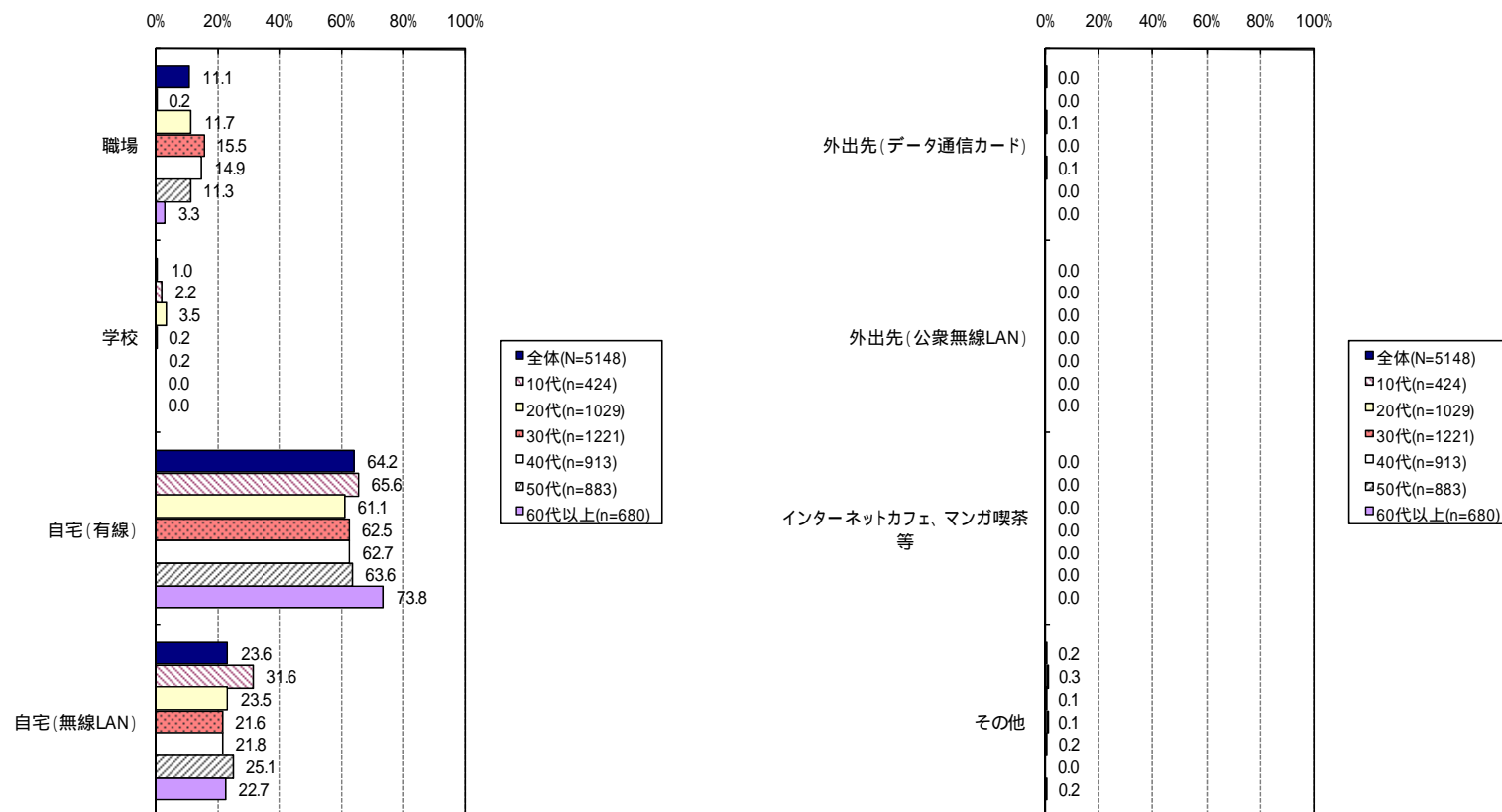
PCインターネットの最長利用場所  
[回答者全体] / [性別]



### 3.1.3 PCインターネット利用場所(4)

- 最も長時間利用する場所を尋ねたところ、[年代別]では、「自宅(有線)」は60歳以上では73.8%と7割を超えている。「職場」が最長利用場所と回答する人は、20代~50代までに目立った年代差は認められず、いずれも1割程度である。

PCインターネットの最長利用場所  
[回答者全体] / [年代別]

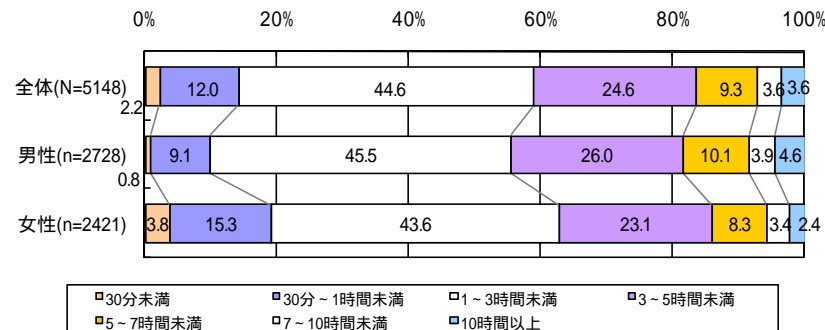


## 3.1.4 1日のPCインターネット利用時間

- 回答者全員に1日あたりの平均的なPCインターネット利用時間を尋ねた。
- 最も多いのは「1～3時間未満」で44.6%。次いで「3～5時間未満」24.6%、「30分～1時間未満」が12.0%で続く。
- [性別]では、男性で「3～5時間未満」が女性よりもやや多く、女性で「30分～1時間未満」が男性よりもやや多い。
- [年代別]では、利用時間に大きな年代差はみられないが、1日あたり「5時間以上」利用する長時間利用者に着目すると、20代が最も多く19.4%と2割程度に上っている。

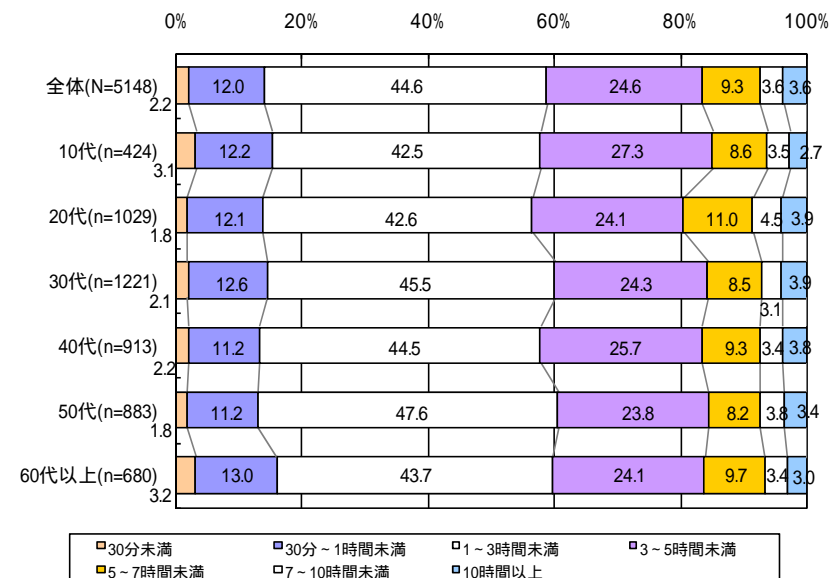
PCインターネットの利用時間(1日平均)

[回答者全体] / [性別]



PCインターネットの利用時間(1日平均)

[回答者全体] / [年代別]



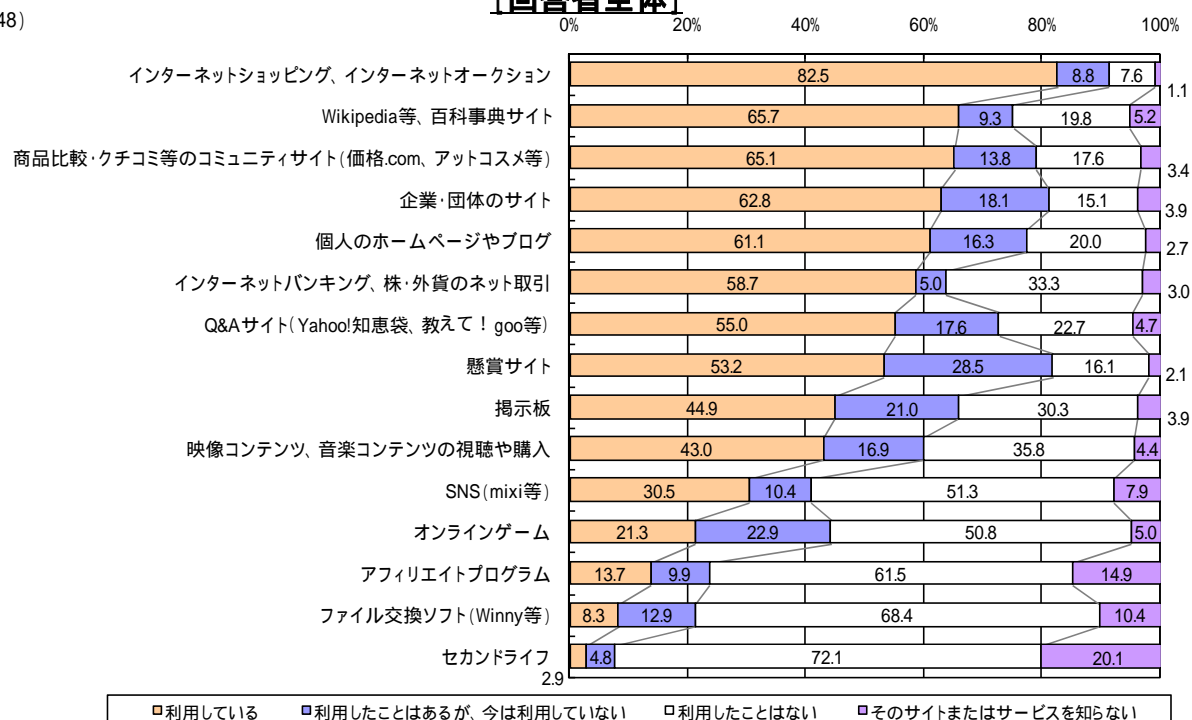
### 3.1.5 PCインターネット利用行動(1)

- 回答者全員にPCインターネット利用行動について尋ねた。
- 「インターネットショッピング、オークション」の利用者は8割を超えており、未経験者は1割を切る。
- 「インターネットバンキング、株・外貨のネット取引」は、利用者58.7%に対し、「利用したことはない」は33.3%と、未経験者はおよそ3人に1人という結果であった。
- 「アフィリエイトプログラム」の利用者は13.7%、現在利用を休止している人までを含めると23.6%となり、利用経験者はおよそ4人に1人程度となる。
- 「セカンドライフ」の利用者は2.9%、利用経験者は計7.7%と1割に満たない。サービス非認知者が2割に上っており、提示したサービスの中で最も認知度が低い。

#### PCインターネット利用行動

【回答者全体】

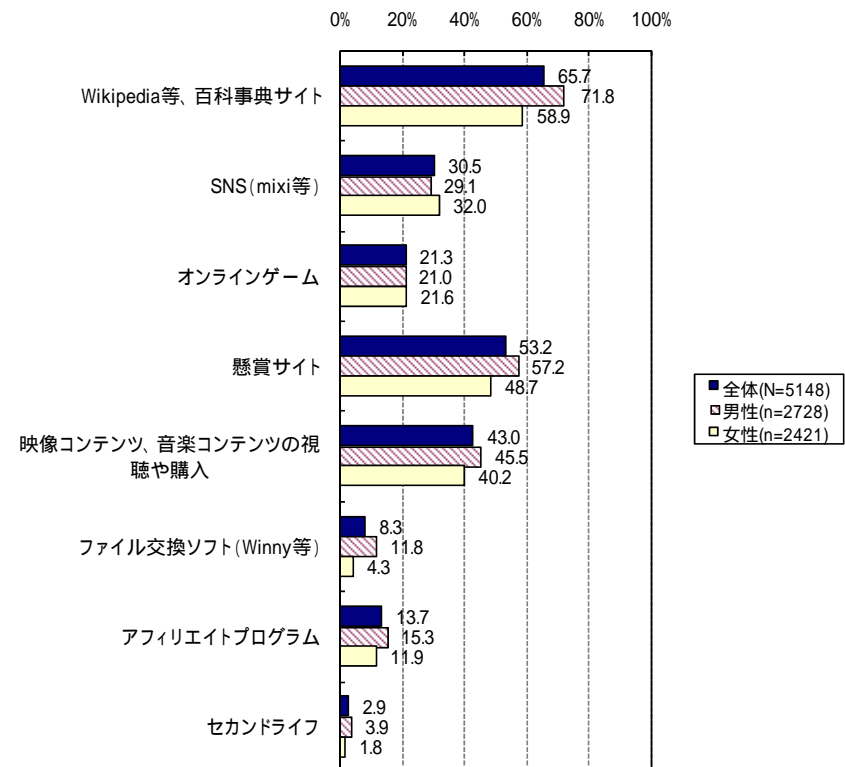
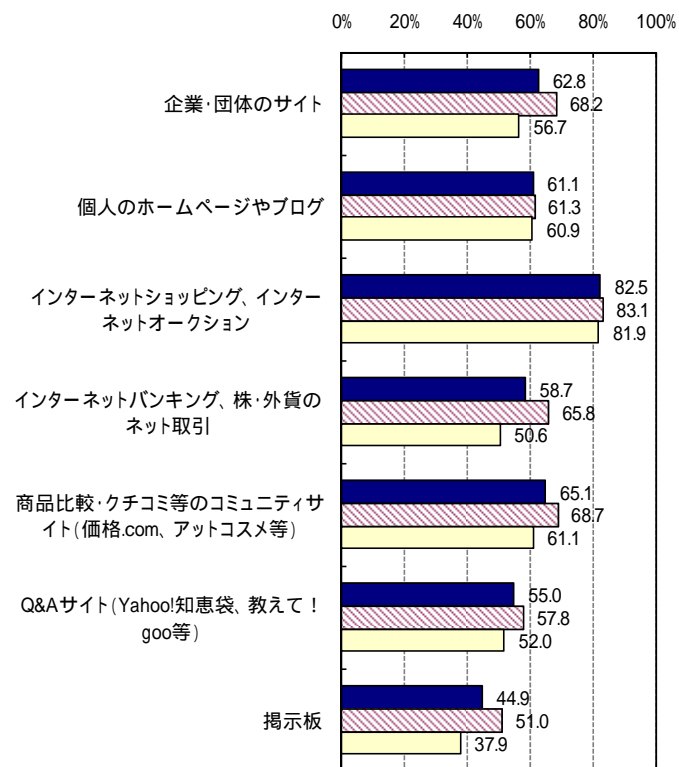
(N=5148)



## 3.1.5 PCインターネット利用行動(2)

- PCインターネット利用行動について、各サイトやサービスの利用率を[性別]にみると、男性の方が女性より利用率が高い項目が多い。
- ただし、「個人のホームページやブログ」、「インターネットショッピング、インターネットオークション」、「オンラインゲーム」の利用率には、男女差はほとんどみられない。
- 「SNS(mixi等)」の利用は、やや女性が上回るがその差は僅かである。

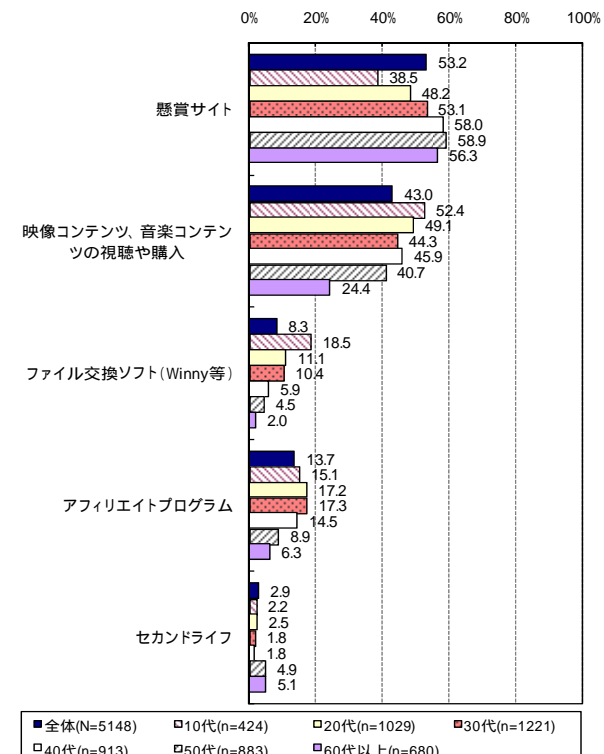
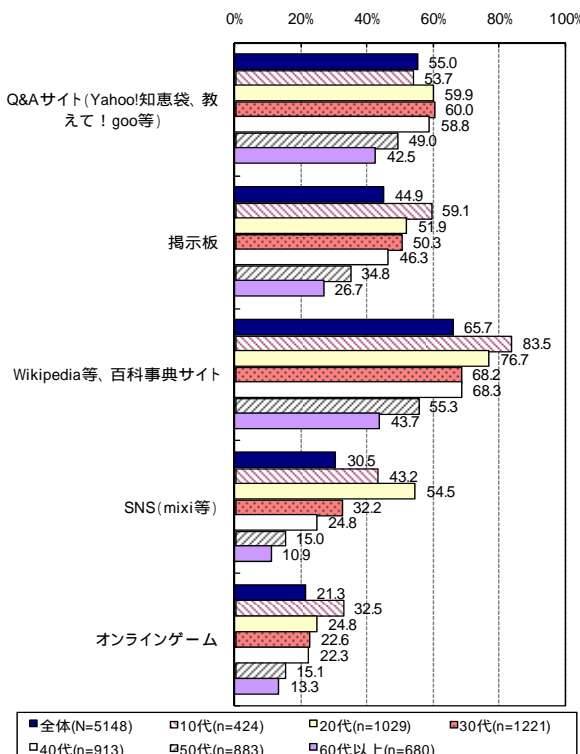
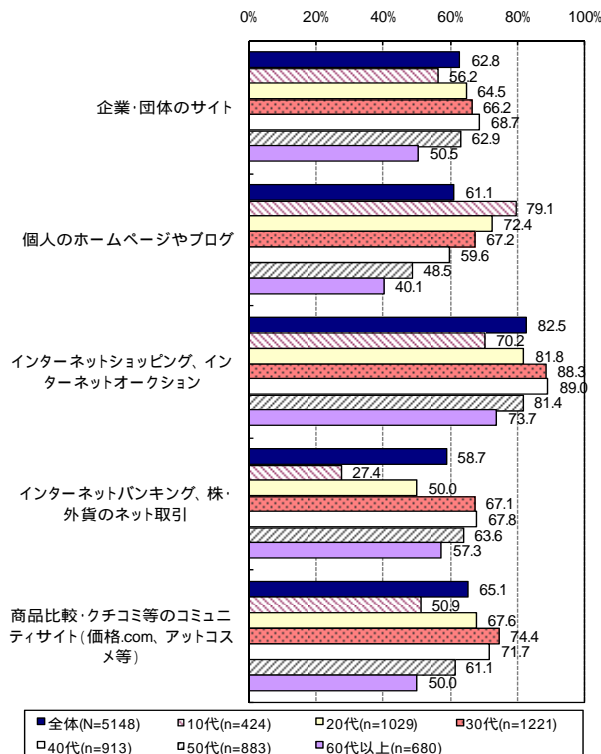
PCインターネット利用行動<利用している>  
[性別]



### 3.1.5 PCインターネット利用行動(3)

- PCインターネット利用行動について、各サイトやサービスの利用率を[年代別]にみると、「個人のホームページやブログ」、「掲示板」、「Wikipedia等、百科事典サイト」、「オンラインゲーム」、「映像コンテンツ、音楽コンテンツの視聴や購入」、「ファイル交換ソフト(Winny等)の利用」については、10代が最も利用率が高く、若年層ほど利用率が高い傾向にある。中でも、「個人のホームページやブログ」、「Wikipedia等、百科事典サイト」の10代の利用率は8割前後と高い。
- 「SNS(mixi等)」の利用は、20代が54.5%と過半数を超え、最も多い。
- 「セカンドライフ」の利用者はごくわずかであるが、50代、60代が他の年代に比べてやや多い。

PCインターネット利用行動<利用している>  
[年代別]

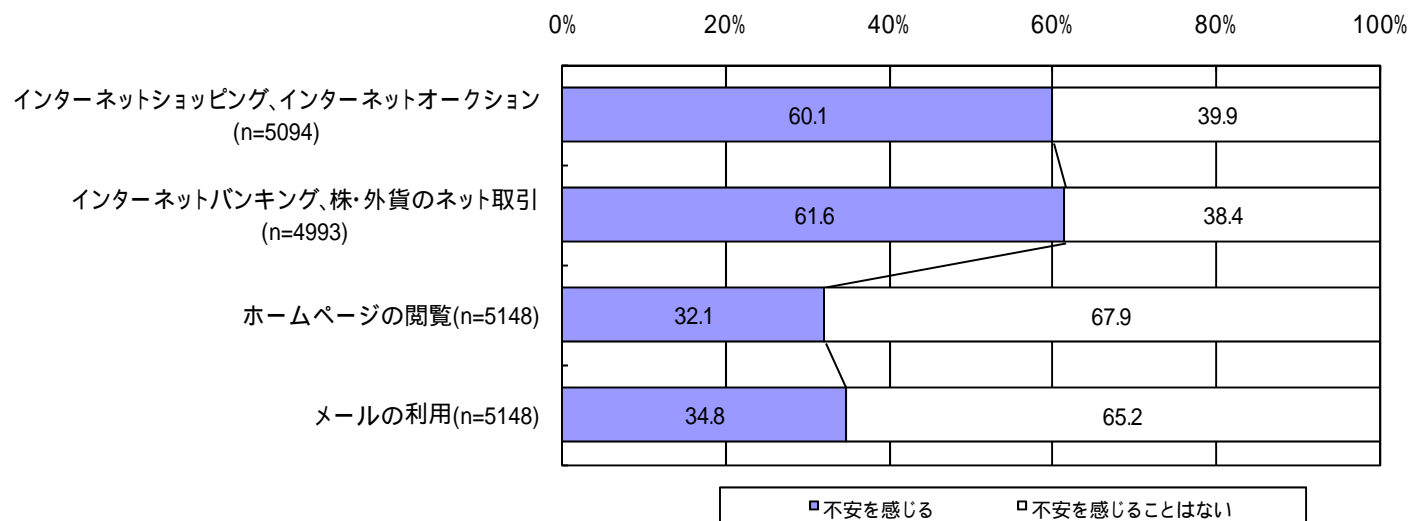


## 3.2. セキュリティ上の脅威に対する認識

## 3.2.1 PCインターネット利用行動に際する不安感(1)

- PCインターネット利用に伴い、主なサービス利用に際して不安を感じることはあるか(または、感じた経験はあるか)を尋ねた。(なお、「インターネットショッピング、インターネットオークション」及び「インターネットバンキング、株・外貨のネット取引」については、前出の設問(P18)で「そのサイトまたはサービスを知らない」と回答した人を除いている。)
- 「インターネットショッピング、インターネットオークション」、「インターネットバンキング、株・外貨のネット取引」については、各サービス認知者のうち、6割の人が「不安を感じる」という回答であった。
- 「ホームページの閲覧」及び「メールの利用」に際して「不安を感じる」という人は、それぞれ回答者全体の3割程度であった。

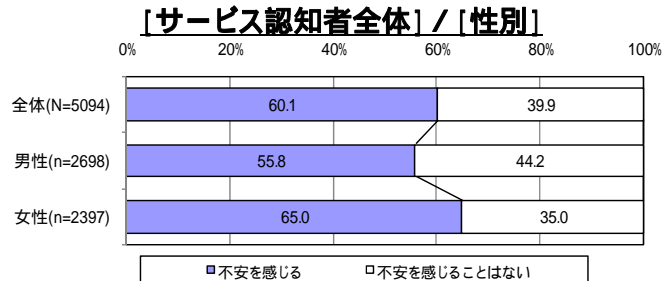
PCインターネット利用に際しての不安有無  
[回答者全体]



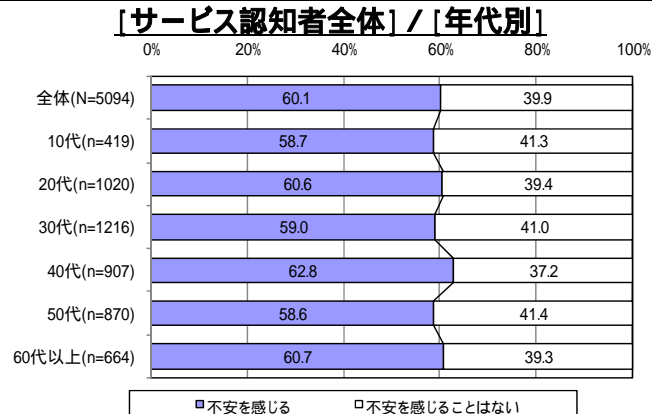
## 3.2.1 PCインターネット利用行動に際する不安感(2)

- 「インターネットショッピング、インターネットオークション」のサービス認知者に対し、利用に際し不安を感じることはあるか(または、感じた経験はあるか)を尋ねた。
- [性別]にみると、女性のほうが男性よりも「不安を感じる」という人が多い。[年代別]による差はあまりみられない。
- [サービス利用経験別]では、「利用したことはない」人の8割超、「利用したことはあるが、今は利用していない」人の75%近くが、「不安を感じる」と回答している。

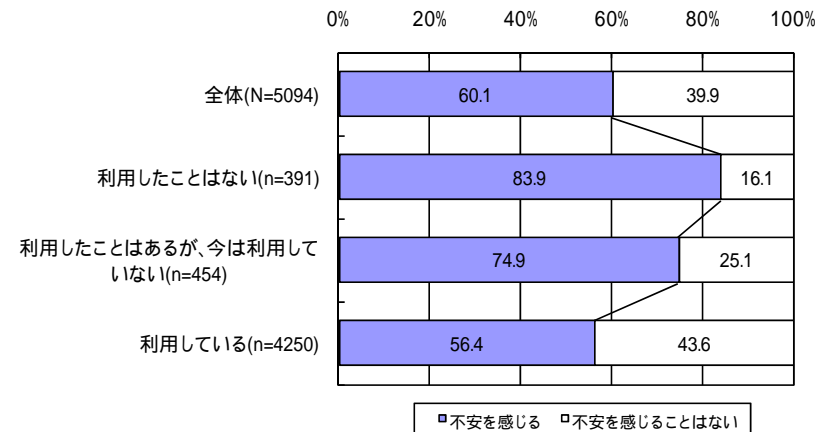
**PCインターネット利用に際しての不安有無**  
**<インターネットショッピング、インターネットオークション>**



**PCインターネット利用に際しての不安有無**  
**<インターネットショッピング、インターネットオークション>**



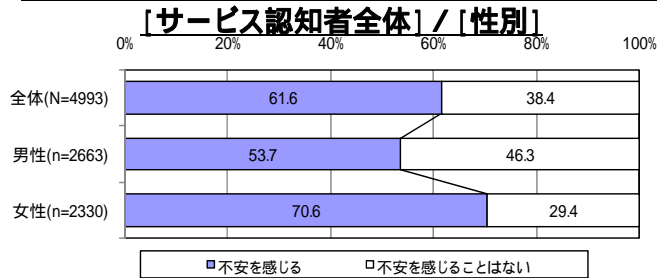
**PCインターネット利用に際しての不安有無**  
**<インターネットショッピング、インターネットオークション>**  
**[サービス認知者全体] / [サービス利用経験別]**



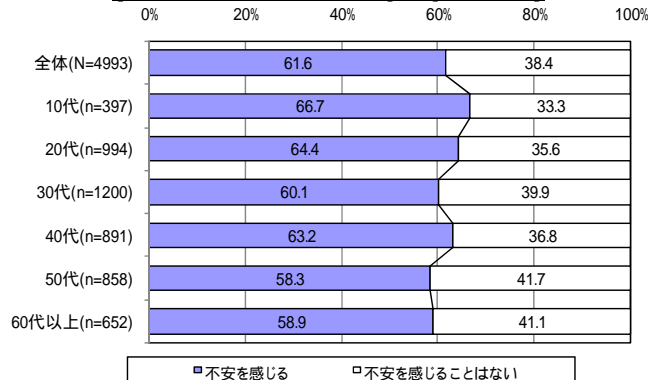
## 3.2.1 PCインターネット利用行動に際する不安感(3)

- 「インターネットバンキング、株・外貨のネット取引」のサービス認知者に対し、利用に際し不安を感じることはあるか(または、感じた経験はあるか)を尋ねた。
- [性別]にみると、女性のほうが男性よりも「不安を感じる」という人が多く、7割に上っている。「インターネットショッピング、インターネットオークション」に対する不安感よりも、男女差が大きい。
- [年代別]では、若年層ほど「不安を感じる」と回答する割合が高い。
- [サービス利用経験別]では、「利用したことはない」人で「不安を感じる」という人が8割を超えている。

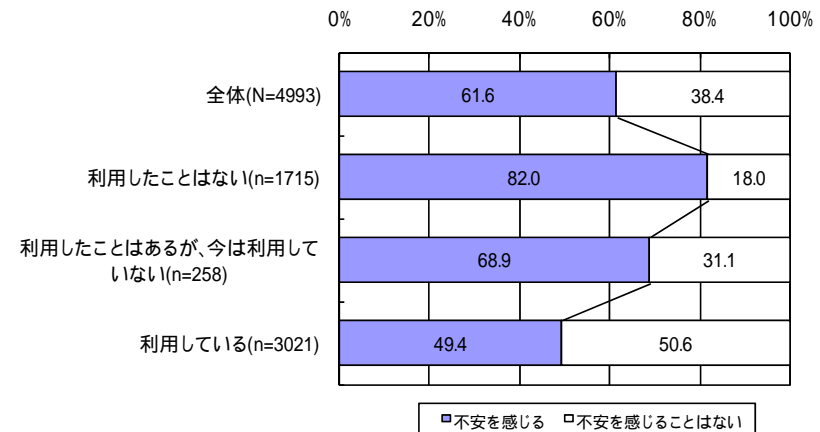
**PCインターネット利用に際しての不安有無**  
**<インターネットバンキング、株・外貨のネット取引>**  
**[サービス認知者全体] / [性別]**



**PCインターネット利用に際しての不安有無**  
**<インターネットバンキング、株・外貨のネット取引>**  
**[サービス認知者全体] / [年代別]**

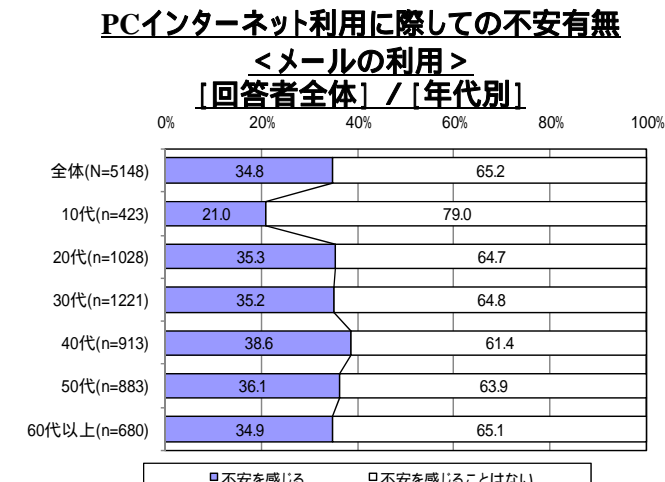
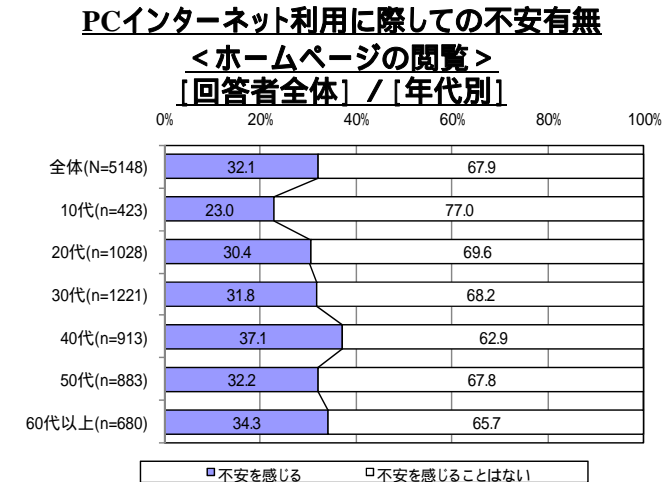
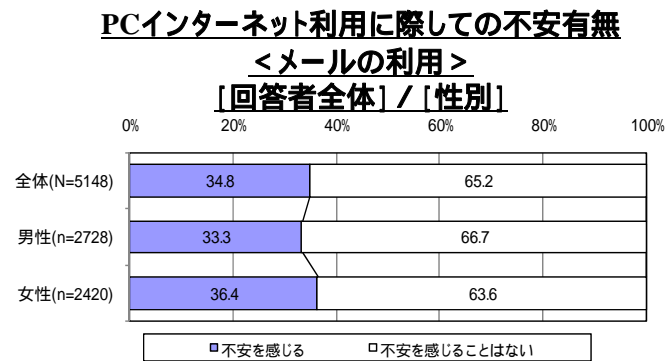
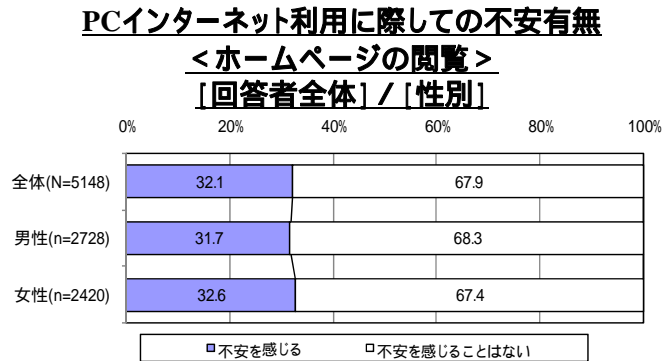


**PCインターネット利用に際しての不安有無**  
**<インターネットバンキング、株・外貨のネット取引>**  
**[サービス認知者全体] / [サービス利用経験別]**



## 3.2.1 PCインターネット利用行動に際する不安感(4)

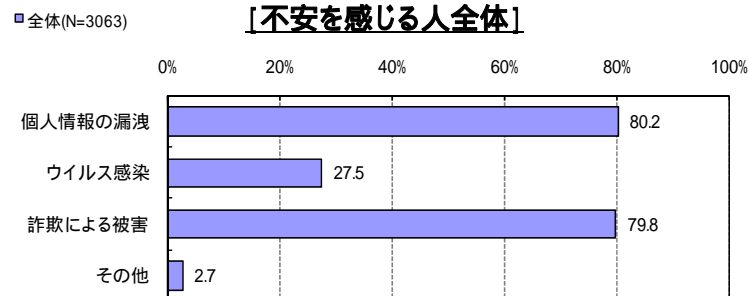
- 回答者全員に「ホームページの閲覧」及び「メールの利用」に際して、不安を感じることはあるか(または、感じた経験はあるか)を尋ねた。
- [性別]にみると、「ホームページの閲覧」に対する不安は男女差がほとんどないが、「メールの利用」に対してはわずかに女性のほうが「不安を感じる」人が多い。ただし、差はあまり大きくない。
- [年代別]では、「ホームページの閲覧」及び「メールの利用」どちらも、10代で「不安を感じる」人が他の年代に比べて少ない傾向にある。



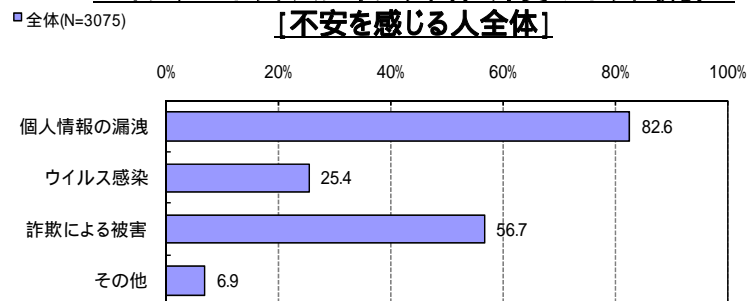
## 3.2.1 PCインターネット利用行動に際する不安感(5)

- PCインターネット利用に伴い、主なサービス利用に際して不安を感じることもあると回答した人に、どのようなことに不安を感じるか尋ねた。
- 「インターネットショッピング、インターネットオークション」利用に際しては、「個人情報の漏洩」と「詐欺による被害」がほぼ同率で、共に8割程度に上っている。
- 「インターネットバンキング、株・外貨のネット取引」利用に際しては、「個人情報の漏洩」への不安が最も多く82.6%に上り、「詐欺による被害」は56.7%であった。
- 「ホームページの閲覧」及び「メールの利用」に際しては、「ウイルス感染」への不安が最も多く8割程度、次いで、「個人情報の漏洩」が5割～6割程度であった。

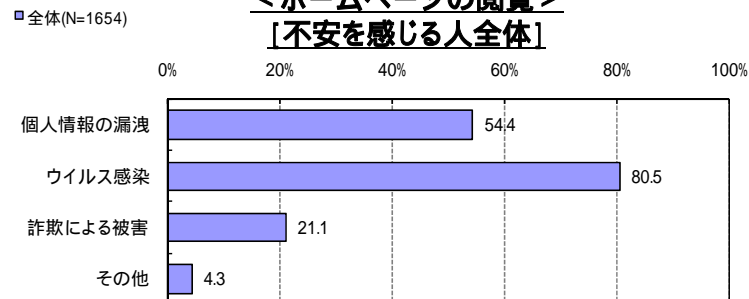
PCインターネット利用に際しての不安事項(複数回答)  
 <インターネットショッピング、インターネットオークション>



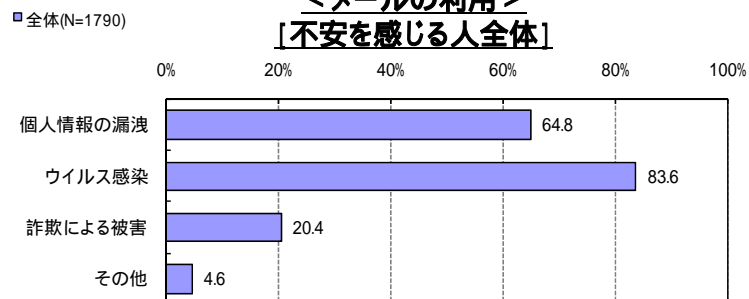
PCインターネット利用に際しての不安事項(複数回答)  
 <インターネットバンキング、株・外貨のネット取引>



PCインターネット利用に際しての不安事項(複数回答)  
 <ホームページの閲覧>



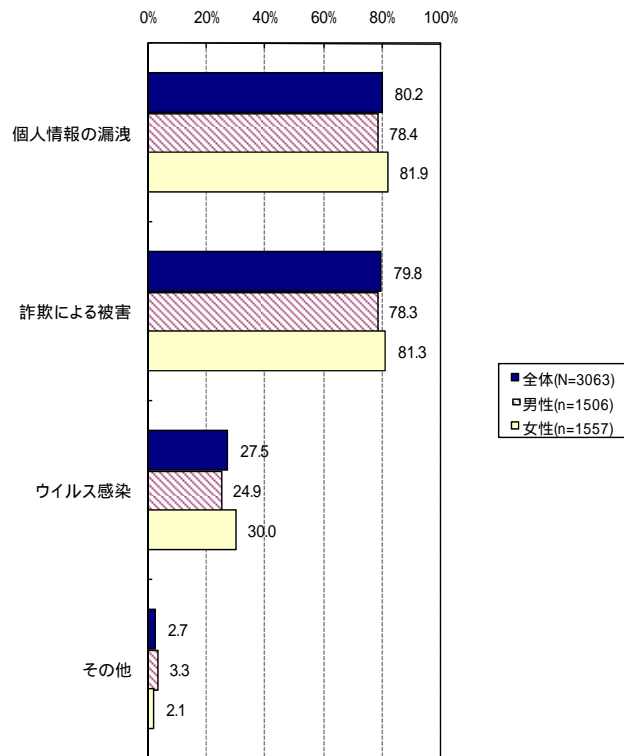
PCインターネット利用に際しての不安事項(複数回答)  
 <メールの利用>



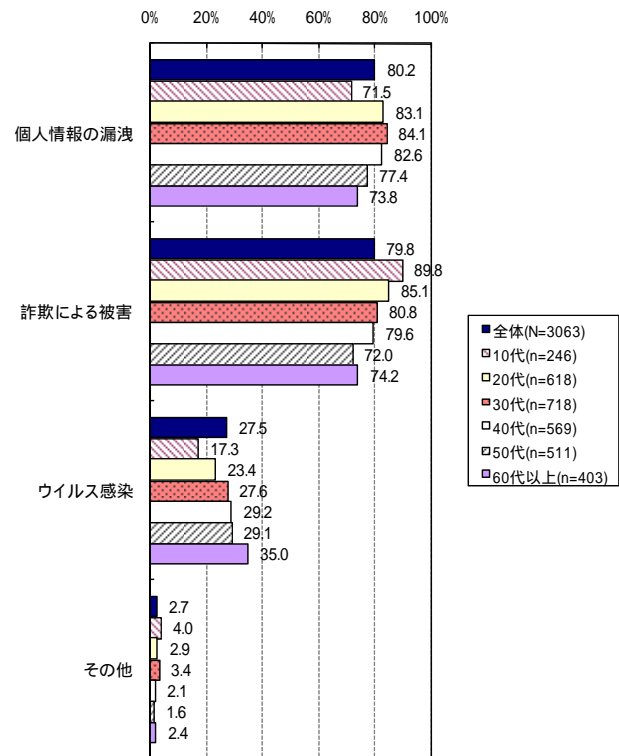
## 3.2.1 PCインターネット利用行動に際する不安感(6)

- 「インターネットショッピング、インターネットオークション」利用に際して不安を感じる事項を[性別]にみると、「個人情報の漏洩」と「詐欺による被害」に対する不安感への男女差はほとんどないが、「ウイルス感染」への不安を感じる人は女性のほうがやや多い。
- [年代別]にみると、30代以上では「個人情報の漏洩」が僅差でトップであるが、10代、20代の若年層では「詐欺による被害」のほうが「個人情報の漏洩」よりも上回っている。「ウイルス感染」への不安を感じる人は年代が上がるほど増え、60代以上では35.0%とおよそ3人に1人程度に上る。

**PCインターネット利用に際しての不安事項(複数回答)**  
**<インターネットショッピング、インターネットオークション>**  
**[不安を感じる人全体] / [性別]**



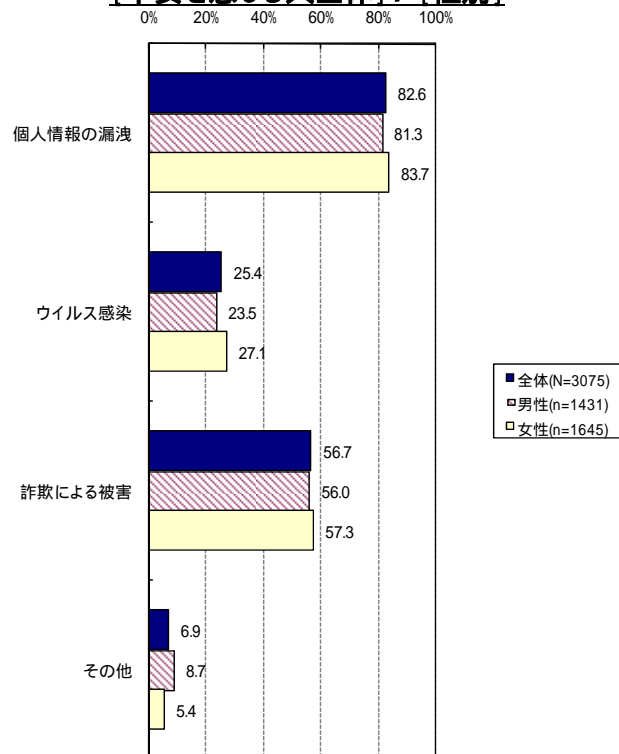
**PCインターネット利用に際しての不安事項(複数回答)**  
**<インターネットショッピング、インターネットオークション>**  
**[不安を感じる人全体] / [年代別]**



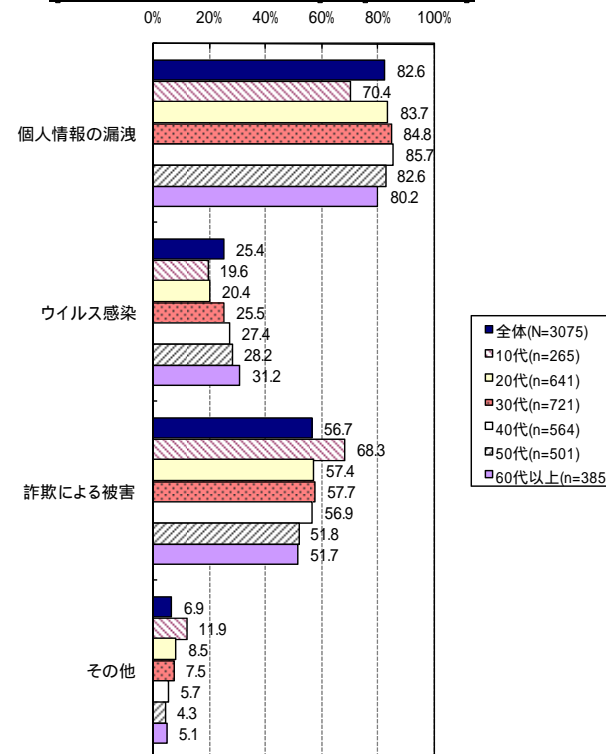
## 3.2.1 PCインターネット利用行動に際する不安感(7)

- 「インターネットバンキング、株・外貨のネット取引」利用に際して不安を感じる事項を[性別]にみると、「インターネットショッピング、インターネットオークション」と同様、「個人情報の漏洩」や「詐欺による被害」に対する不安感については男女差はほとんどないが、「ウイルス感染」への不安を感じる人は女性のほうがわずかに多い。
- [年代別]にみると、10代では「個人情報の漏洩」に対する不安感が他の年代に比べて少なく、「詐欺による被害」に対する不安感が他の年代よりも多い傾向にある。「ウイルス感染」への不安を感じる人は年代が上がるほど増え、60代以上では31.2%と3割に上る。

PCインターネット利用に際しての不安事項(複数回答)  
 <インターネットバンキング、株・外貨のネット取引>  
 [不安を感じる人全体] / [性別]



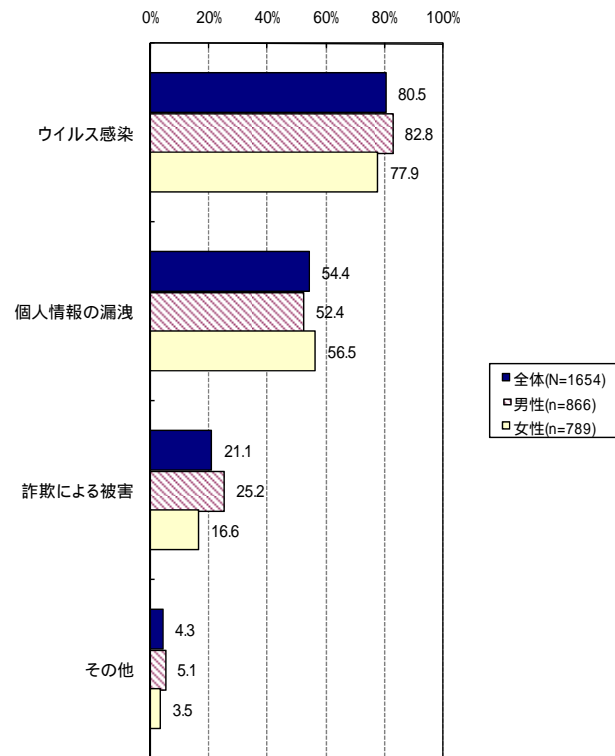
PCインターネット利用に際しての不安事項(複数回答)  
 <インターネットバンキング、株・外貨のネット取引>  
 [不安を感じる人全体] / [年代別]



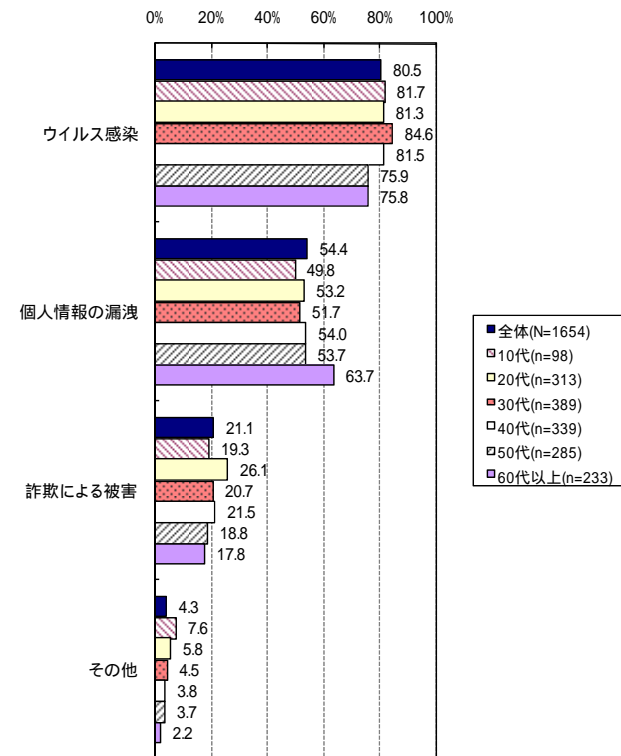
## 3.2.1 PCインターネット利用行動に際する不安感(8)

- 「ホームページの閲覧」に際して不安を感じる事項を[性別]にみると、「ウイルス感染」への不安を感じる人は男性のほうがやや多い。「詐欺による被害」への不安を感じる人は男性のほうが女性よりも多く、「ホームページの閲覧」に際して不安を感じている男性のおよそ4人に1人(25.2%)に上る。
- [年代別]では、「個人情報の漏洩」に対する不安が60代以上で63.7%と他の年代に比べて多い傾向にある。

**PCインターネット利用に際しての不安事項(複数回答)**  
**<ホームページの閲覧>**  
**[不安を感じる人全体] / [性別]**



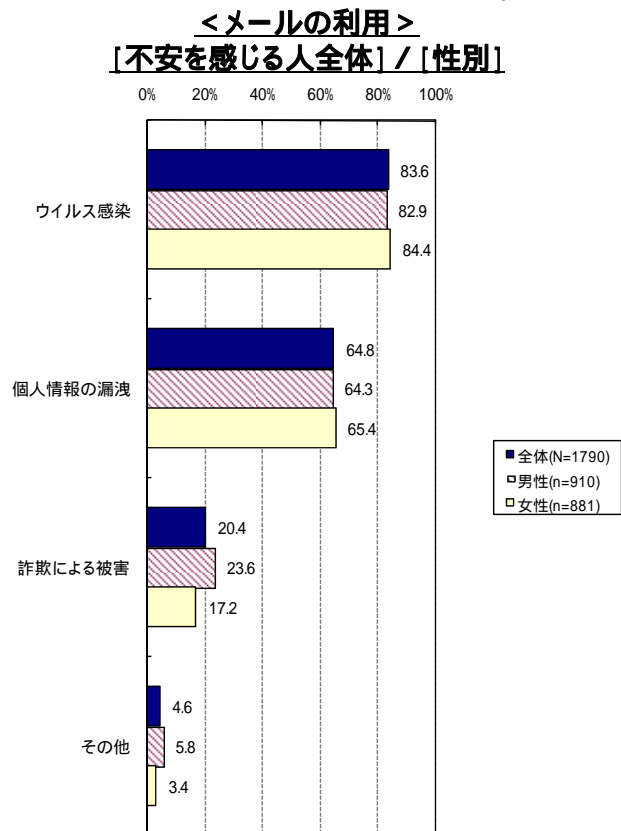
**PCインターネット利用に際しての不安事項(複数回答)**  
**<ホームページの閲覧>**  
**[不安を感じる人全体] / [年代別]**



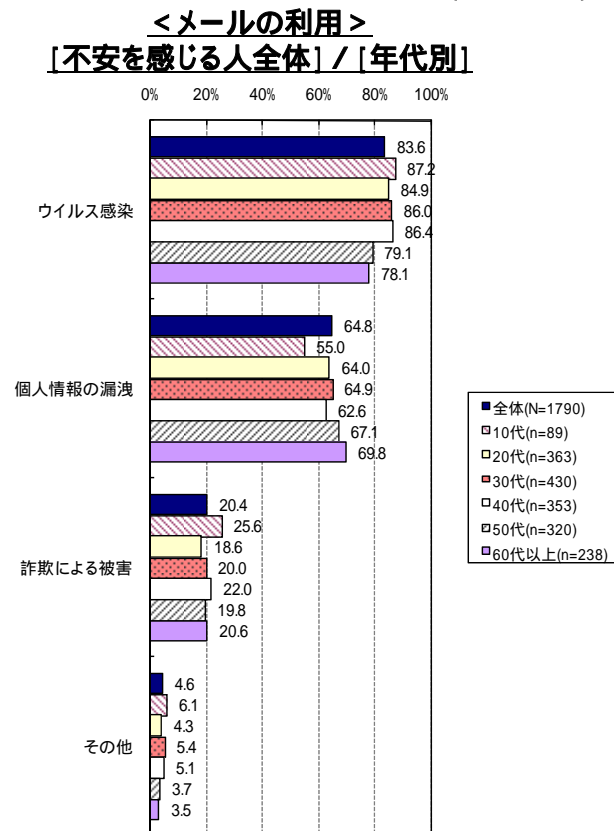
## 3.2.1 PCインターネット利用行動に際する不安感(9)

- 「メールの利用」に際して不安を感じる事項を[性別]にみると、「ウイルス感染」や「個人情報の漏洩」に対する不安感への男女差はほとんどないが、「詐欺による被害」への不安を感じる人は男性のほうが女性よりも多く、「メールの利用」に際して不安を感じている男性のおよそ4人に1人(23.6%)に上る。
- [年代別]にみると、10代では「個人情報の漏洩」に対する不安感が他の年代に比べて少なく、「詐欺による被害」に対する不安感が他の年代よりもやや多い傾向にあり、「インターネットバンキング、株・外貨のネット取引」と同様の傾向がみられた。

PCインターネット利用に際しての不安事項(複数回答)



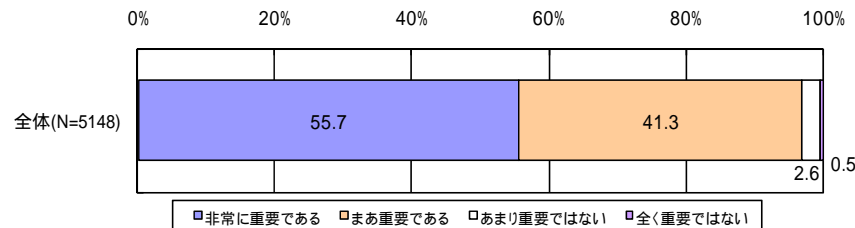
PCインターネット利用に際しての不安事項(複数回答)



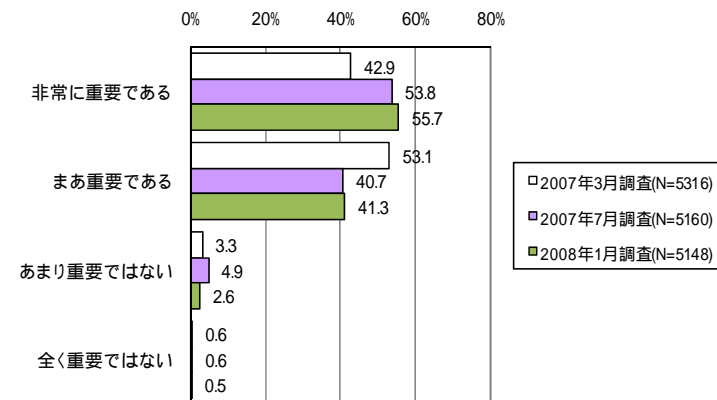
## 3.2.2 情報セキュリティに対する考え(1)

- 回答者全員に情報セキュリティに対する意識について尋ねた。
- 全体では「非常に重要である」が55.7%と最も多く、次いで「まあ重要である」が41.3%。
- 情報セキュリティに対する意識について、過去調査の類似設問と参考比較を行った。半年前の前回(2007年7月)調査時と比較すると、情報セキュリティに対する意識として「非常に重要である」が1.9ポイント、「まあ重要である」が0.6ポイントと、微増ではあるが、回答比率が高まっている。(ただし、今回の調査では、「自宅にネット接続PCを保有する人」に対象者を限定しているため、数値は参考とされたい。)
- 前々回(2007年3月)調査時とは設問形式が同一でないため単純比較はできないが、「非常に重要」という意識が1年前よりも徐々に浸透してきている様子がうかがえる。

情報セキュリティに対する意識  
[回答者全体]



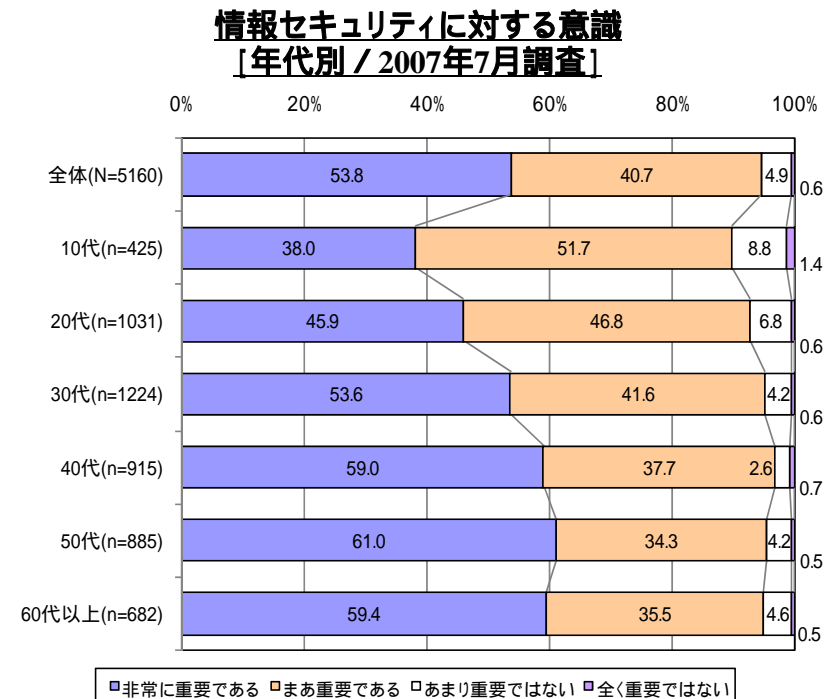
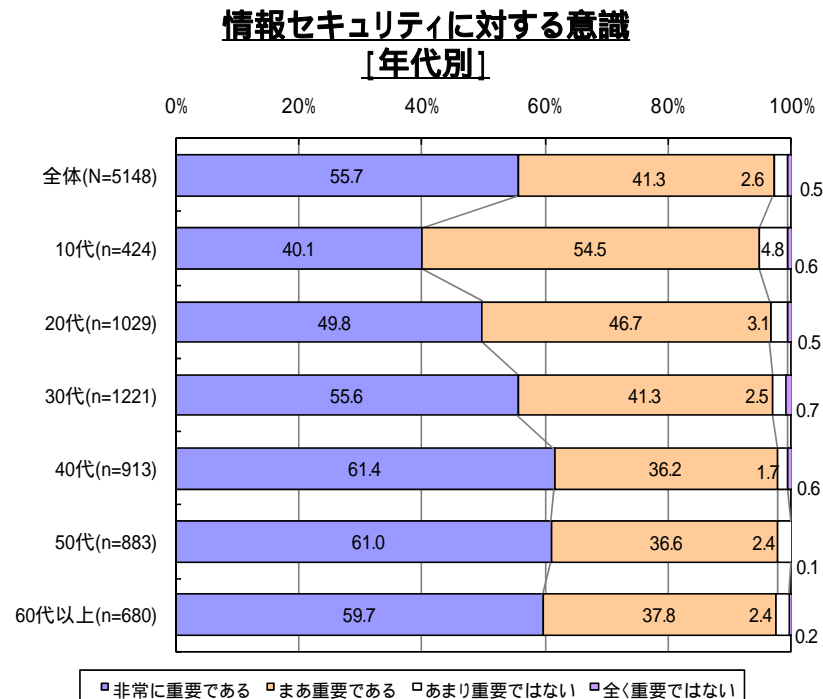
情報セキュリティに対する意識  
[経年比較]



2007年3月調査では、「非常に重要である」「重要である」「重要ではない」「全く重要ではない」として尋ねた。

## 3.2.2 情報セキュリティに対する考え(2)

- [年代別]では、10代で「非常に重要である」が40.1%と最も少なくなっており、「まあ重要である」が過半数を占める。情報セキュリティに対する意識は、年代が上がるほど高まる傾向にあるが、40代をピークに、以降は鈍化する。
- 前回2007年7月調査時と比較すると、今回は「非常に重要である」が2.1ポイント増、「まあ重要である」が2.8ポイント増、「あまり重要ではない」が4ポイント減、「全く重要ではない」が0.9ポイント減と、微増ではあるが、10代における情報セキュリティに対する意識がやや高くなっている。(ただし、今回の調査では、「自宅にネット接続PCを保有する人」を対象者を限定しているため、数値は参考とされたい。)

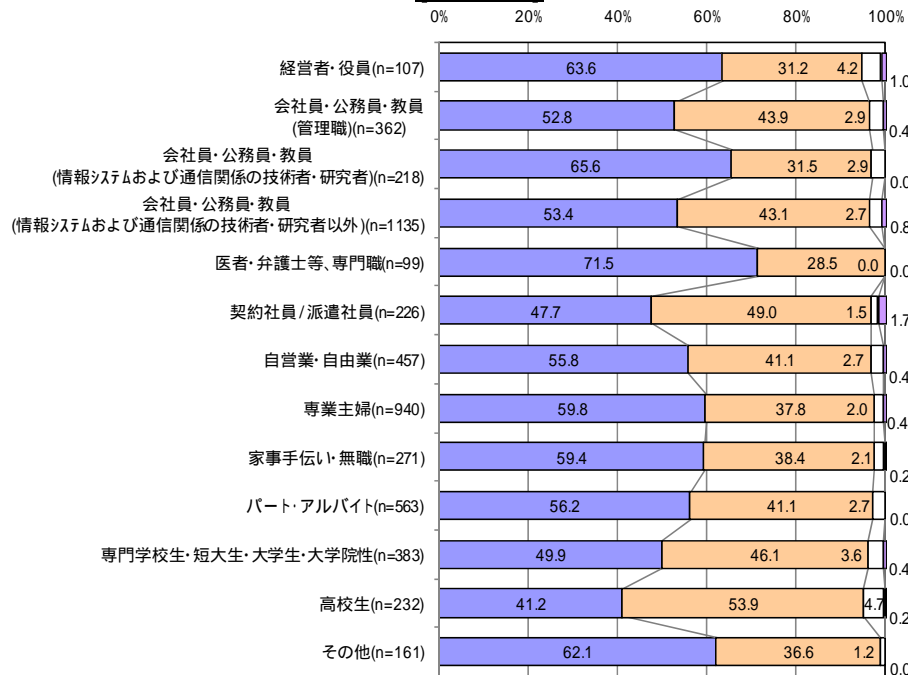


## 3.2.2 情報セキュリティに対する考え(3)

- [職業別]では、「医者・弁護士等、専門職」での意識が最も高くなっており、「非常に重要である」は71.5%、重要でない(「あまり重要でない」+「全く重要でない」と回答した人は皆無であった。
- 「会社員・公務員・教員(情報システム及び通信関係の技術者・研究者)」、「経営者・役員」で「非常に重要である」と回答した人は6割を超えており、情報セキュリティに対する意識の高い層といえる。
- 約1年前の2007年3月調査時と比較すると、「非常に重要である」に対し、「医者・弁護士等、専門職」で26.8ポイント増、「経営者・役員」で23.2ポイント増など、いずれも大幅に増加している。(ただし、設問形式が同一でないため参考値。)

情報セキュリティに対する意識

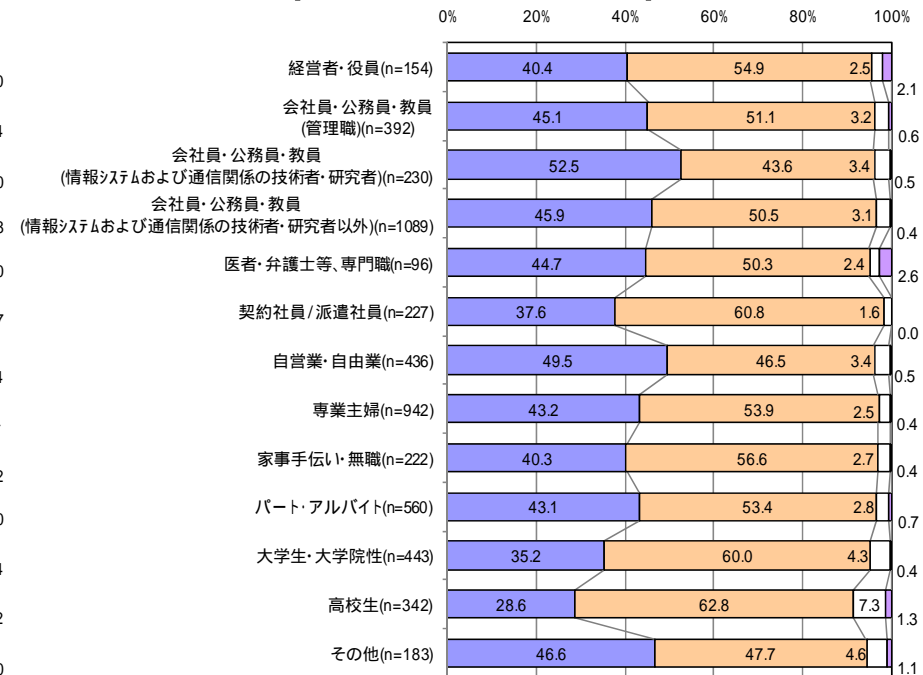
[職業別]



□非常に重要である □重要である □重要ではない □全く重要ではない

情報セキュリティに対する意識

[職業別 / 2007年3月調査]



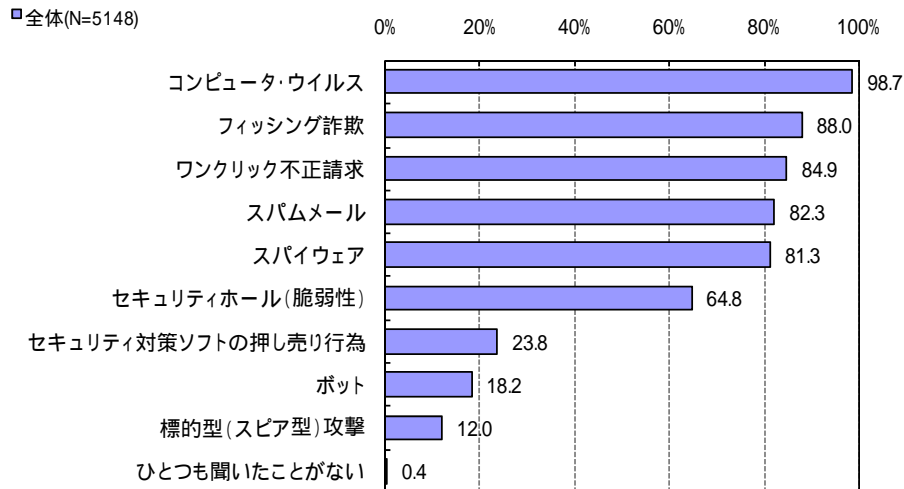
□非常に重要である □重要である □重要ではない □全く重要ではない

### 3.2.3 情報セキュリティに関する言葉の認知度(1)

- 回答者全員に情報セキュリティに関する言葉について、聞いたことがあるものをすべて選んでもらった。
- 最も認知度が高いのは「コンピュータ・ウイルス」で、次いで「フィッシング詐欺」、「ワンクリック不正請求」、「スパムメール」、「スパイウェア」が続き、いずれも8割を超える。「セキュリティホール(脆弱性)」の認知度は64.8%であった。
- 「セキュリティ対策ソフトの押し売り行為」、「ボット」の認知度は2割前後と低い。「標的型(スパイ型)攻撃」については、認知度は12.0%と最も低かった。
- [性別]では、言葉の認知度は総じて男性のほうが高い。特に、「ボット」、「標的型(スパイ型)攻撃」の女性の認知度は1割に満たず、極めて低い。

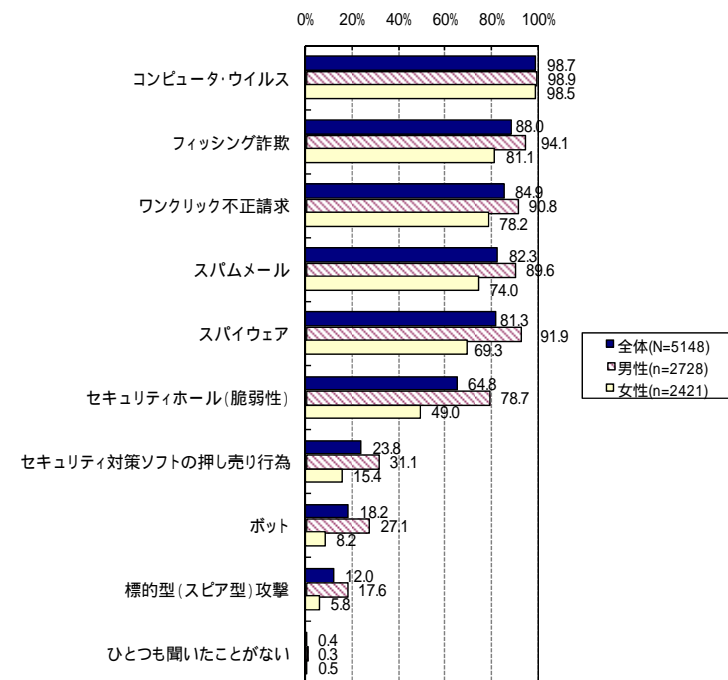
情報セキュリティに関する言葉の認知度(複数回答)

[回答者全体]



情報セキュリティに関する言葉の認知度(複数回答)

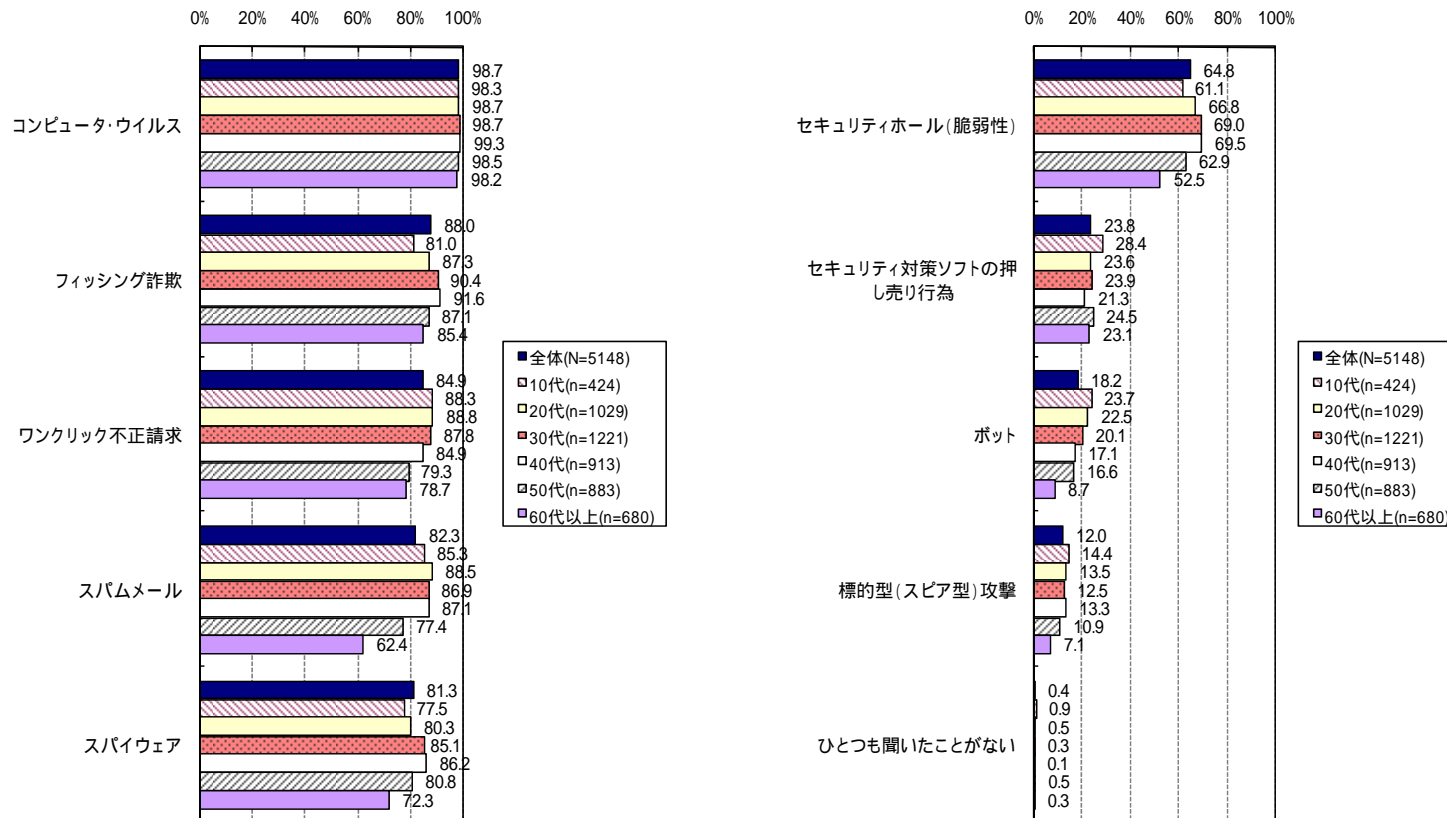
[性別]



### 3.2.3 情報セキュリティに関する言葉の認知度(2)

- [年代別]では、「スパムメール」、「スパイウェア」、「セキュリティホール(脆弱性)」は、30代～40代をピークとし、年代が上がるにつれて言葉の認知度が下がる傾向にある。
- 全体的に認知度の低い「ボット」、「標的型(スパイ型)攻撃」については、10代での認知度が最も高くなっており、若年層ほど認知度が高い傾向にある。

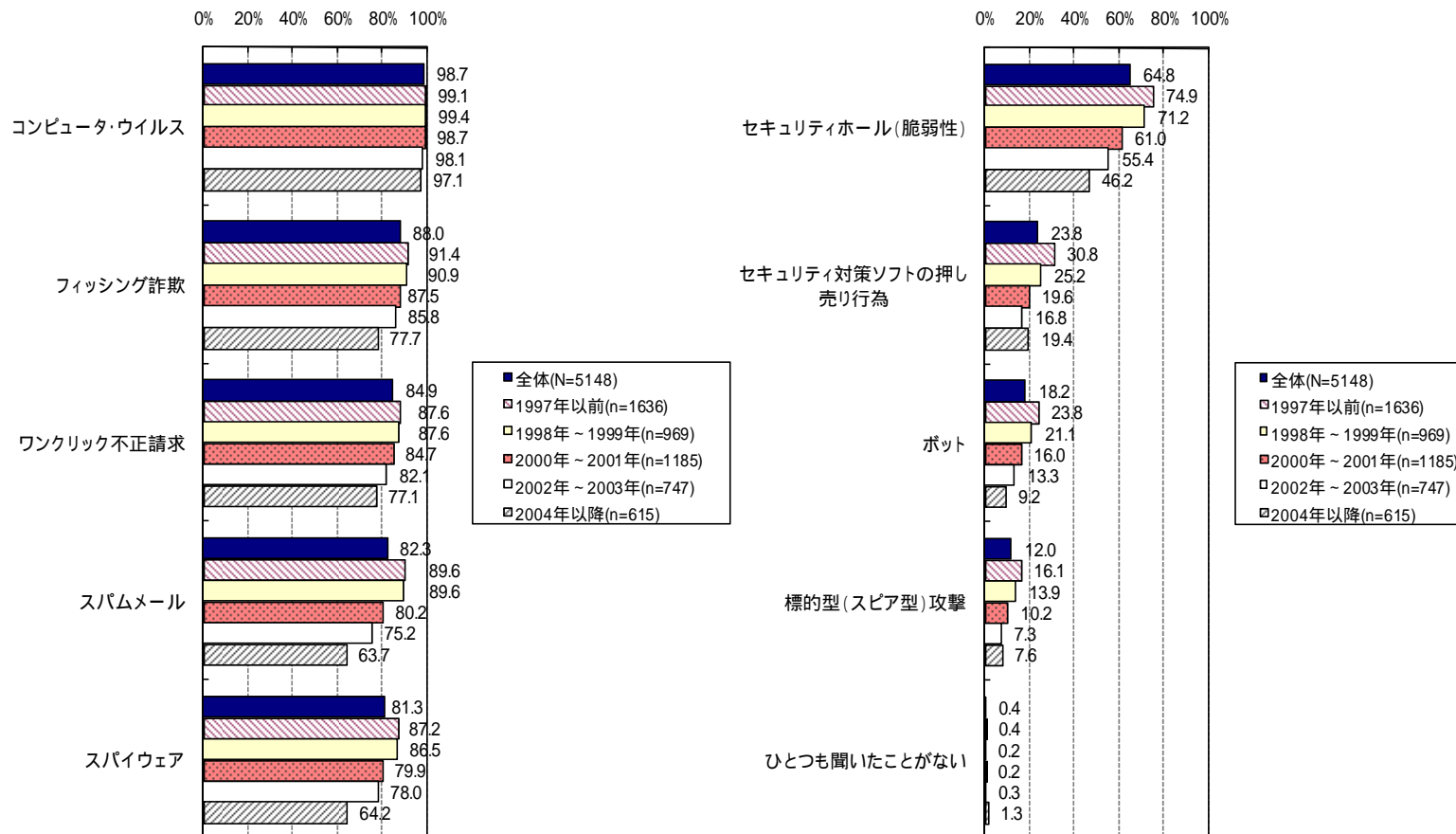
情報セキュリティに関する言葉の認知度(複数回答)  
[年代別]



### 3.2.3 情報セキュリティに関する言葉の認知度(3)

- [インターネット利用開始時期別]にみると、早くからインターネットを使っていた層ほど言葉の認知度は高く、比較的最近使い始めた層ほど認知度は低くなる傾向にある。

情報セキュリティに関する言葉の認知度(複数回答)  
[インターネット利用開始時期別]

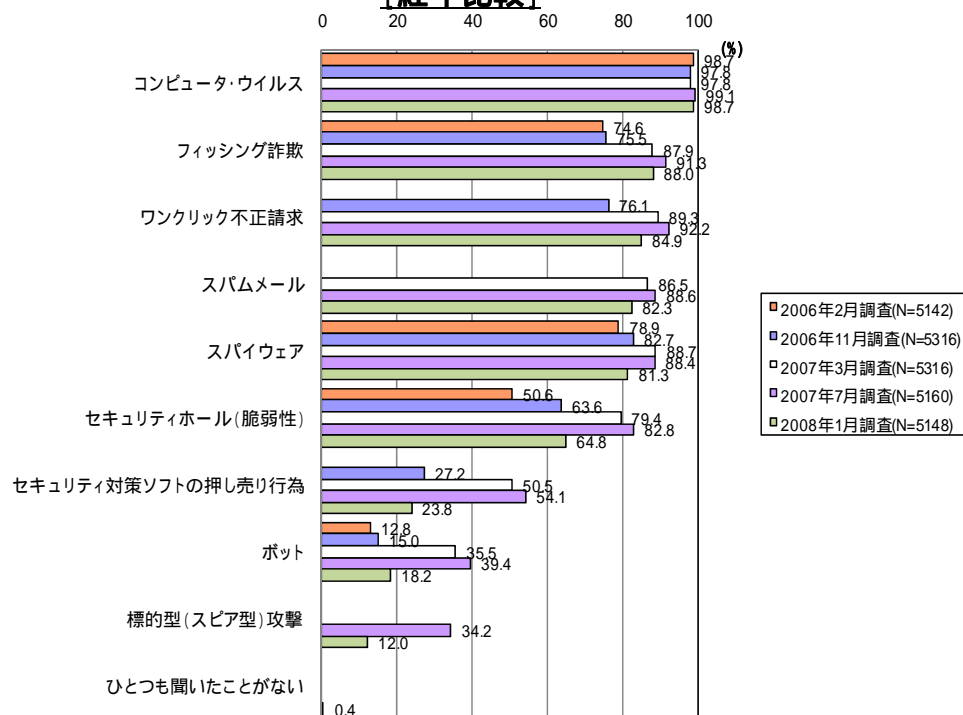


### 3.2.3 情報セキュリティに関する言葉の認知度(4)

- 情報セキュリティに関する言葉の認知度について、過去調査の類似設問と参考比較を行った。(なお、前回(2007年7月)、前々回(2007年3月)調査では、「聞いたことはあるが、内容は知らない」+「聞いたこともあり、内容も知っている」を足し上げて言葉の認知度としている。)
- 設問形式を変更した前々回(2007年3月)調査時に報告されていたように、事象の認知までを含めて尋ねた設問形式よりも、単純に言葉の認知を尋ねた今回調査結果では、認知度が低く出ている。
- 同じ設問形式をとった2年前の2006年2月調査結果と比較すると、「フィッシング詐欺」は75.5% 88.0%、「ワンクリック不正請求」は76.1% 84.9%、「ボット」は15.0% 18.2%と、それぞれ言葉の認知度は上がっている。「セキュリティホール(脆弱性)」、「セキュリティ対策ソフトの押し売り行為」については、2年前よりも若干認知度が下がっている。

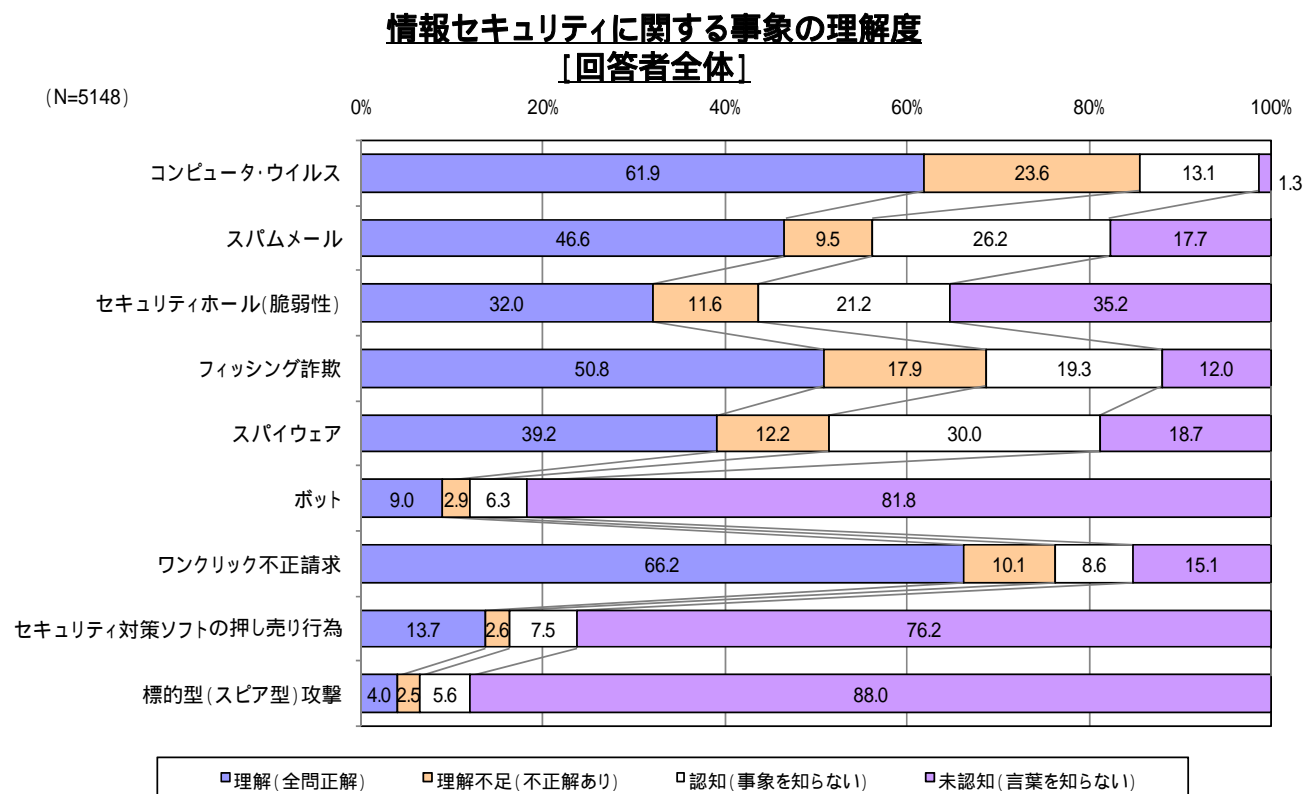
情報セキュリティに関する言葉の認知度

[経年比較]



## 3.2.4 情報セキュリティに関する事象の理解度(1)

- 情報セキュリティに関する9つの事象のうち、言葉の認知、事象の認知、及び、正誤問題の正答数に基づいて、全回答者の理解度を4分類した。
- 情報セキュリティの脅威に対する認知・理解状況を尋ねたところ、最も理解度が高かったのは、「ワンクリック不正請求」で全体の66.2%が事象を正しく理解している。次いで、「コンピュータ・ウイルス」61.9%、「フィッシング詐欺」50.8%が続く。
- 言葉の認知度がほぼ100%に近い「コンピュータ・ウイルス」の正しい理解度は全体の6割にとどまり、理解不足者が全体の2割に上っている。



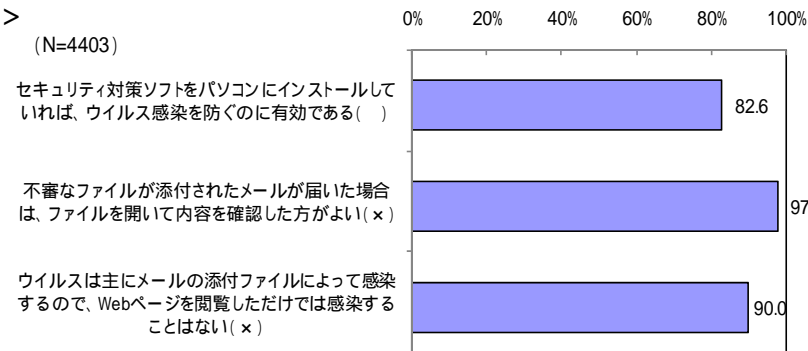
## 3.2.4 情報セキュリティに関する事象の理解度(2)

- 情報セキュリティに関する各事象について「知っている」と回答した人に、その事象に関連する記述を3つ示して正誤判定をしてもらった。各記述の正答率は以下の通り。文末の( ) (×)は正誤の回答を示す。
- 「コンピュータ・ウイルス」については、セキュリティ対策ソフトのインストールを有効な対策と言及する設問の正答率が8割にとどまっている。感染経路にWebページは含まれないと誤答する人は1割に上る。
- 「スパムメール」については、正答者率が83.0%と比較的高かった。スパムの可能性のあるメールに対しても送信停止依頼(返信)をした方がよいと誤答した人が1割を超えている。

### 情報セキュリティに関する事象の理解度 - 正誤問題の正答率 [各事象の認知者全体]

#### < コンピュータ・ウイルス >

(N=4403)

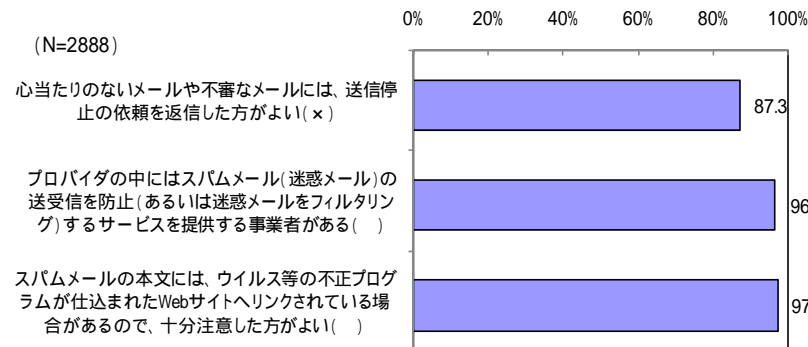


#### 正誤問題の正答率 [各事象の認知者全体]

【コンピュータ・ウイルス】正誤		
単一回答	N	%
正答者	3189	72.4
非正答者	1214	27.6
全体	4403	100.0

#### < スパムメール >

(N=2888)



#### 正誤問題の正答率 [各事象の認知者全体]

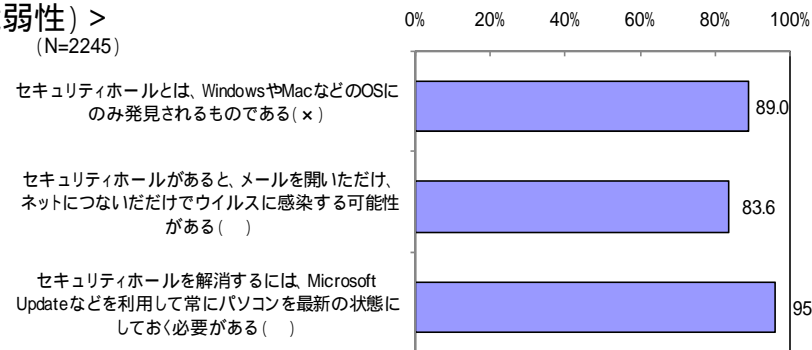
【スパムメール】正誤		
単一回答	N	%
正答者	2397	83.0
非正答者	491	17.0
全体	2888	100.0

## 3.2.4 情報セキュリティに関する事象の理解度(3)

- 情報セキュリティに関する各事象について「知っている」と回答した人に、その事象に関連する記述を3つ示して正誤判定をもらった。各記述の正答率は以下の通り。文末の( ) (×)は正誤の回答を示す。
- 「セキュリティホール(脆弱性)」については、常にOSを最新の状態にしておく手段への正答率が高かった。
- 「フィッシング詐欺」については、定義に関する設問と、被害に遭わないための日頃の心がけに言及した設問への正答率がいずれも高かったが、唯一、偽サイトを見破るための対策に言及した設問への正答率が8割を下回った。

### 情報セキュリティに関する事象の理解度 - 正誤問題の正答率 [各事象の認知者全体]

#### <セキュリティホール(脆弱性)> (N=2245)

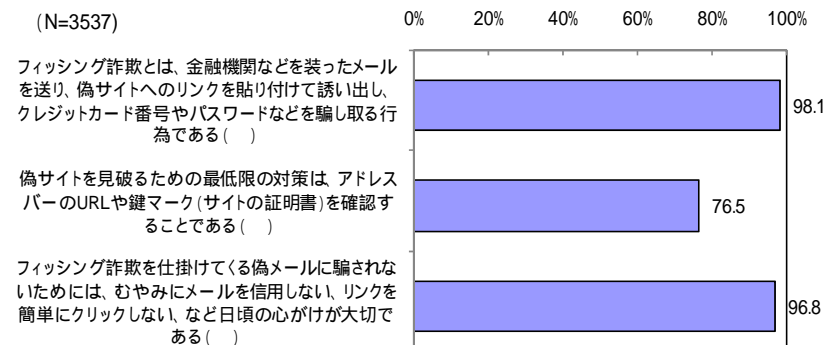


#### 正誤問題の正答率 [各事象の認知者全体]

【セキュリティホール(脆弱性)】		
正誤	N	%
単一回答		
正答者	1646	73.3
非正答者	598	26.7
全体	2245	100.0

#### <フィッシング詐欺>

(N=3537)



#### 正誤問題の正答率 [各事象の認知者全体]

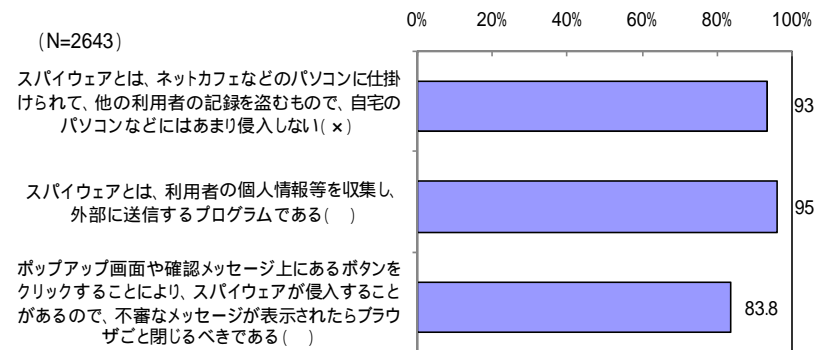
【フィッシング詐欺】正誤		
正誤	N	%
単一回答		
正答者	2615	73.9
非正答者	922	26.1
全体	3537	100.0

## 3.2.4 情報セキュリティに関する事象の理解度(4)

- 情報セキュリティに関する各事象について「知っている」と回答した人に、その事象に関連する記述を3つ示して正誤判定をしてもらった。各記述の正答率は以下の通り。文末の( ) (×)は正誤の回答を示す。
- 「スパイウェア」については、定義に関する設問への正答率はいずれも高かったが、被害予防策への正答率は8割にとどまる。
- 「ボット」については、感染時の現象に対する正答率が高かった。

### 情報セキュリティに関する事象の理解度 - 正誤問題の正答率 [各事象の認知者全体]

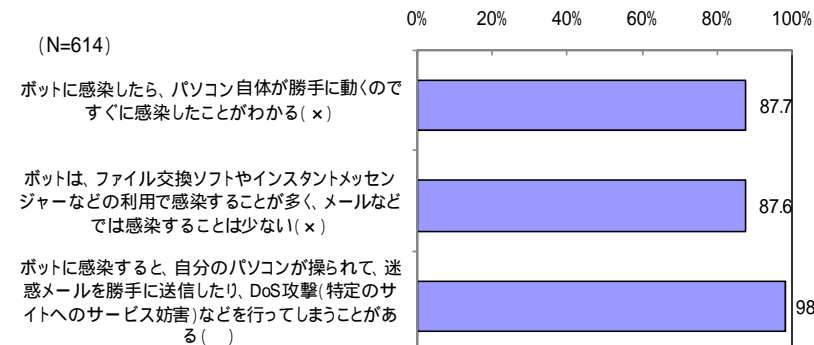
#### < スパイウェア >



#### 正誤問題の正答率 [各事象の認知者全体]

【スパイウェア】正誤		
単一回答	N	%
正答者	2016	76.3
非正答者	628	23.7
全体	2643	100.0

#### < ボット >



#### 正誤問題の正答率 [各事象の認知者全体]

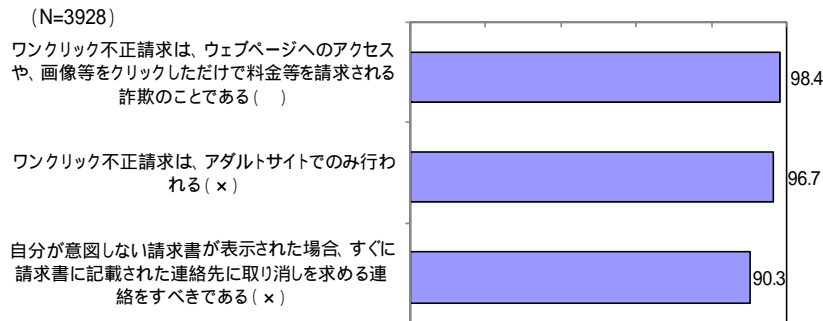
【ボット】正誤		
単一回答	N	%
正答者	463	75.5
非正答者	151	24.5
全体	614	100.0

## 3.2.4 情報セキュリティに関する事象の理解度(5)

- 情報セキュリティに関する各事象について「知っている」と回答した人に、その事象に関連する記述を3つ示して正誤判定をしてもらった。各記述の正答率は以下の通り。文末の( ) (×)は正誤の回答を示す。
- 「ワンクリック不正請求」については、正答者率が86.7%と高かった。不正請求に対し、取り消しを求める連絡をすべきと誤答する人が約1割みられる。
- 「セキュリティ対策ソフトの押し売り行為」については、正答者率が83.9%と比較的高かった。唯一、被害遭遇時の現象に対する正答率が9割を下回った。

### 情報セキュリティに関する事象の理解度 - 正誤問題の正答率 [各事象の認知者全体]

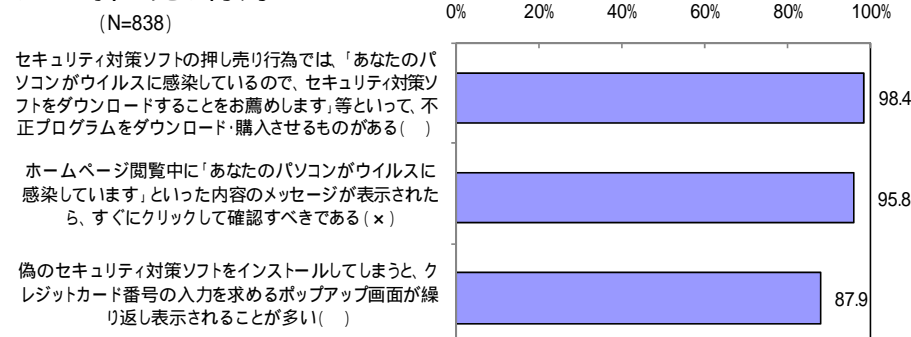
#### <ワンクリック不正請求>



#### 正誤問題の正答率 [各事象の認知者全体]

【ワンクリック不正請求】正誤		
単一回答	N	%
正答者	3406	86.7
非正答者	522	13.3
全体	3928	100.0

#### <セキュリティ対策ソフトの押し売り行為>



#### 正誤問題の正答率 [各事象の認知者全体]

【セキュリティ対策ソフトの押し売り行為】正誤		
単一回答	N	%
正答者	704	83.9
非正答者	135	16.1
全体	838	100.0

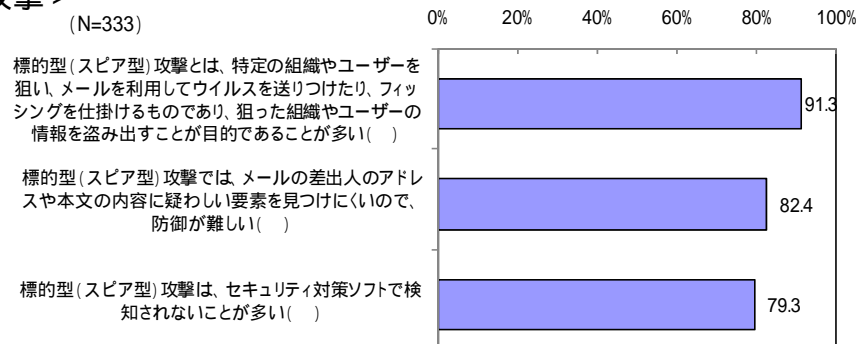
## 3.2.4 情報セキュリティに関する事象の理解度(6)

- 情報セキュリティに関する各事象について「知っている」と回答した人に、その事象に関連する記述を3つ示して正誤判定をもらった。各記述の正答率は以下の通り。文末の( ) (×)は正誤の回答を示す。
- 「標的型(スパイ型)攻撃」については、正答者率が9つの事象の中で最も低く、61.5%であった。定義に関する設問への正答率は高いが、セキュリティ対策ソフトでも検知されない等、防御策の難しさに言及した設問への正答率はいずれも8割前後にとどまる。

### 情報セキュリティに関する事象の理解度 - 正誤問題の正答率 [各事象の認知者全体]

#### < 標的型(スパイ型)攻撃 >

(N=333)



#### 正誤問題の正答者率 [各事象の認知者全体]

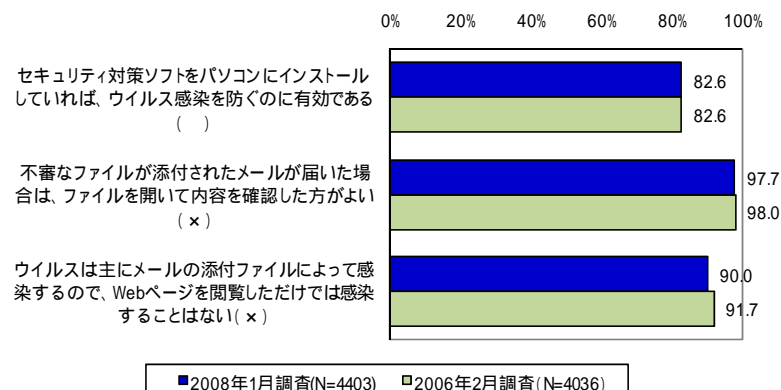
【標的型(スパイ型)攻撃】正誤		
単一回答	N	%
正答者	205	61.5
非正答者	128	38.5
全体	333	100.0

## 3.2.4 情報セキュリティに関する事象の理解度(7)

- 「コンピュータ・ウイルス」、「スパムメール」に関する正誤問題の正答率について、2006年2月調査の同一設問と参考比較を行った。
- 「コンピュータ・ウイルス」では、2年前の調査と比べて各設問の正答率にほとんど変動がみられなかった。
- 「スパムメール」では、注意喚起に言及した設問で、正答率が67.1% 97.3%に大幅に上昇した。本調査では、設問文に対する誤解が生じないように文章を一部修正したため、これによる影響と考えられる。

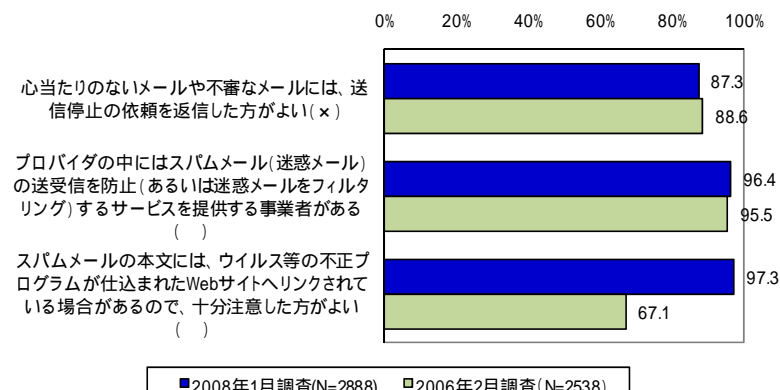
### 情報セキュリティに関する事象の理解度 - 正誤問題の正答率 [各事象の認知者全体 / 2006年2月調査との比較]

#### < コンピュータ・ウイルス >



「セキュリティ対策ソフト」: 2006年2月調査では、「ウイルス対策ソフト」として尋ねた。(以下は同文)

#### < スパムメール >



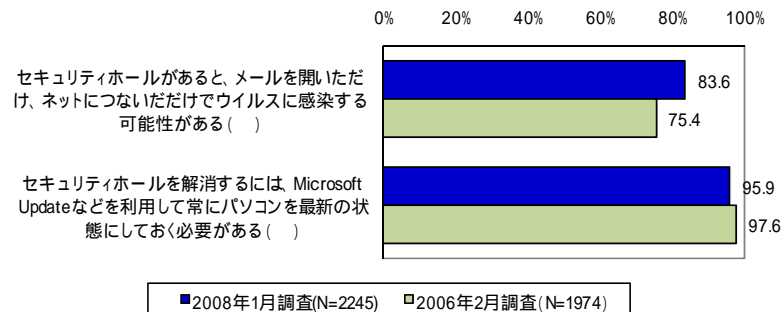
「スパムメールの本文には」: 2006年2月調査では、「スパムメールを開いただけではウイルス感染しないが」として尋ねた。(以下は同文)

## 3.2.4 情報セキュリティに関する事象の理解度(8)

- 「セキュリティホール(脆弱性)」、「フィッシング詐欺」に関する正誤問題の正答率について、2006年2月調査の同一設問と参考比較を行った。
- 「セキュリティホール(脆弱性)」では、現象に対する正答率が75.4% 83.6%と8.2ポイント上昇している。
- 「フィッシング詐欺」では、被害予防策に言及した設問で、正答率が29.7% 76.5%に大幅に上昇した。本調査では、設問文に対する誤解が生じないよう文章を一部修正したため、これによる影響と考えられる。

### 情報セキュリティに関する事象の理解度 - 正誤問題の正答率 [各事象の認知者全体 / 2006年2月調査との比較]

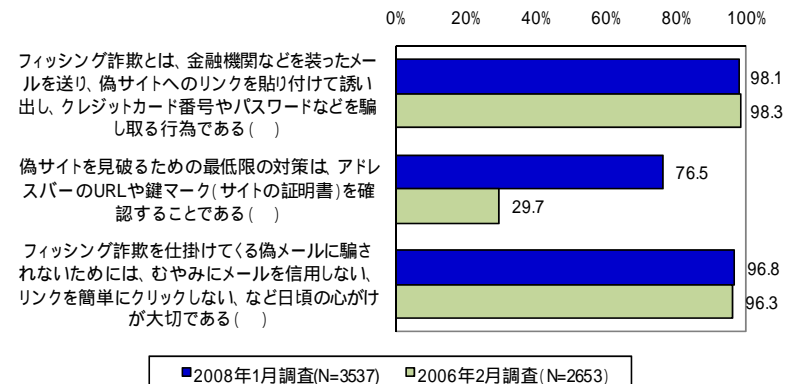
#### <セキュリティホール(脆弱性)>



(注)2006年2月調査において正答率が低かった設問の内容を変更している。  
(2006年2月調査)

- 「セキュリティホールとは、パソコンへの不正アクセスを目的に仕掛けられ、特定のポートを開いて外部からインターネットを通じてパソコンに侵入する仕組みである(×)」  
➤ 正答率は34.1%  
(2008年1月調査)
- 「セキュリティホールとは、WindowsやMacなどのOSにのみ発見されるものである(×)」  
➤ 正答率は89.0%

#### <フィッシング詐欺>



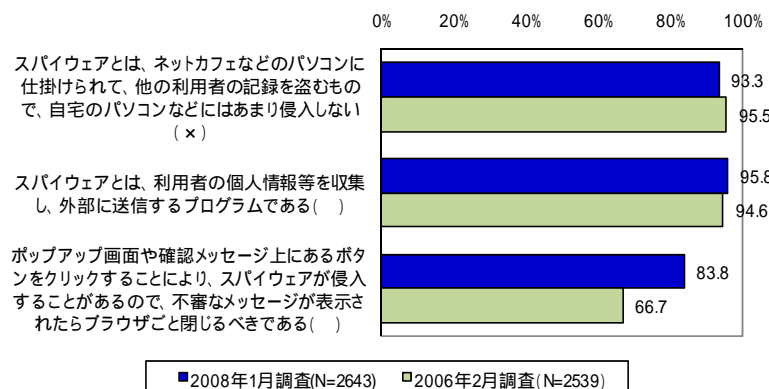
2006年2月調査では、「フィッシング」として尋ねた。  
2006年2月調査の「偽サイトは、アドレスバーのURLや鍵マーク(サイトの証明書)を確認すればほとんど見破ることができる」から表現を変えた。  
「フィッシング詐欺を仕掛けてくる偽メールに騙されないためには、2006年2月調査では、「フィッシングを仕掛けてくる偽メールは、ウイルス対策ソフトでも検出されないケースがほとんどなので」として尋ねた。(以下は同文)

## 3.2.4 情報セキュリティに関する事象の理解度(9)

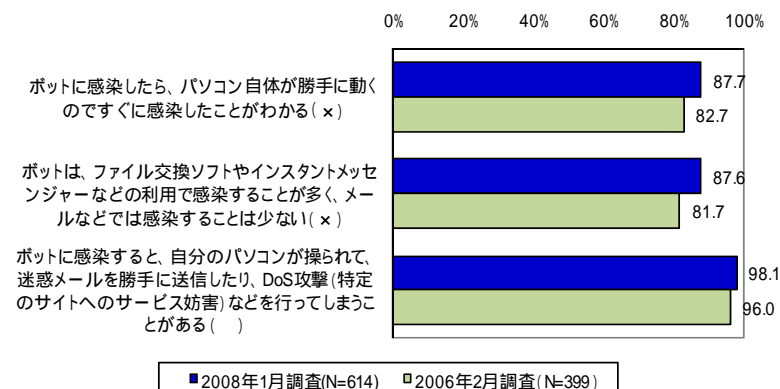
- 「スパイウェア」、「ボット」に関する正誤問題の正答率について、2006年2月調査の同一設問と参考比較を行った。
- 「スパイウェア」では、被害予防策への正答率が66.7% 83.8%に上昇している。
- 「ボット」では、2年前と比べて、すべての設問に対する正答率が2～6ポイントとわずかに上昇している。

### 情報セキュリティに関する事象の理解度 - 正誤問題の正答率 [各事象の認知者全体 / 2006年2月調査との比較]

#### < スパイウェア >



#### < ボット >



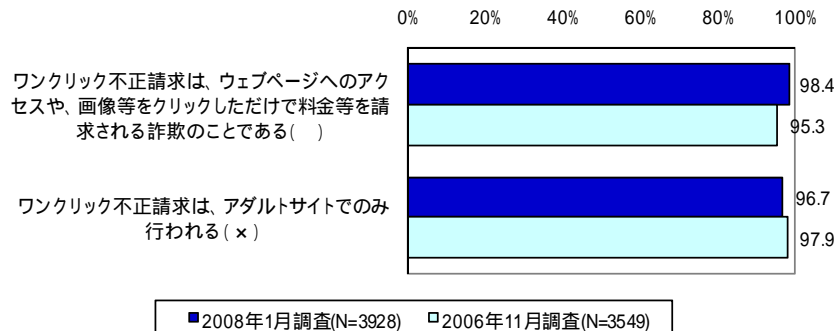
「～不審なメッセージが表示されたらブラウザごと閉じるべきである」：2006年2月調査では、「～不審なものは右上の[×]ボタンで終了するとよい」として尋ねた。(その他は同文)

## 3.2.4 情報セキュリティに関する事象の理解度(10)

- 「ワンクリック不正請求」、「セキュリティ対策ソフトの押し売り行為」に関する正誤問題の正答率について、2006年11月調査の同一設問と参考比較を行った。
- 「ワンクリック不正請求」では、定義に関する設問への正答率が3ポイントと、わずかに上昇している。
- 「セキュリティ対策ソフトの押し売り行為」では、定義に関する設問のみ経年比較を行った。正答率は5ポイント近く上昇している。

### 情報セキュリティに関する事象の理解度 - 正誤問題の正答率 [各事象の認知者全体 / 2006年11月調査との比較]

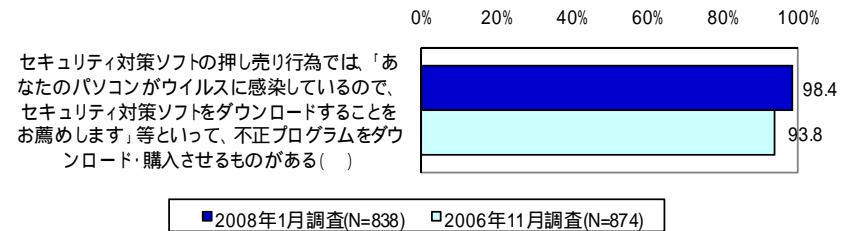
#### <ワンクリック不正請求>



(注)2006年11月調査において正答率が低かった設問の内容を変更している。  
(2006年11月調査)

- 「ワンクリック不正請求には、ウイルスなどの悪意あるプログラムがインストールされ、デスクトップ上に料金請求の画面を表示するものがある( )」  
➢ 正答率は39.1%  
(2008年1月調査)
- 「自分が意図しない請求書が表示された場合、すぐに請求書に記載された連絡先に取り消しを求める連絡をすべきである(×)」  
➢ 正答率は90.3%

#### <セキュリティ対策ソフトの押し売り行為>



(注)2006年11月調査の設問内容を見直し、2問内容を変更している。  
(2006年11月調査)

- 「正規のセキュリティ対策ソフトメーカーは、『あなたのパソコンがウイルスに感染しているので、セキュリティ対策ソフトをダウンロードすることをお勧めします。』等の脅しのメッセージを一方的に送りつけることはない( )」  
➢ 正答率は42.7%
- 「『あなたのパソコンがウイルスに感染しているので、セキュリティ対策ソフトをダウンロードすることをお勧めします。』等のメッセージが表示された場合は、一旦ダウンロードを実施すれば、二度と購入を促されることはない(×)」  
➢ 正答率は98.5%  
(2008年1月調査)
- 「ホームページ閲覧中に『あなたのパソコンがウイルスに感染しています』といった内容のメッセージが表示されたら、すぐにクリックして確認すべきである(×)」  
➢ 正答率は95.8%
- 「偽のセキュリティ対策ソフトをインストールしてしまうと、クレジットカード番号の入力を求めるポップアップ画面が繰り返し表示されることが多い( )」  
➢ 正答率は87.9%

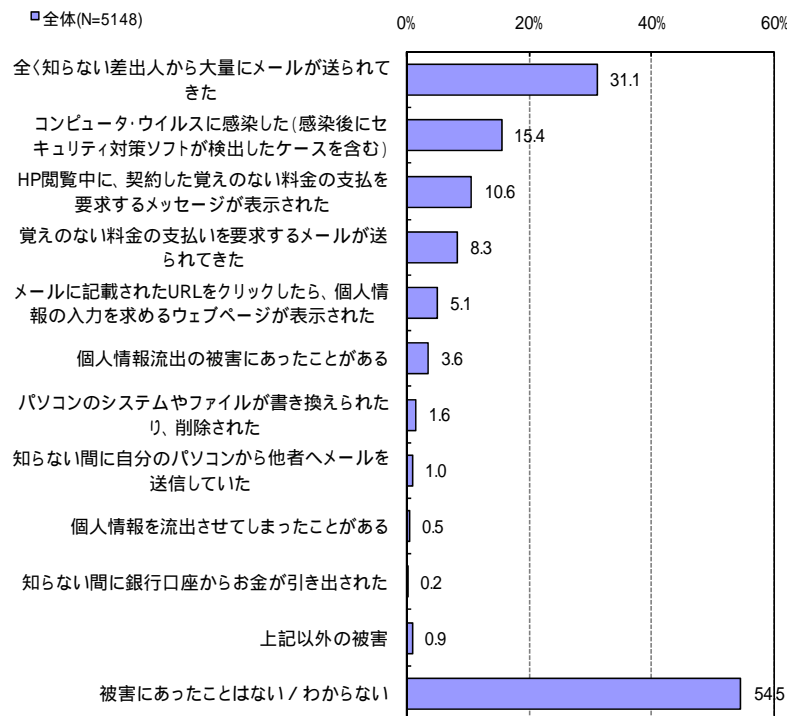
### 3.3. 情報セキュリティに対する行動実態

## 3.3.1 情報セキュリティに関する被害状況(1)

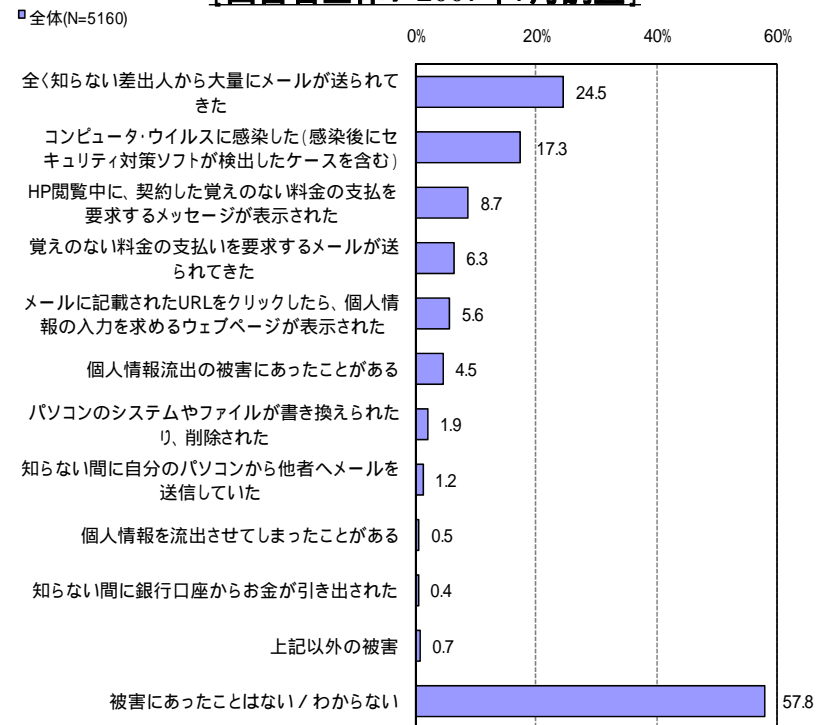
- 回答者全員に情報セキュリティに関する被害経験について尋ねた。
- 「全く知らない差出人から大量にメールが送られてきた」が最も多く、回答者全員のおよそ3分の1が経験している。
- 「HP閲覧中に、契約した覚えのない料金の支払いを要求するメッセージが表示された」、「覚えのない料金の支払いを要求するメールが送られてきた」という経験がある人は、それぞれ10.6%、8.3%であった。前回2007年7月調査時と比較すると、それぞれ微増している。

(ただし、今回の調査では、「自宅にネット接続PCを保有する人」に対象者を限定しているため、数値は参考とされたい。)

情報セキュリティに関する被害状況  
【回答者全体】



情報セキュリティに関する被害状況  
【回答者全体 / 2007年7月調査】



### 3.3.1 情報セキュリティに関する被害状況(2)

- 「HP閲覧中に、契約した覚えのない料金の支払いを要求するメッセージが表示された」、「覚えのない料金の支払いを要求するメールが送られてきた」という経験がある人に、実際に支払いをした経験の有無を尋ねた。
- 料金支払い要求メッセージの表示経験者及び支払要求メール受信経験者は754名(実数)であったが、そのうち、実際に支払いを行った人は20名(実数)であった。

#### 情報セキュリティに関する被害状況(支払経験の有無)

##### [料金支払い要求メッセージ表示経験者 及び 支払い要求メール受信経験者]

(ウェイトバック無、実数)

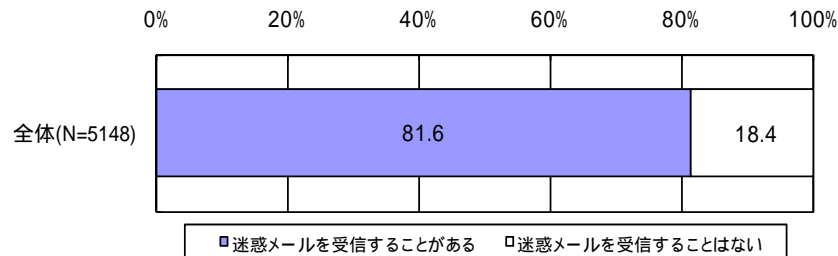
(n=754)

Q29で、「HP閲覧中に、契約した覚えのない料金の支払を要求するメッセージが表示された」または、「覚えのない料金の支払いを要求するメールが送られてきた」経験があるとお答えの方にお尋ねします。 そのようなメッセージやメールを受け取った際に、実際に支払いをされた経験はありますか。 単一回答		
	N	%
支払を行った経験がある	20	2.7
支払を行った経験はない	734	97.3
全体	754	100.0

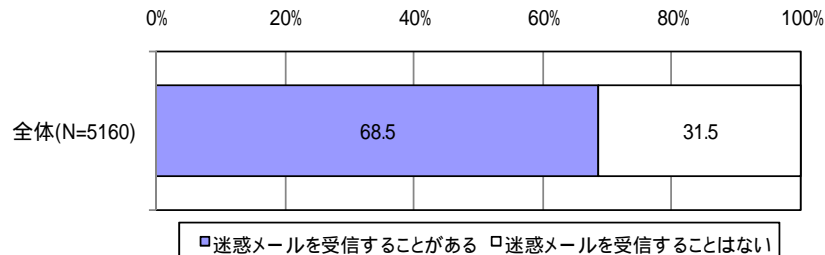
### 3.3.1 情報セキュリティに関する被害状況(3)

- 回答者全員に迷惑メール受信経験について尋ねた。
- 「迷惑メールを受信することがある」は81.6%、「受信することはない」は18.4%であった。
- 前回2007年7月調査時と比較すると大きく増加しているが、これは、今回の調査では「自宅にネット接続PCを保有する人」に対象者を限定したことが影響していると思われる。
- 「迷惑メールを受信することがある」人に、1週間あたりの受信通数を尋ねたところ、「10通以下」が31.6%で最も多い。週に「50通以上」受信する人も38.0%と、受信通数は分散している。

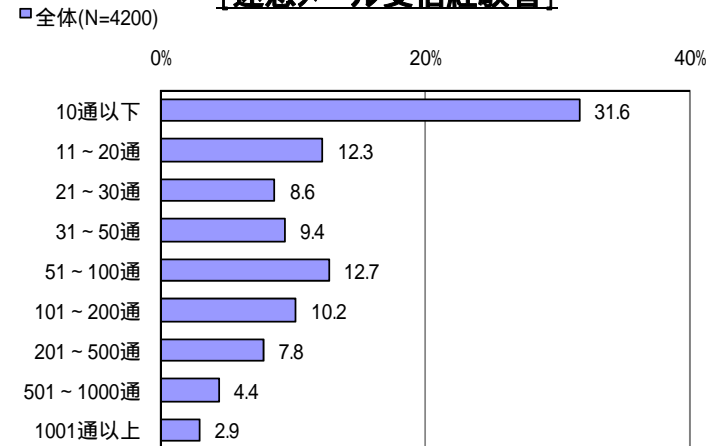
**迷惑メール受信経験**  
[回答者全体]



**PCでの迷惑メール受信経験**  
[回答者全体 / 2007年7月調査]



**1週間あたりでの迷惑メール受信通数**  
[迷惑メール受信経験者]

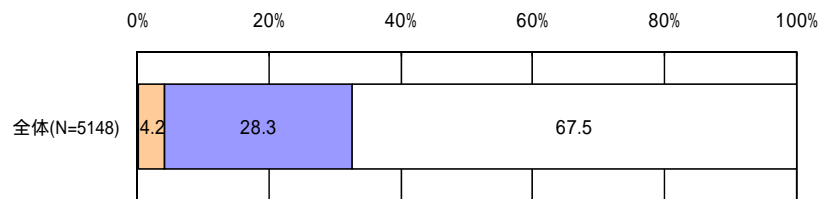


### 3.3.1 情報セキュリティに関する被害状況(4)

- 回答者全員にインターネット利用中にセキュリティ対策ソフトのダウンロード要請メッセージが表示された経験の有無、また、その際のダウンロード及び購入経験の有無について尋ねた。
- 「メッセージが表示された経験がある」は、全体の32.5%。「ダウンロード及び購入した」人は全体の4.2%であった。
- なお、「メッセージが表示された経験がある」人のうち、「ダウンロード及び購入した」人は12.8%であった。

#### セキュリティ対策ソフトの押し売り行為遭遇経験

[回答者全体]

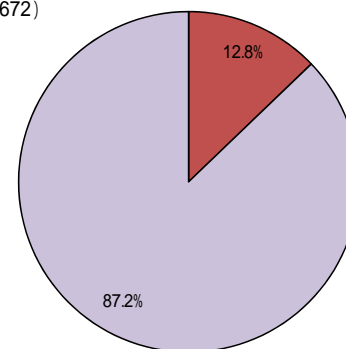


- メッセージが表示されたことあり、その対策ソフトをダウンロードしたり、購入したことがある
- メッセージが表示されたことあるが、その対策ソフトをダウンロードしたり、購入したことはない
- メッセージが表示されたことはない

#### セキュリティ対策ソフトの押し売り行為被害経験

[メッセージ表示経験者]

(n=1672)

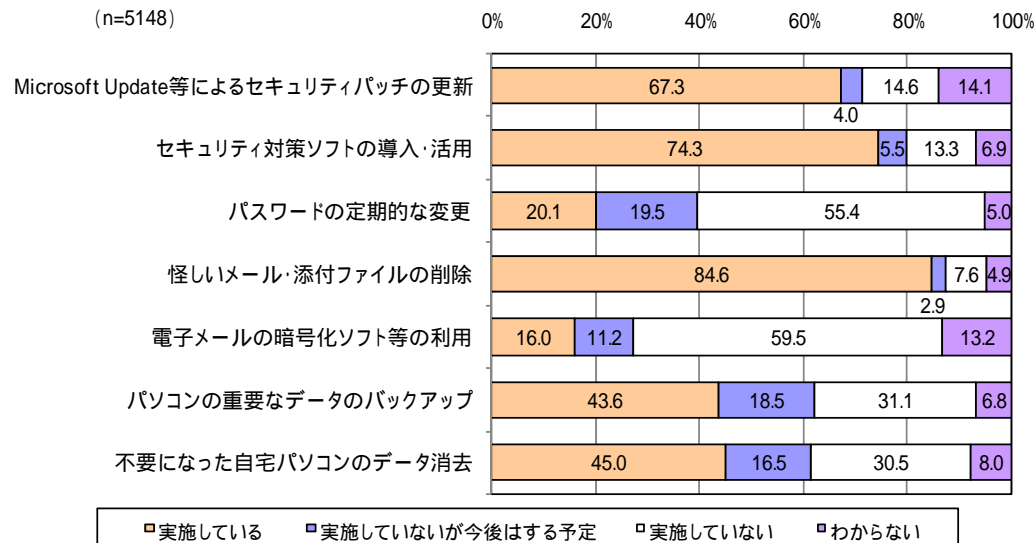


- メッセージが表示されたことあり、その対策ソフトをダウンロードしたり、購入したことがある
- メッセージが表示されたことあるが、その対策ソフトをダウンロードしたり、購入したことはない

## 3.3.2 情報セキュリティ対策の実施状況(1)

- 回答者全員に情報セキュリティ対策の実施状況について尋ねた。
- 最も実施率が高かったのは、「怪しいメール・添付ファイルの削除」で84.6%。次いで、「セキュリティ対策ソフトの導入・活用」74.3%、「Microsoft Update等によるセキュリティパッチの更新」67.3%であった。
- 反対に、最も実施率が低いのは、「電子メールの暗号化ソフト等の利用」で16.0%、次いで「パスワードの定期的な変更」が20.1%であった。
- このうち、「電子メールの暗号化ソフト等の利用」については、2007年3月調査時に「PGP等のメール暗号化ソフトの利用」として尋ねたところ、実施率は全体の4.1%であった。このことから、具体的なソフト名を明記せず尋ねると、実際には暗号化ソフトを利用していない人の誤解を含んだ回答率となることが考えられるため、本調査では、具体的に何を利用しているかを尋ねた。その結果を次頁に示す。

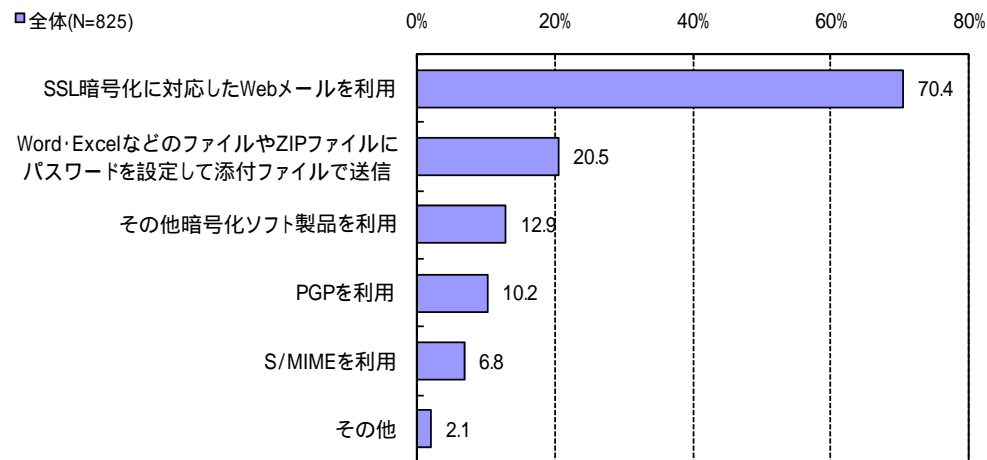
情報セキュリティ対策の実施状況  
[回答者全体]



## 3.3.2 情報セキュリティ対策の実施状況(2)

- 「電子メールの暗号化ソフト等の利用」に対して「実施している」と回答した人に、具体的に何を利用して  
いるか尋ねたところ、「PGP\*」、「S/MIME\*」、「その他暗号化ソフト製品」等、暗号化ソフトの利用者は  
それぞれ1割前後と少ない。
- 最も多いのは「SSL\*暗号化に対応したWebメールを利用」で70.4%に上っている。回答者に「電子メール  
の暗号化」を想起させる多くのケースは、ソフトの利用よりもSSL暗号化の利用であることがうかがえる。
- その他、「Word・Excelなどのファイル・ZIPファイルのパスワード設定」を行い、メール添付することを「電  
子メールの暗号化」と捉える人が2割に上っている。
- 「電子メールの暗号化ソフト等の利用」を「実施している」と回答した人のうち、「SSL暗号化に対応した  
Webメールを利用」、「Word・Excelなどのファイル・ZIPファイルのパスワード設定」、「その他」のいづれ  
かに回答し、いずれの暗号化ソフトも利用していない人を除くと、回答者全体に占める「電子メールの暗  
号化ソフトの利用者」は、4.4%であった。

利用している電子メールの暗号化ソフト等  
[電子メールの暗号化ソフト等利用者]



注：Webメール利用時のSSL暗号化は、クライアントパソコンとサーバー間の、ブラウザでの通信を暗号化しているのみである。よって、送信先に届くまでの経路すべてを暗号化しているわけではないので、電子メールの暗号化とは異なる。

\* PGP (Pretty Good Privacy) : 暗号化ソフトウェア  
S/MIME (Secure Multipurpose Internet Mail Extensions) : 電子メールの暗号化方式の標準  
SSL (Secure Socket Layer) : インターネット上で情報を暗号化して送受信する方式

## 3.3.2 情報セキュリティ対策の実施状況(3)

- 情報セキュリティ対策の実施状況を[性別]にみると、いずれの情報セキュリティ対策も男性のほうが実施率が高い。
- 特に、「Microsoft Update等によるセキュリティパッチの更新」、「セキュリティ対策ソフトの導入・活用」、「パソコンの重要なデータのバックアップ」、「不要になったパソコンのデータ消去」は、男性での実施率は高く、女性では実施しているかどうか「わからない」という人が多い傾向にある。
- 「電子メールの暗号化ソフト等の利用」は、女性で実施しているかどうか「わからない」人が2割と男性(6.2%)に比べて多い。

情報セキュリティ対策の実施状況  
[性別]

		[Microsoft Update等によるセキュリティパッチの更新]				[セキュリティ対策ソフトの導入・活用]				[パスワードの定期的な変更]			
		実施している	実施していないが 今後はする予定	実施していない	わからない	実施している	実施していないが 今後はする予定	実施していない	わからない	実施している	実施していないが 今後はする予定	実施していない	わからない
全体(N=5148)		67.3	4.0	14.6	14.1	74.3	5.5	13.3	6.9	20.1	19.5	55.4	5.0
性別	男性(n=2728)	80.3	3.0	10.8	5.8	81.3	4.3	11.9	2.5	21.6	20.1	56.1	2.3
	女性(n=2420)	52.6	5.2	18.9	23.4	66.3	6.7	15.0	12.0	18.5	18.9	54.6	8.0

		[怪しいメール・添付ファイルの削除]				[電子メールの暗号化ソフト等の利用]			
		実施している	実施していないが 今後はする予定	実施していない	わからない	実施している	実施していないが 今後はする予定	実施していない	わからない
全体(N=5148)		84.6	2.9	7.6	4.9	16.0	11.2	59.5	13.2
性別	男性(n=2728)	87.1	3.3	7.3	2.3	18.0	13.6	62.2	6.2
	女性(n=2420)	81.7	2.4	8.0	7.9	13.7	8.6	56.6	21.1

		[パソコンの重要なデータのバックアップ]				[不要になった自宅パソコンのデータ消去]			
		実施している	実施していないが 今後はする予定	実施していない	わからない	実施している	実施していないが 今後はする予定	実施していない	わからない
全体(N=5148)		43.6	18.5	31.1	6.8	45.0	16.5	30.5	8.0
性別	男性(n=2728)	50.7	18.5	28.2	2.6	49.3	17.7	29.7	3.3
	女性(n=2420)	35.6	18.5	34.4	11.5	40.2	15.2	31.3	13.3

[比率の差]

- 全体+10ポイント
- 全体+5ポイント
- 全体-5ポイント
- 全体-10ポイント

## 3.3.2 情報セキュリティ対策の実施状況(4)

- 情報セキュリティ対策の実施状況を[年代別]にみると、10代でいずれの対策についても他の年代に比べて実施率が低く、実施しているかどうか「わからない」が高い傾向にある。
- 特に、「Microsoft Update等によるセキュリティパッチの更新」は、全体での実施率が7割近くと高いにもかかわらず、10代では実施しているかどうか「わからない」が27.2%と3割近くおり、他の年代に比べて突出している。

情報セキュリティ対策の実施状況  
[年代別]

	【Microsoft Update等によるセキュリティパッチの更新】				【セキュリティ対策ソフトの導入・活用】				【パスワードの定期的な変更】			
	実施している	実施していないが 今後はする予定	実施していない	わからない	実施している	実施していないが 今後はする予定	実施していない	わからない	実施している	実施していないが 今後はする予定	実施していない	わからない
全体(N=5148)	67.3	4.0	14.6	14.1	74.3	5.5	13.3	6.9	20.1	19.5	55.4	5.0
年代別												
10代(n=423)	54.1	5.5	13.2	27.2	61.9	7.1	13.2	17.8	12.6	12.5	63.1	11.9
20代(n=1028)	63.6	5.3	15.2	15.9	71.1	8.3	12.4	8.2	16.0	15.6	62.4	6.0
30代(n=1221)	71.2	3.1	13.6	12.1	77.7	4.7	11.9	5.6	21.6	19.5	55.0	3.9
40代(n=913)	73.5	3.5	12.8	10.2	79.9	4.1	11.5	4.5	23.8	20.4	52.5	3.3
50代(n=883)	68.8	3.8	15.0	12.4	76.4	3.8	14.5	5.3	22.7	22.0	50.8	4.4
60代以上(680)	63.7	3.9	18.4	14.0	70.2	5.3	18.3	6.2	20.2	25.4	50.4	3.9

	【怪しいメール・添付ファイルの削除】				【電子メールの暗号化ソフト等の利用】			
	実施している	実施していないが 今後はする予定	実施していない	わからない	実施している	実施していないが 今後はする予定	実施していない	わからない
全体(N=5148)	84.6	2.9	7.6	4.9	16.0	11.2	59.5	13.2
年代別								
10代(n=423)	73.0	3.8	12.7	10.5	13.6	8.4	52.0	26.0
20代(n=1028)	81.3	3.3	10.0	5.4	16.6	9.2	61.0	13.2
30代(n=1221)	88.9	1.8	5.6	3.8	13.8	12.0	61.4	12.7
40代(n=913)	88.4	2.7	5.6	3.3	18.0	11.9	59.2	10.8
50代(n=883)	86.2	2.9	6.5	4.4	19.2	11.0	59.2	10.6
60代以上(680)	81.7	3.8	8.9	5.6	13.8	14.0	59.4	12.8

	【パソコンの重要なデータのバックアップ】				【不要になった自宅パソコンのデータ消去】			
	実施している	実施していないが 今後はする予定	実施していない	わからない	実施している	実施していないが 今後はする予定	実施していない	わからない
全体(N=5148)	43.6	18.5	31.1	6.8	45.0	16.5	30.5	8.0
年代別								
10代(n=423)	31.0	18.3	33.8	16.9	37.4	11.4	33.2	17.9
20代(n=1028)	39.5	18.5	34.7	7.3	43.4	14.1	34.1	8.3
30代(n=1221)	42.5	19.4	32.6	5.5	45.1	17.5	31.1	6.3
40代(n=913)	46.9	19.2	29.8	4.0	49.9	17.7	27.0	5.4
50代(n=883)	52.2	16.5	25.6	5.8	46.4	18.5	28.0	7.2
60代以上(680)	44.0	18.5	30.3	7.2	43.9	17.2	29.8	9.0

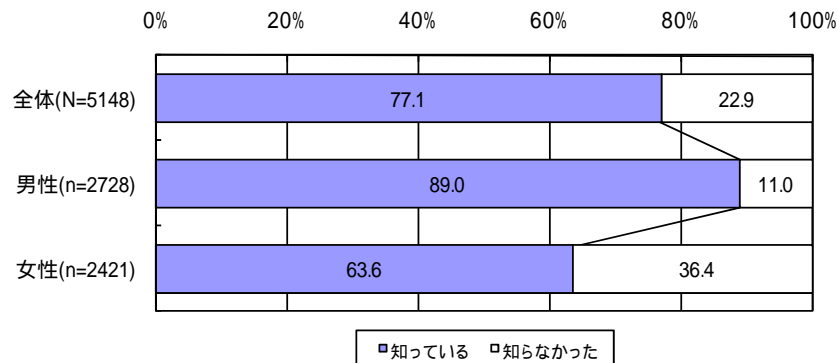
[比率の差]

全体+10ポイント
全体+5ポイント
全体-5ポイント
全体-10ポイント

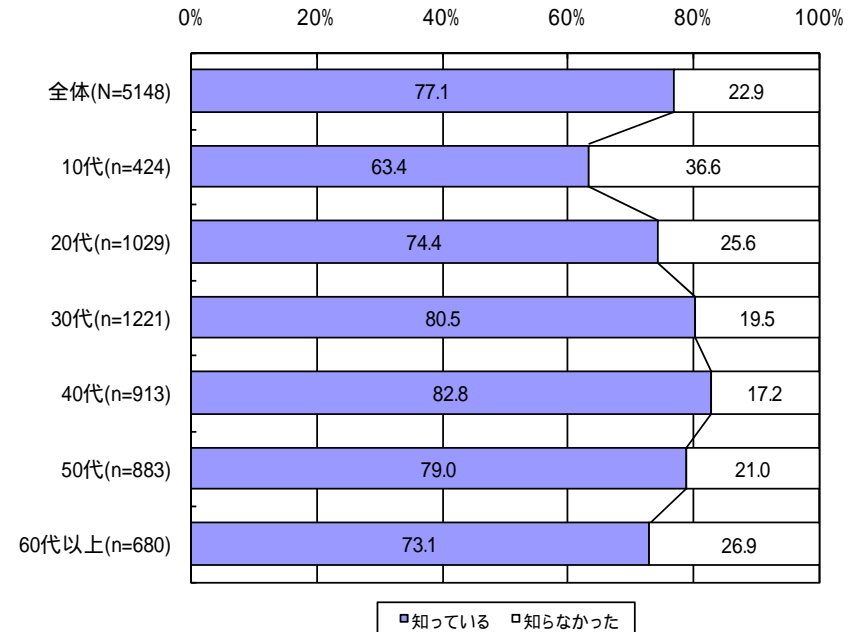
## 3.3.2 情報セキュリティ対策の実施状況(5)

- 回答者全員にMicrosoft Update等、OSの自動アップデート機能について、知っているか尋ねた。
- 全体では、認知者は77.1%、非認知者が22.9%であった。
- [性別]にみると、男性では認知者が9割近くに上るが、女性では6割にとどまる。女性のおよそ3人に1人はOSの自動アップデート機能があることを知らない。
- [年代別]では、30代～50代の認知者はおよそ8割に上る。10代の認知者は6割にとどまり、女性と同様、10代のおよそ3人に1人はOSの自動アップデート機能があることを知らないと回答している。

Microsoft Update等OSの自動アップデート機能の認知  
[回答者全体] / [性別]



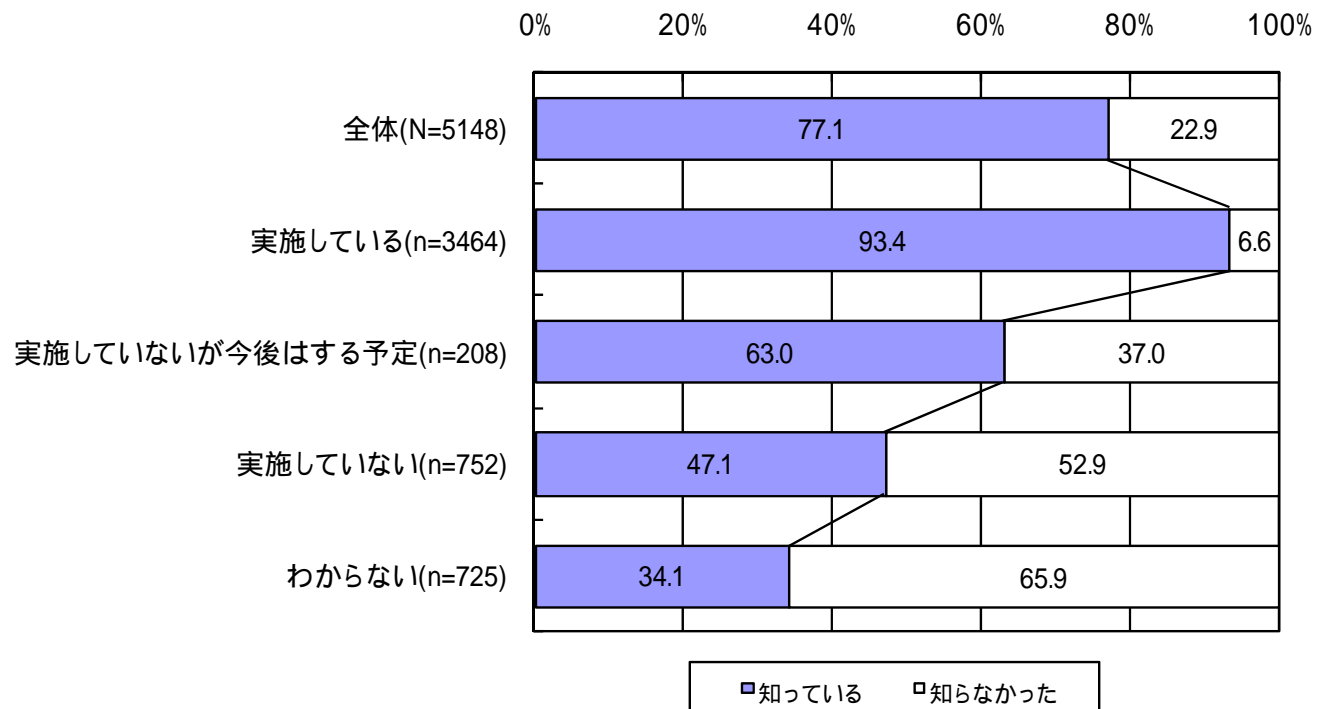
Microsoft Update等OSの自動アップデート機能の認知  
[回答者全体] / [年代別]



### 3.3.2 情報セキュリティ対策の実施状況(6)

- [情報セキュリティ対策の実施状況別]にみると、「Microsoft Update等によるセキュリティパッチの更新」を「実施している」人では、9割が自動アップデート機能を認知しているが、「実施していないが今後はする予定」の人では6割、「実施していない」人では半数を切っており、非実施者ほど認知率が低い。
- 「Microsoft Update等によるセキュリティパッチの更新」を実施しているかどうか「わからない」という人の65.9%、「実施していない」人の52.9%が自動更新機能を「知らない」と回答している。

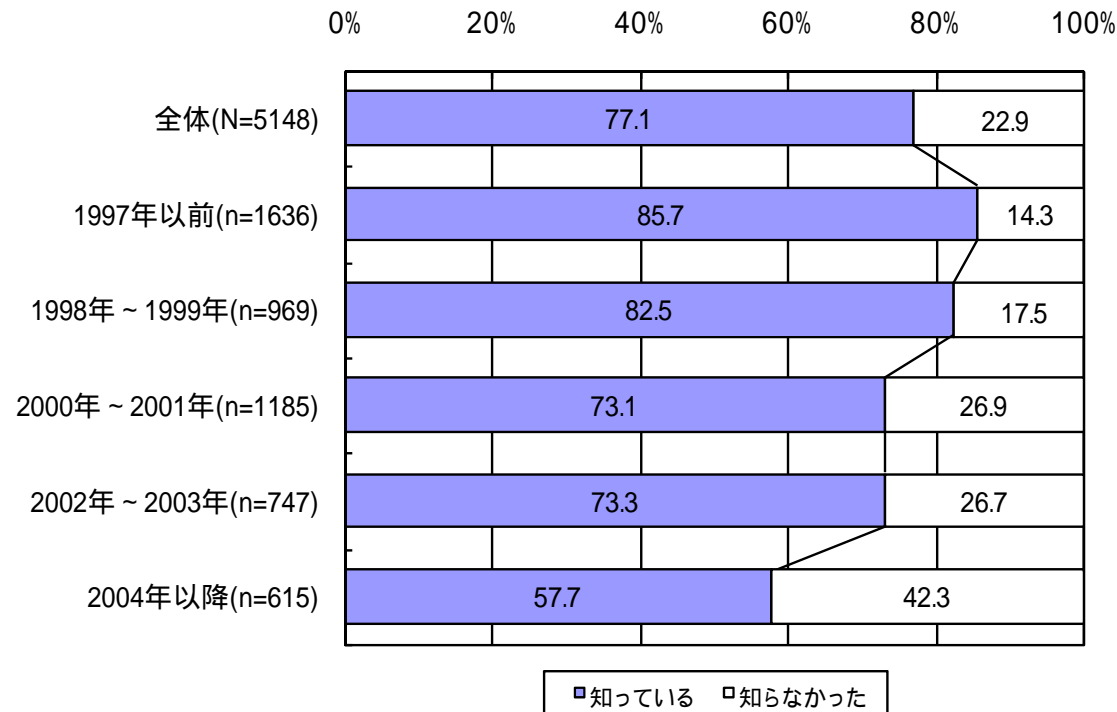
Microsoft Update等OSの自動アップデート機能の認知  
 [情報セキュリティ対策の実施状況  
 <Microsoft Update等によるセキュリティパッチの更新>別]



### 3.3.2 情報セキュリティ対策の実施状況(7)

- [インターネット利用開始時期別]にみると、早くからインターネットを使っていた層ほど自動アップデート機能の認知率は高く、比較的最近使い始めた層ほど認知率は低くなる傾向にある。

Microsoft Update等OSの自動アップデート機能の認知  
[インターネット利用開始時期別]



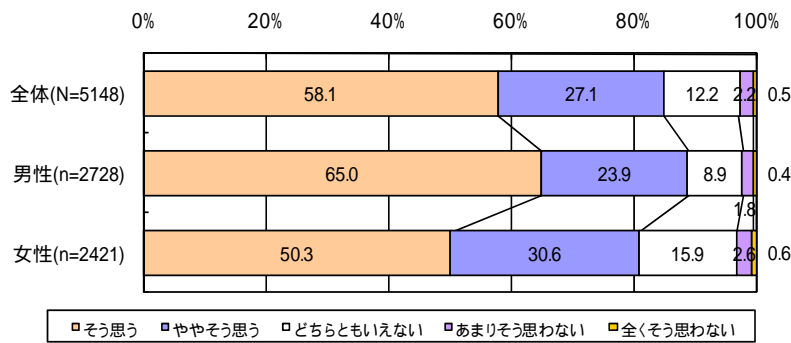
### 3.3.3 情報セキュリティ対策に対する意識(1)

- 回答者全員に情報セキュリティ対策に対する意識を尋ねた。
- 「WindowsやMacなどのOSは、セキュリティ更新プログラムが出たら、すぐにインストールし、常に最新の状態にしておくべきである」という人は、全体では85.2%（「そう思う」+「ややそう思う」）に上る。
- [性別]では、男性で「そう思う」と回答する人が65.0%と女性（50.3%）よりも多い。
- [年代別]では、10代で「そう思う」と回答する人が44.0%と最も少なく、「ややそう思う」（34.6%）と回答する割合が他の年代に比べて多い。

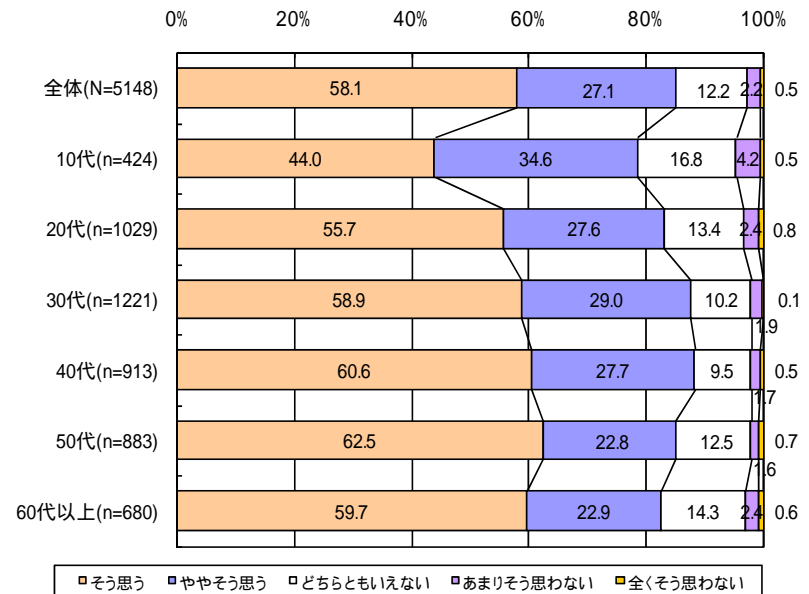
#### 情報セキュリティ対策に対する意識 -

< WindowsやMacなどのOSは、セキュリティ更新プログラムが出たら、すぐにインストールし、常に最新の状態にしておくべきである >

[回答者全体] / [性別]



[回答者全体] / [年代別]



### 3.3.3 情報セキュリティ対策に対する意識(2)

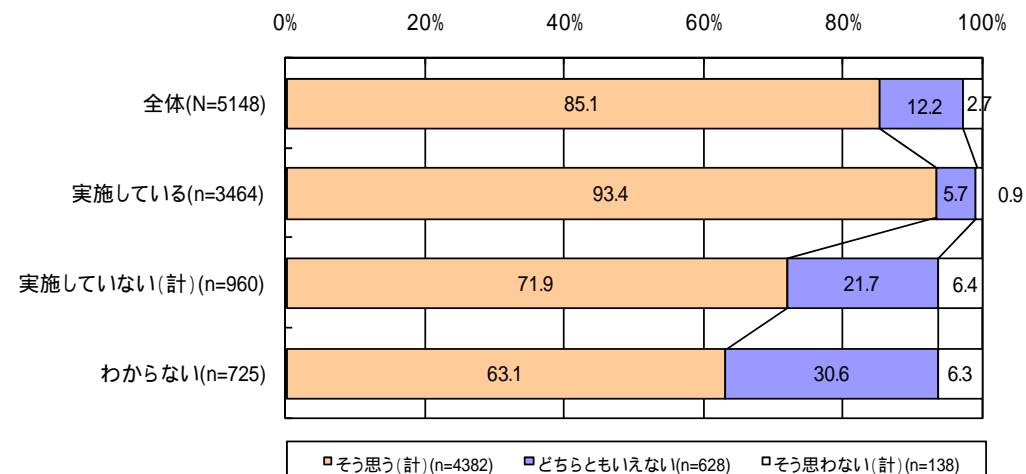
- [情報セキュリティ対策の実施状況別]にみると、「Microsoft Update等によるセキュリティパッチの更新」を「実施している」人では、「WindowsやMacなどのOSは、セキュリティ更新プログラムが出たら、すぐにインストールし、常に最新の状態にしておくべきである」について、「そう思う(計)」と回答する人が9割を超える。
- 「Microsoft Update等によるセキュリティパッチの更新」を現在「実施していない(計)」(「実施していない」+「実施していないが今後はする予定」)人では7割、実施しているかどうか「わからない」人では6割にとどまる。
- 常にOSを最新状態に保つべきであるという意識の希薄さが、セキュリティパッチの更新実施の阻害要因となりうることが推察される。

#### 情報セキュリティ対策に対する意識 -

< WindowsやMacなどのOSは、セキュリティ更新プログラムが出たら、すぐにインストールし、常に最新の状態にしておくべきである >

#### [情報セキュリティ対策の実施状況

< Microsoft Update等によるセキュリティパッチの更新 > 別]



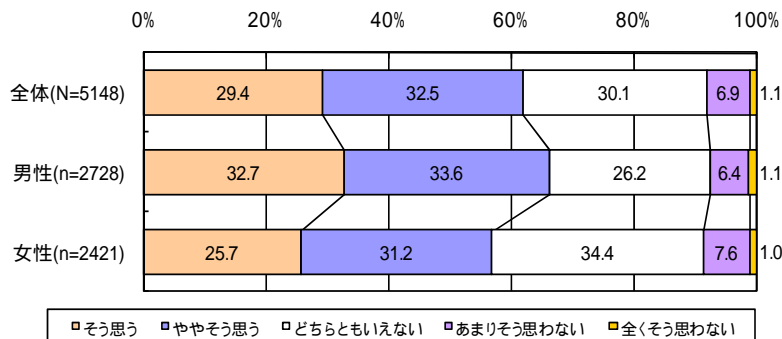
### 3.3.3 情報セキュリティ対策に対する意識(3)

- 回答者全員に情報セキュリティ対策に対する意識を尋ねた。
- 「パソコン上で利用しているソフトを立ち上げると、バージョンアップを勧めるウィンドウが表示されることがあるが、セキュリティ対策上、すぐにバージョンアップ版をダウンロードしてソフトを最新の状態にすべきである」という人は、全体では61.9%（「そう思う」+「ややそう思う」）で、「OSを最新状態に保つべきである」の回答率が85.1%に対して低い結果となった。
- [性別]では、男性のほうが女性よりも「そう思う(計)」と回答する人が多く、男性66.3%に対し、女性では56.9%である。
- [年代別]では、20代で「そう思う(計)」と回答する人が多く、67.4%に上る。

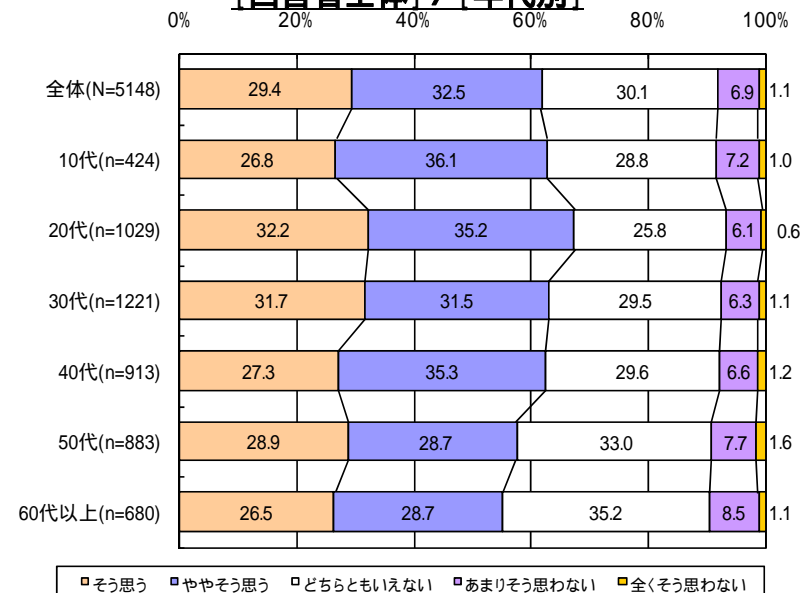
#### 情報セキュリティ対策に対する意識 -

<パソコン上で利用しているソフトを立ち上げると、バージョンアップを勧めるウィンドウが表示されることがあるが、セキュリティ対策上、すぐにバージョンアップ版をダウンロードしてソフトを最新の状態にすべきである>

[回答者全体] / [性別]



[回答者全体] / [年代別]



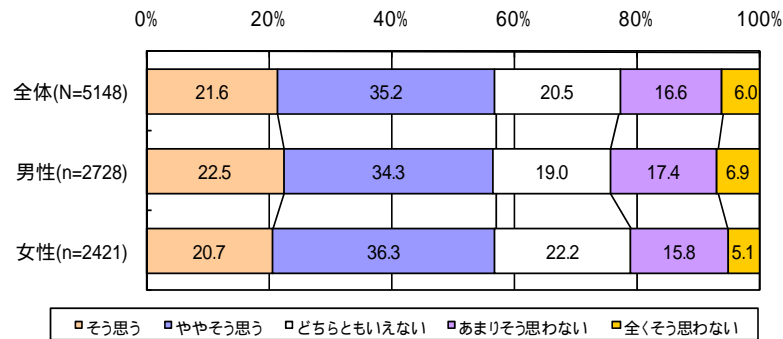
### 3.3.3 情報セキュリティ対策に対する意識(4)

- 回答者全員に情報セキュリティ対策に対する意識を尋ねた。
- 「知らない差出人からのメールは、差出人や件名の表示を見ても、セキュリティ被害をもたらすような『怪しいメール』かどうか判断するのは難しい」という人は、全体では56.8%（「そう思う」+「ややそう思う」）に上る。
- [性別]では、「そう思う(計)」人に男女差はみられないが、「そう思わない(計)」人は男性24.3%に対し、女性20.9%とやや男性のほうが多い。
- [年代別]では、「そう思う(計)」人は年代が上がるほど増える傾向にあり、若年層ほど「そう思わない(計)」人が多い。

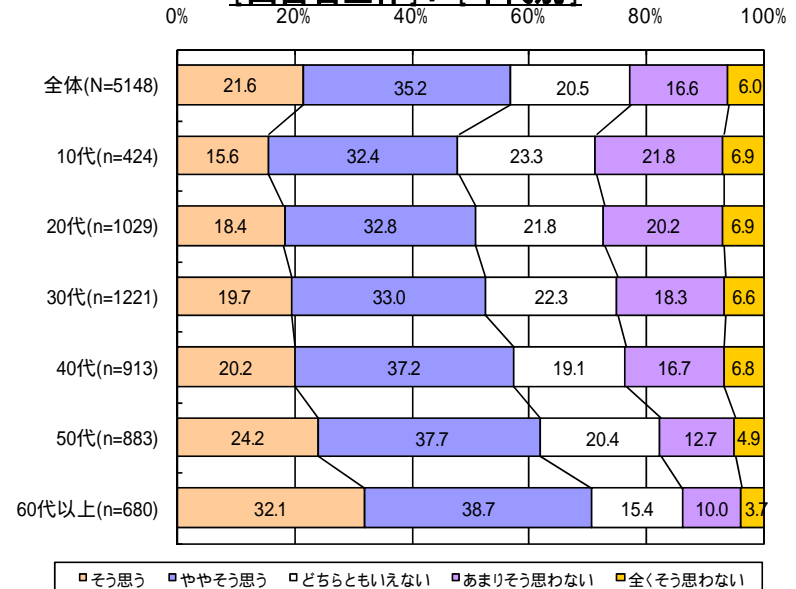
#### 情報セキュリティ対策に対する意識 -

<知らない差出人からのメールは、差出人や件名の表示を見ても、セキュリティ被害をもたらすような『怪しいメール』かどうか判断するのは難しい>

[回答者全体] / [性別]



[回答者全体] / [年代別]



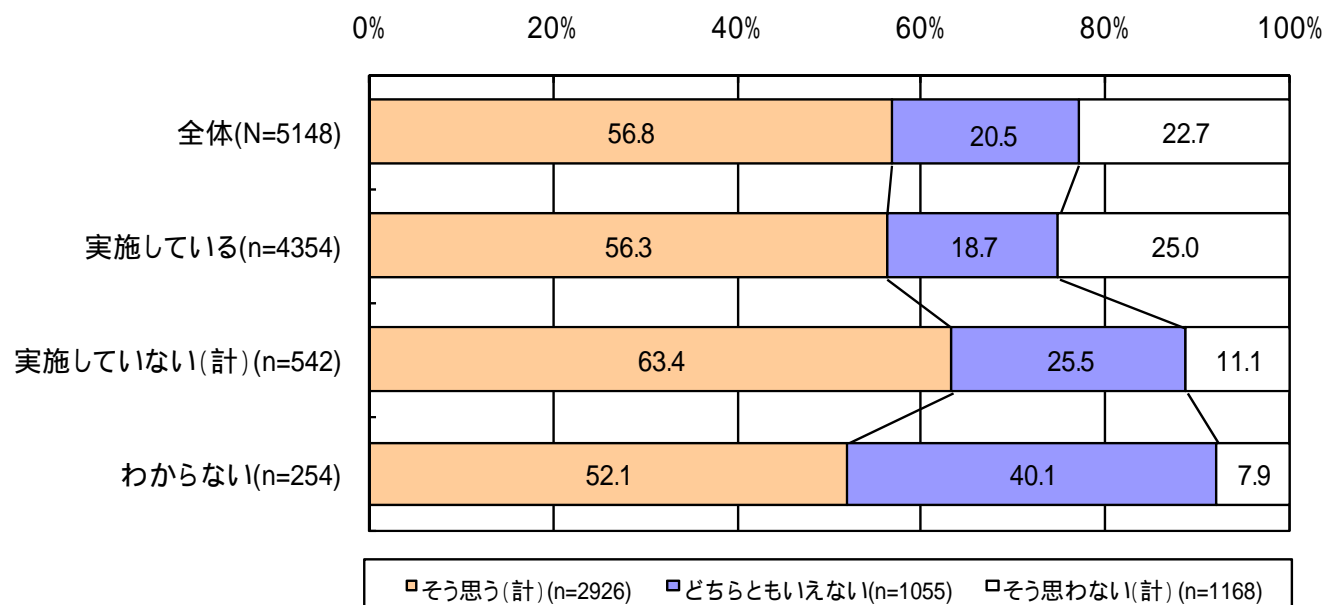
### 3.3.3 情報セキュリティ対策に対する意識(5)

- [情報セキュリティ対策の実施状況別]にみると、「怪しいメール・添付ファイルの削除」を現在「実施していない(計)」(「実施していない」+「実施していないが今後はする予定」)人では、「知らない差出人からのメールは、差出人や件名の表示を見ても、セキュリティ被害をもたらすような『怪しいメール』かどうか判断するのは難しい」について、「そう思わない(計)」と回答する人が11.1%と「実施している」人(25.0%)よりも少ない。

#### 情報セキュリティ対策に対する意識 -

<知らない差出人からのメールは、差出人や件名の表示を見ても、セキュリティ被害をもたらすような『怪しいメール』かどうか判断するのは難しい>

[情報セキュリティ対策の実施状況  
<怪しいメール・添付ファイルの削除>別]



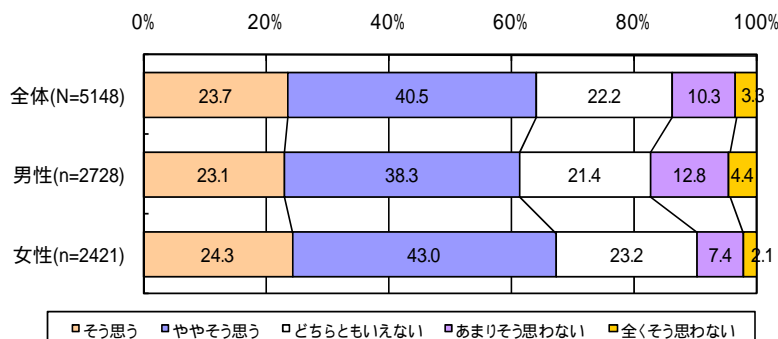
### 3.3.3 情報セキュリティ対策に対する意識(6)

- 回答者全員に情報セキュリティ対策に対する意識を尋ねた。
- 「新しいプログラムやソフトのダウンロードを勧める表示が出た時、それがセキュリティ被害をもたらすような怪しいものかどうか判断するのは難しい」という人は、全体では64.2%（「そう思う」+「ややそう思う」）に上る。
- [性別]では、女性のほうが男性よりも「そう思う(計)」と回答する人が多く、男性61.4%に対し、女性は67.3%に上る。また、「そう思わない(計)」人が男性で多く17.2%、対して女性は9.5%と1割に満たない。ソフト等のダウンロードに際して安全かどうかの判断を下すことには、男女差があることがうかがえる。
- [年代別]では、「そう思う(計)」人は年代が上がるほど増える傾向にあり、若年層ほど「そう思わない(計)」人が多い。10代は、「そう思う(計)」が54.4%と6割を切っており、「そう思わない(計)」が2割と、ソフト等をダウンロードするかどうかの判断に際し、他の年代よりも判断の難しさを感じていない人が多い。

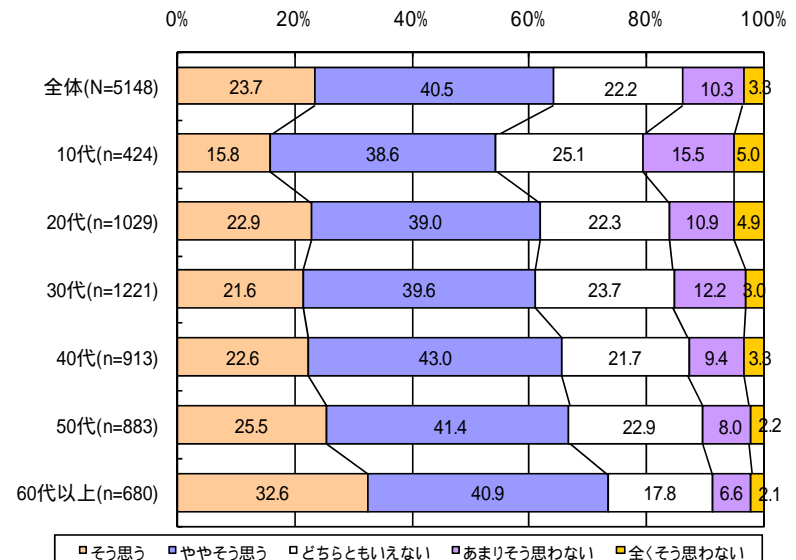
#### 情報セキュリティ対策に対する意識 -

<新しいプログラムやソフトのダウンロードを勧める表示が出た時、それがセキュリティ被害をもたらすような怪しいものかどうか判断するのは難しい>

[回答者全体] / [性別]



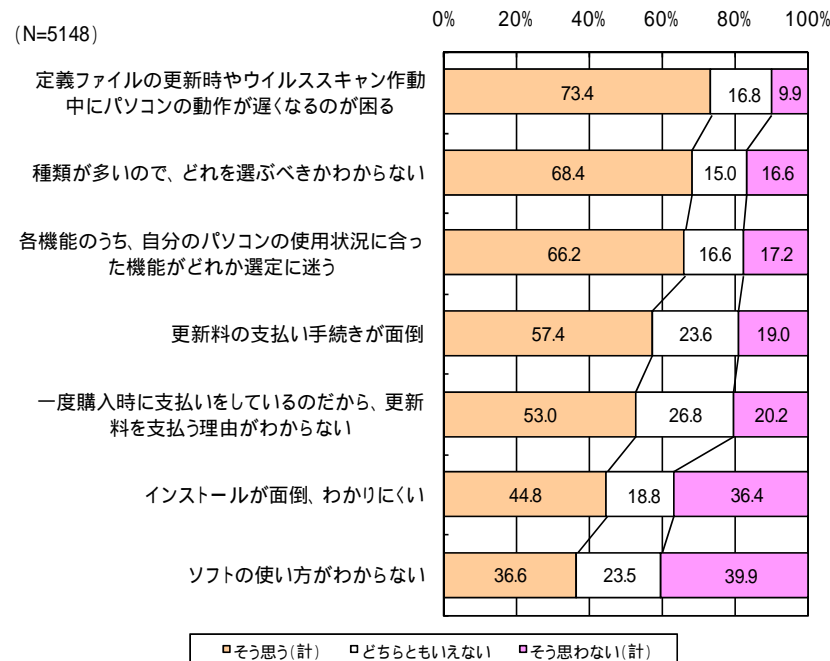
[回答者全体] / [年代別]



### 3.3.4 セキュリティ対策ソフトに対する意識(1)

- 回答者全員にセキュリティ対策ソフトに対する意識を尋ねた。
- 最も多かったのは「定義ファイルの更新時やウイルススキャン作動中にPCの動作が遅くなるのが困る」で、7割を超える人が不満を持っている。次いで、「種類が多いので、どれを選ぶべきかわからない」(68.4%)、「各機能のうち、自分のPCの使用状況に合った機能がどれか選定に迷う」(66.2%)と、各製品の機能理解に対する戸惑いの声が多い。
- 「更新料の支払い手続きが面倒」、「一度購入時に支払いをしているのだから、更新料を支払う理由がわからない」と、料金の支払いに関する不満がそれぞれ57.4%、53.0%であった。
- 「インストールが面倒、わかりにくい」は全体の44.8%、「ソフトの使い方がわからない」という人は全体の36.6%であった。

セキュリティ対策ソフトに対する意識  
[回答者全体]

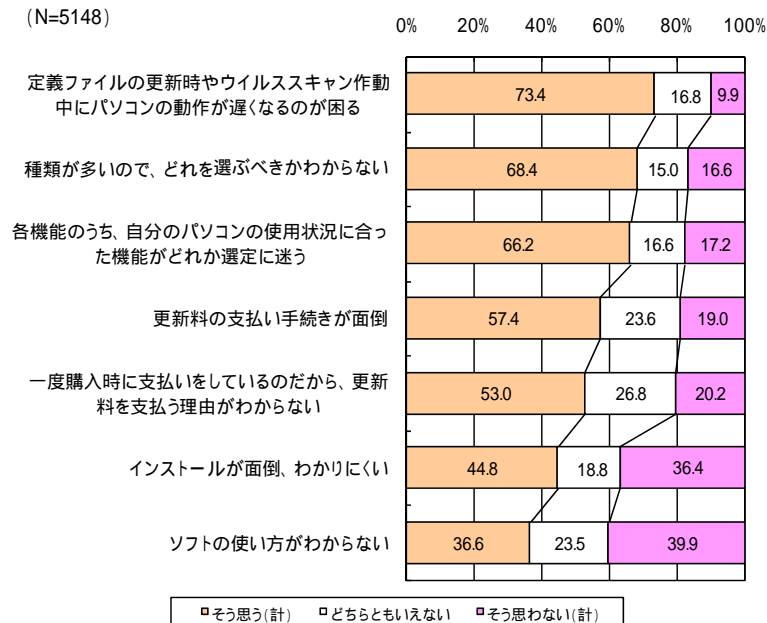


### 3.3.4 セキュリティ対策ソフトに対する意識(2)

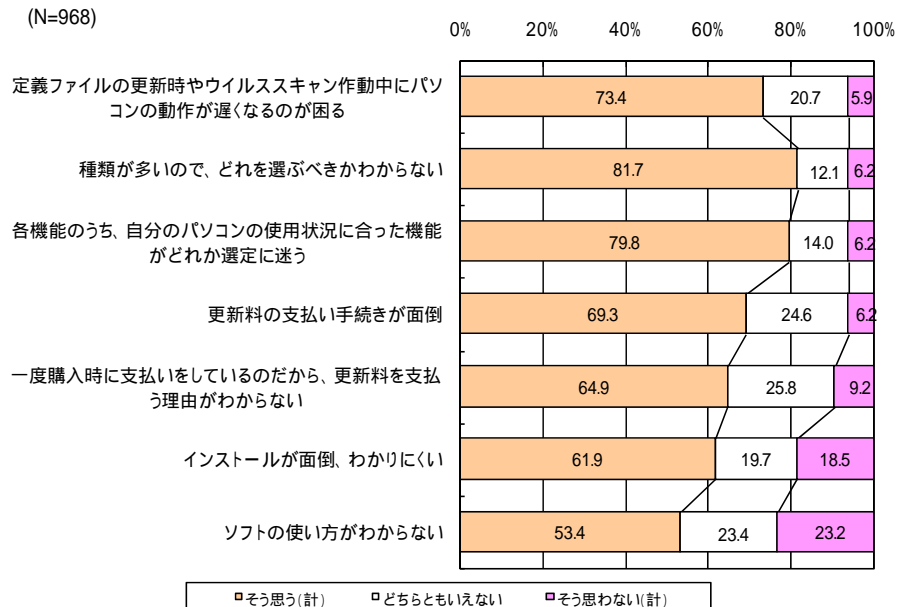
- [情報セキュリティ対策の実施状況別]にみると、「セキュリティ対策ソフトの導入・活用」を現在「実施していない(計)」(「実施していない」+「実施していないが今後はする予定」)人を基数とした場合、総じて回答者全体よりも「そう思う(計)」と回答する割合が高くなる。
- 現在セキュリティ対策ソフトを導入・活用していない人では、「種類が多いので、どれを選ぶべきかわからない」が81.7%と最も多い。
- 「インストールが面倒、わかりにくい」(+17.1ポイント)、「ソフトの使い方がわからない」(+16.8ポイント)で回答者全体よりも15ポイント以上、上回っているが、唯一、「定義ファイルの更新時やウイルススキャン作動中にPCの動作が遅くなるのが困る」については、「そう思う(計)」の割合は73.4%で回答者全体と同率であった。

(再掲)

**セキュリティ対策ソフトに対する意識**  
[回答者全体]



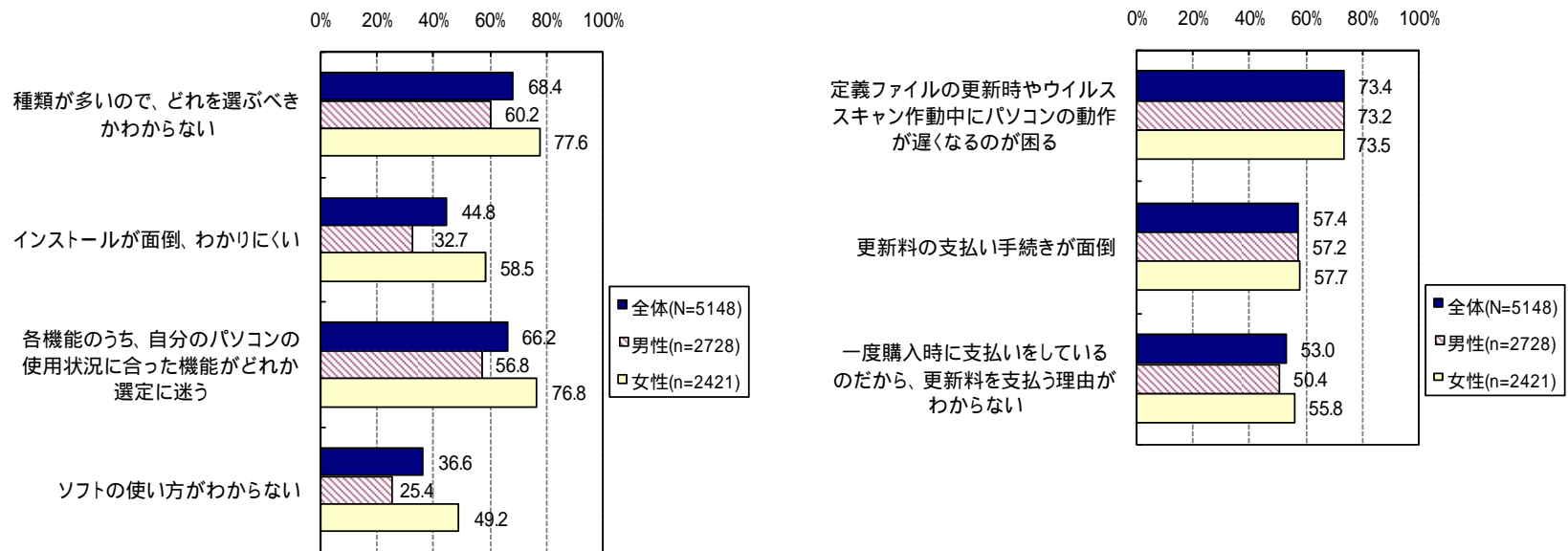
**セキュリティ対策ソフトに対する意識**  
[情報セキュリティ対策の実施状況<セキュリティ対策ソフトの導入・活用>  
<実施していない>別]



### 3.3.4 セキュリティ対策ソフトに対する意識(3)

- セキュリティ対策ソフトに対する意識について、「そう思う」または「ややそう思う」と回答したものを[性別]にみると、総じて女性のほうが男性よりも回答率が高い傾向にある。ソフトの購入段階、インストール時、及び、インストール後の作業工程において、女性のほうが男性よりも不明な点が多いと推察される。
- 「定義ファイルの更新時やウイルススキャン作動中にPCの動作が遅くなるのが困る」と「更新料の支払い手続きが面倒」には男女差はほとんどない。「更新料を支払う理由がわからない」という人は女性のほうがやや多い。

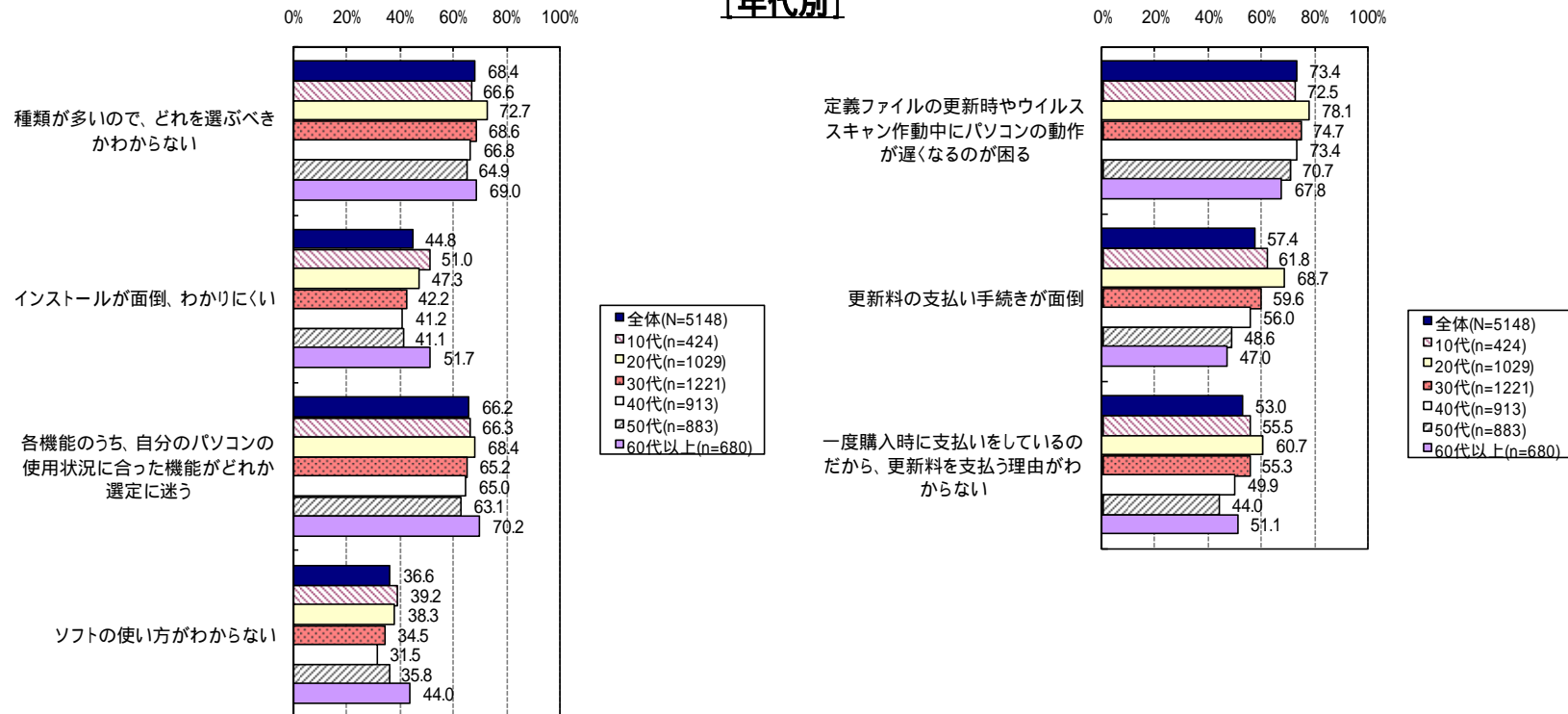
セキュリティ対策ソフトに対する意識<そう思う(計)>  
[性別]



### 3.3.4 セキュリティ対策ソフトに対する意識(4)

- セキュリティ対策ソフトに対する意識について、「そう思う」または「ややそう思う」と回答したものを[年代別]にみると、ソフトの購入段階、インストール時、及び、インストール後の作業工程において、総じて60代以上の高齢層での回答率が高い傾向にある。
- 「定義ファイルの更新時やウイルススキャン作動中にPCの動作が遅くなるのが困る」と「更新料の支払い手続きが面倒」については、20代での回答率が最も高く、年代が上がるほど回答率が下がる傾向にある。
- 「更新料を支払う理由がわからない」は20代で60.7%と最も多く、次いで10代(55.5%)、30代(55.3%)、60代以上(51.1%)が続く。

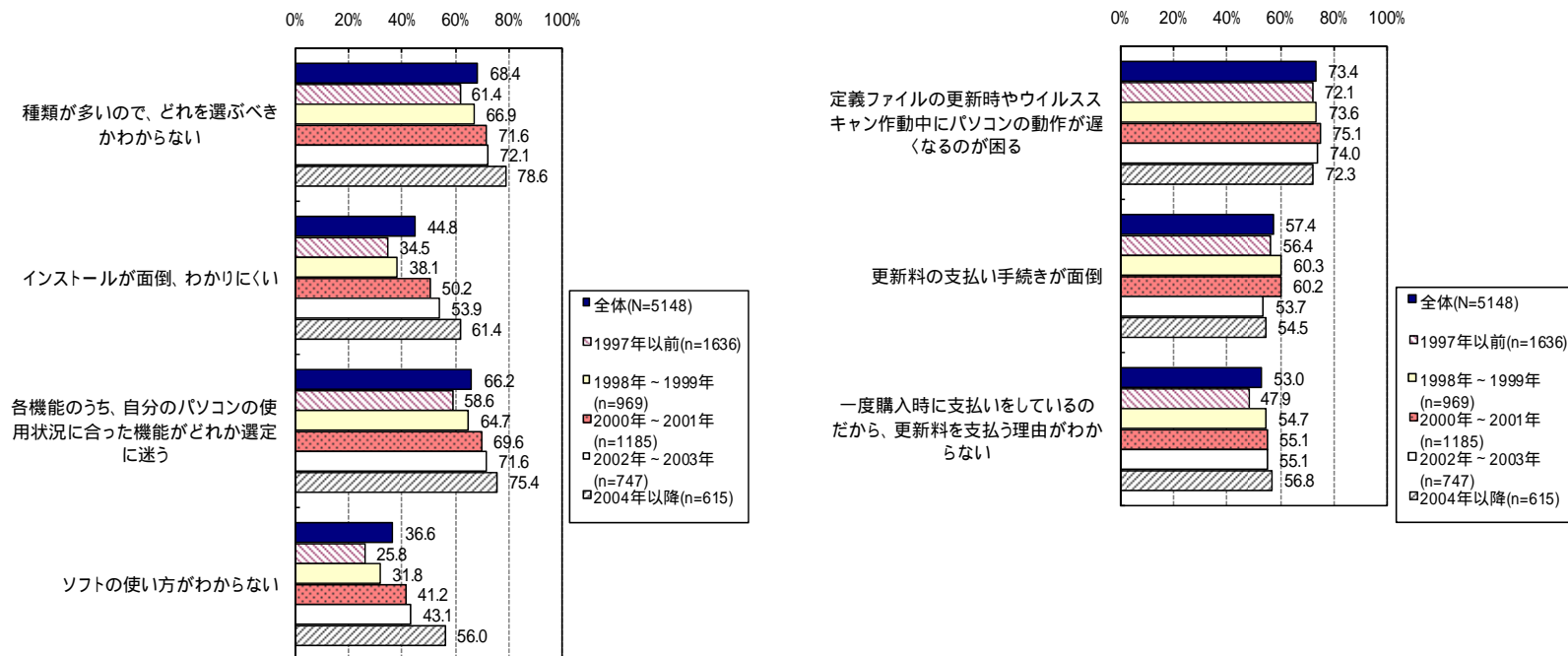
セキュリティ対策ソフトに対する意識<そう思う(計)>  
[年代別]



### 3.3.4 セキュリティ対策ソフトに対する意識(5)

- セキュリティ対策ソフトに対する意識について、「そう思う」または「ややそう思う」と回答したものを[インターネット利用開始時期別]にみると、ソフトの購入段階、インストール時、及び、インストール後の作業工程において、インターネット利用年数が短いほど回答率が高い傾向にある。
- 「定義ファイルの更新時やウイルススキャン作動中にPCの動作が遅くなるのが困る」については、利用開始時期による差異はほとんどない。
- 「更新料を支払う理由がわからない」については、「1997年以前」の古くからのインターネット利用者では47.9%と半数を切るが、「1998年以降」の利用者ではいずれも半数を超えている。

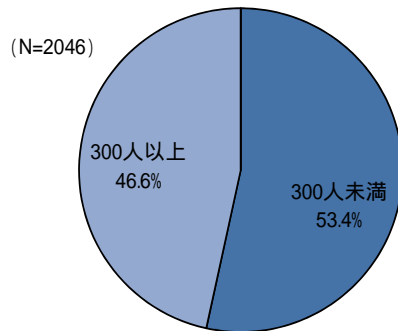
セキュリティ対策ソフトに対する意識<そう思う(計)>  
[インターネット利用開始時期別]



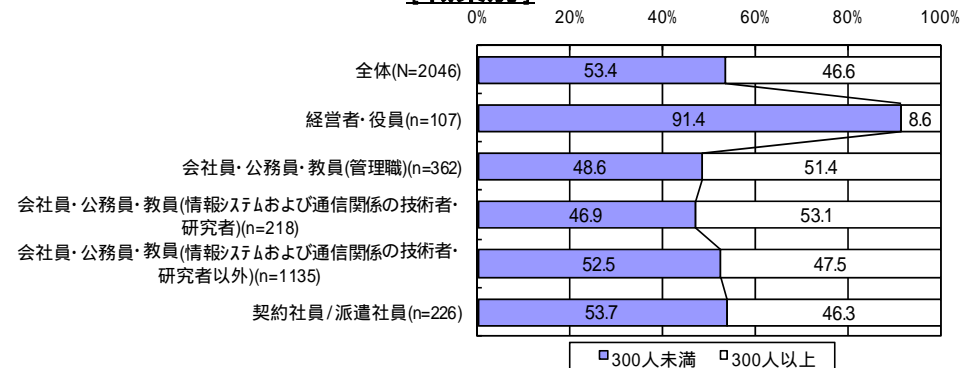
### 3.3.5 組織における情報セキュリティ対策の実施状況(1)

- 「経営者・役員」、「会社員・公務員・教員」、「契約社員 / 派遣社員」の企業勤務者に、回答者が勤める企業規模を尋ねた。
- 「300人以上」が46.6%、「300人未満」が53.4%であった。[職業別]にみると、「経営者・役員」の9割が「300人未満」である。
- また、所属する企業における業務の内訳は、情報システムに関連する業務従事者以外(「いずれにもあてはまらない」)が71.6%と大半を占める。

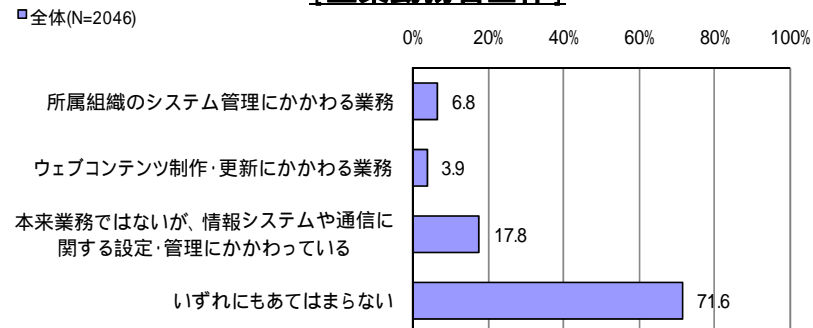
所属する企業規模  
[企業勤務者全体]



所属する企業規模  
[職業別]



所属する企業における業務  
[企業勤務者全体]

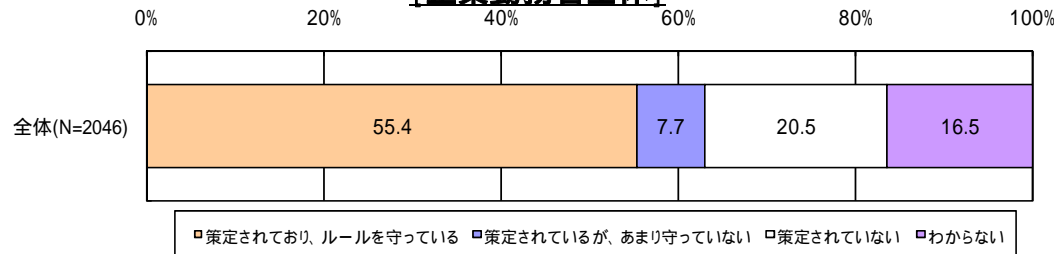


### 3.3.5 組織における情報セキュリティ対策の実施状況(2)

- 「経営者・役員」、「会社員・公務員・教員」、「契約社員 / 派遣社員」の企業勤務者に、回答者が勤める企業・組織における情報セキュリティ関連のルールが策定されているか、どの程度遵守しているか尋ねた。
- 全体では、63.1%で何らかの情報セキュリティ関連のルールが策定されており、そのうちの9割近く(87.9%)が「ルールを守っている」と回答している。
- [性別]では、女性で策定されているかどうか「わからない」という人が男性よりも多い。
- [年代別]では、ルールが策定されている中での遵守率は60代以上が最も低く79.7%、次いで30代84.8%、20代87.0%の順に低い。

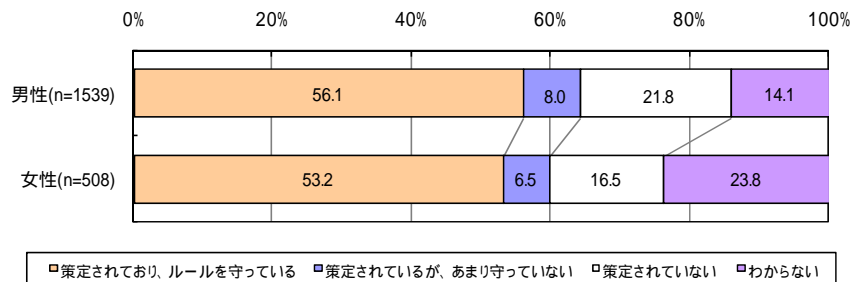
組織における情報セキュリティ関連ルールの策定・遵守状況

[企業勤務者全体]



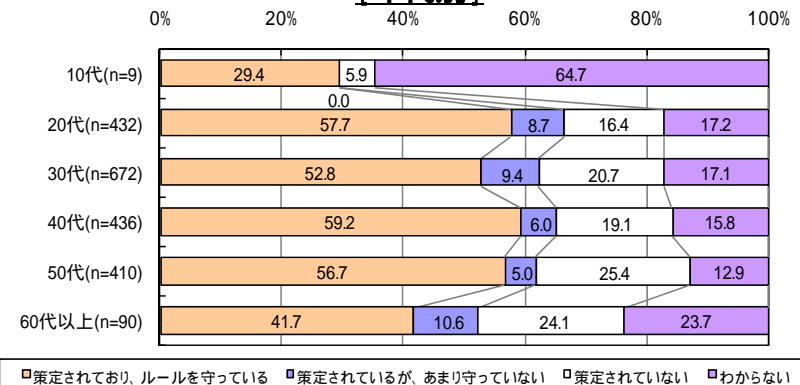
組織における情報セキュリティ関連ルールの策定・遵守状況

[性別]



組織における情報セキュリティ関連ルールの策定・遵守状況

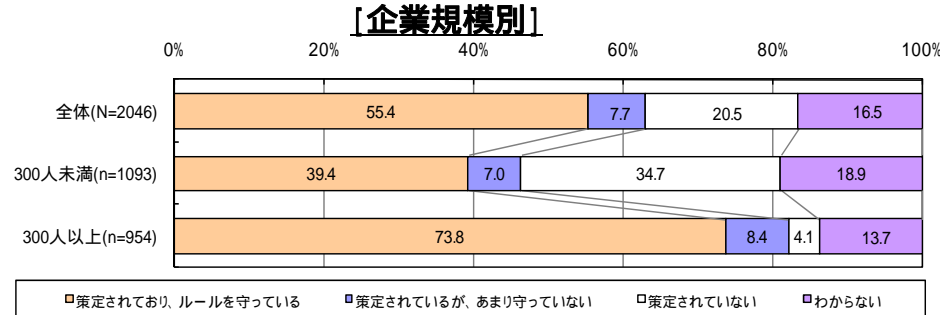
[年代別]



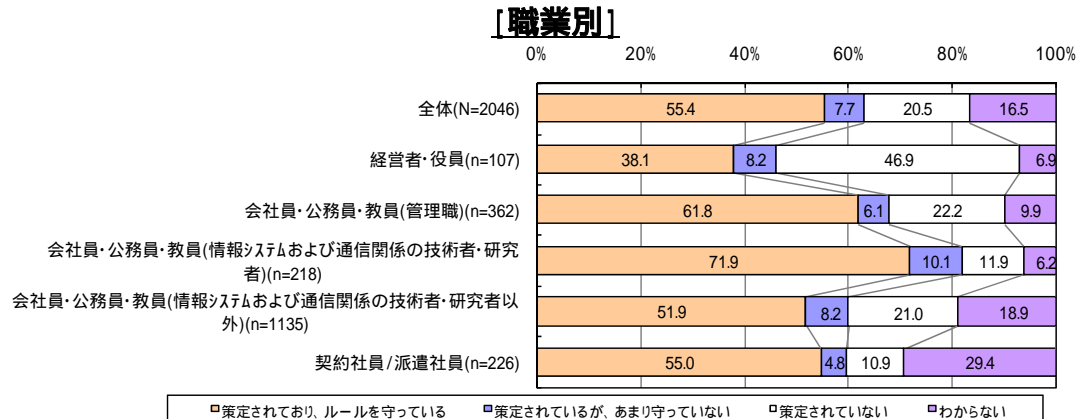
### 3.3.5 組織における情報セキュリティ対策の実施状況(3)

- [企業規模別]では、「300人未満」での策定率が低く、46.4%と半数を切っている。「300人以上」の企業では情報セキュリティ関連のルール策定率が82.2%に上る。遵守率では、「300人未満」84.9%、「300人以上」89.7%であった。
- [職業別]では、ルールが策定されている中での遵守率は「経営者・役員」が最も低く82.3%、最も高いのは「契約社員/派遣社員」で92.0%、次いで「管理職」91.0%であった。「契約社員/派遣社員」では、遵守率が高い一方で、「わからない」と回答する割合も3割に上っており、情報セキュリティに対する関心が二極化している様子が見える。

組織における情報セキュリティ関連ルールの策定・遵守状況



組織における情報セキュリティ関連ルールの策定・遵守状況

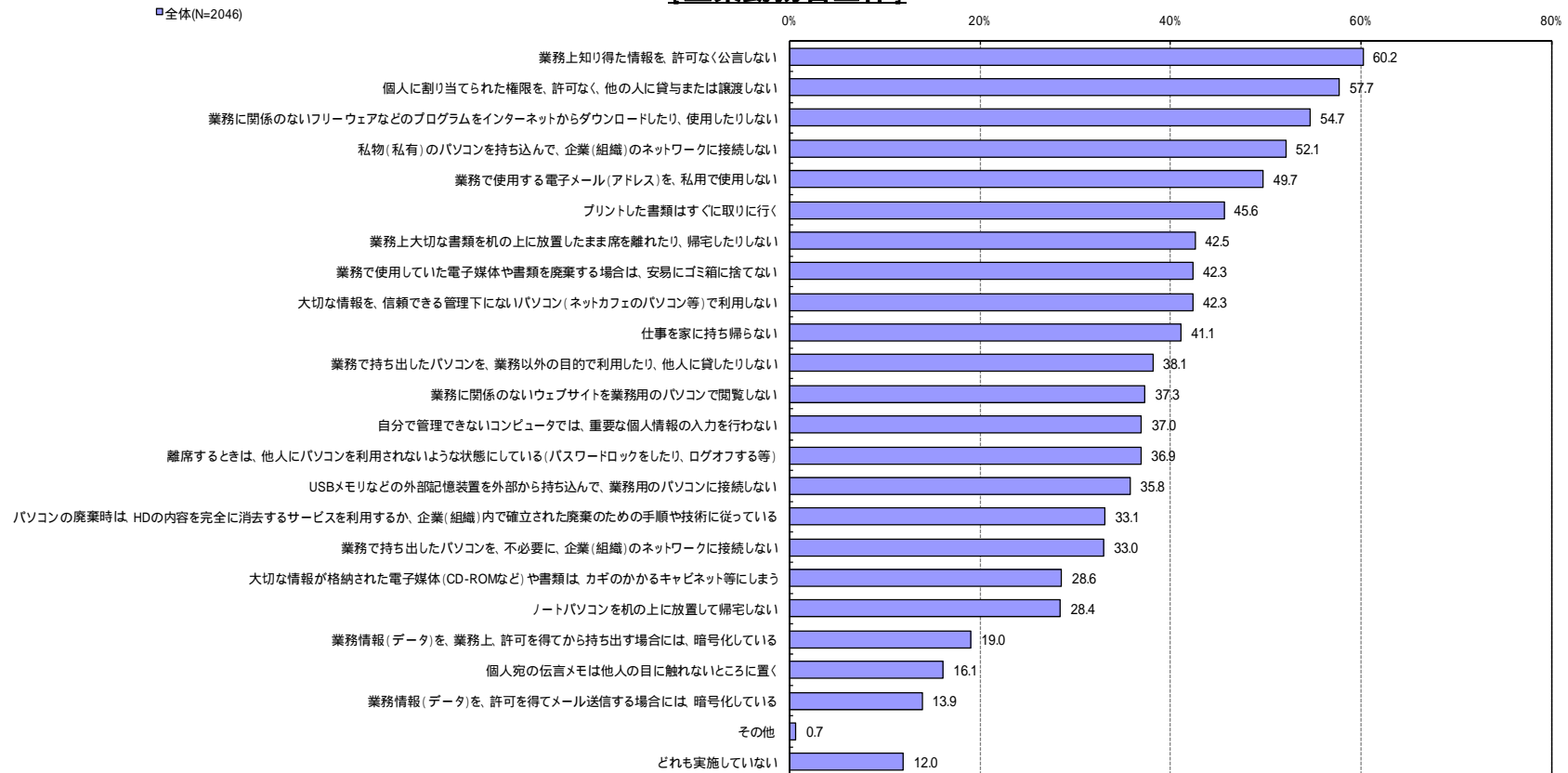


### 3.3.5 組織における情報セキュリティ対策の実施状況(4)

- 組織における情報セキュリティ(情報漏洩)対策の実施では、「業務上知り得た情報を許可なく公言しない」、「個人に割り当てられた権限を、許可なく、他の人に貸与または譲渡しない」、「業務に関係のないフリーウェアなどのプログラムをインターネットからダウンロードしたり、使用したりしない」、「私物(私有)のパソコンを持ち込んで、企業(組織)のネットワークに接続しない」の実施率が5割を超えている。
- 「業務情報を持ち出す際の暗号化」、「業務情報のメール送信時の暗号化」の実施率は2割以下と低い。

#### 組織における情報セキュリティ対策の実施状況(複数回答)

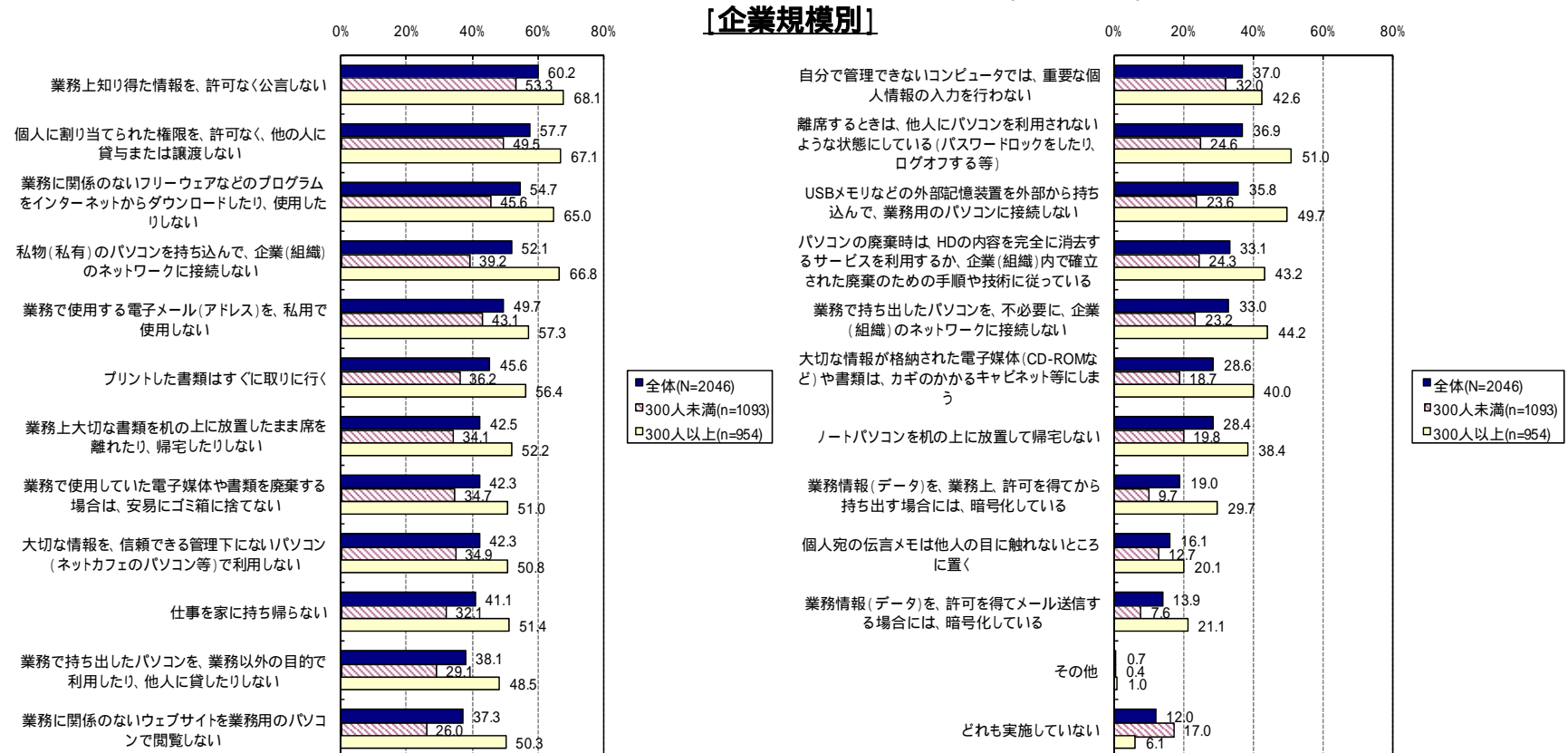
##### [企業勤務者全体]



### 3.3.5 組織における情報セキュリティ対策の実施状況(5)

- [企業規模別]では、いずれの情報セキュリティ対策も「300人以上」での実施率が高い。
- 「300人未満」では「どれも実施していない」が17.0%に対し、「300人以上」では6.1%であった。
- 特に「私物(私有)のパソコンを持ち込んで、企業(組織)のネットワークに接続しない」(±27.5%)、「離席するときは、他人にパソコンを利用されないような状態にしている」(±26.3%)、「USBメモリなどの外部記憶装置を外部から持ち込んで、業務用のパソコンに接続しない」(±26.1%)、「業務に関係のないウェブサイトを業務用のパソコンで閲覧しない」(±24.4%)において、企業規模による差が大きい。

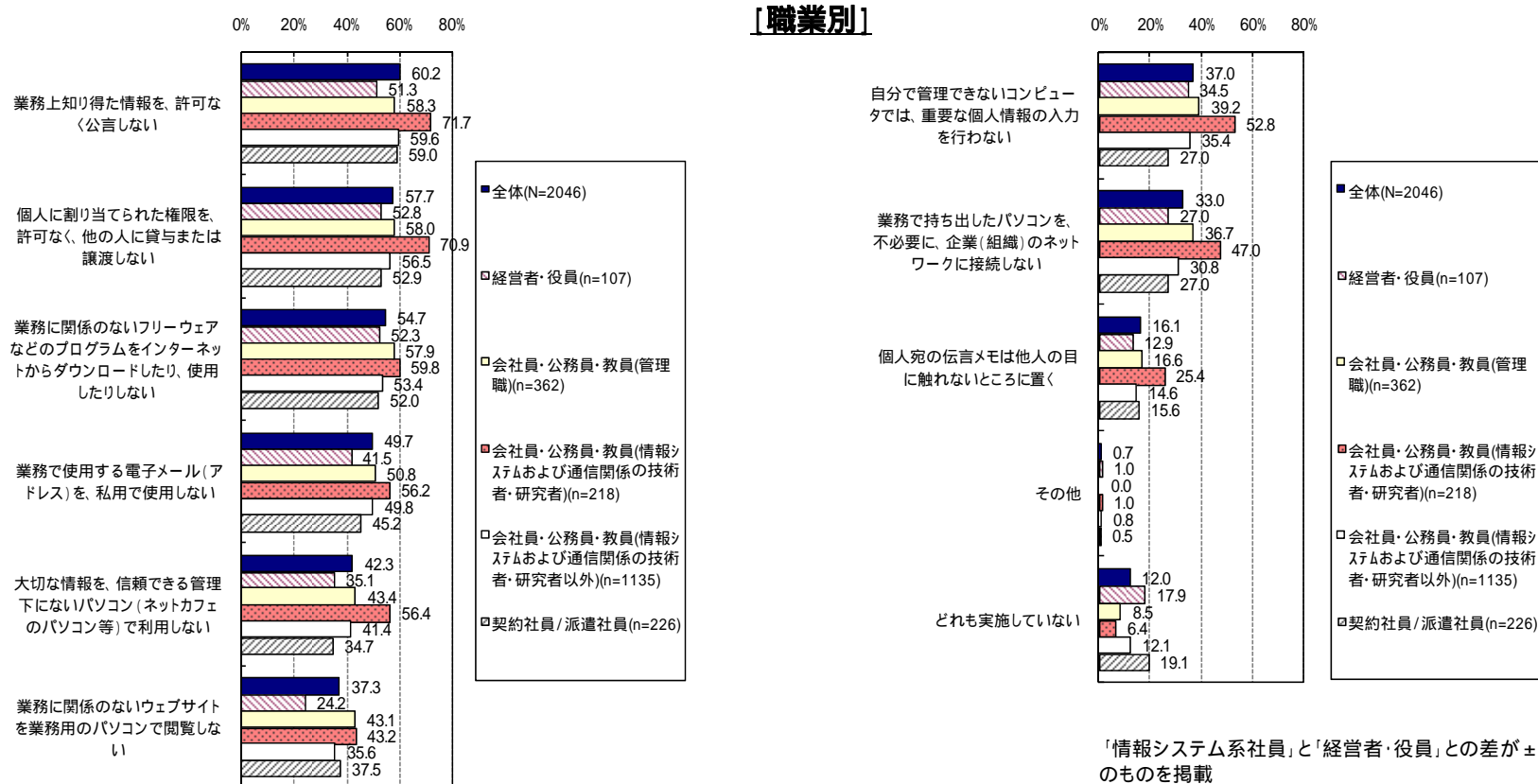
組織における情報セキュリティ対策の実施状況(複数回答)



### 3.3.5 組織における情報セキュリティ対策の実施状況(6)

- 組織における情報セキュリティ対策の実施率を[職業別]にみると、いずれの実施率も「会社員・公務員・教員(情報システムおよび通信関係の技術者・研究者)」が最も高く、「経営者・役員」の実施率が最も低い傾向にある。
- 「どれも実施していない」は「契約社員/派遣社員」が19.1%、「経営者・役員」が17.9%と2割近い。
- 「業務に関係のないウェブサイトを経営用のパソコンで閲覧しない」については、「経営者・役員」ではおよそ4人に1人程度にとどまり、管理職をはじめとする一般社員よりも実施率が低い。

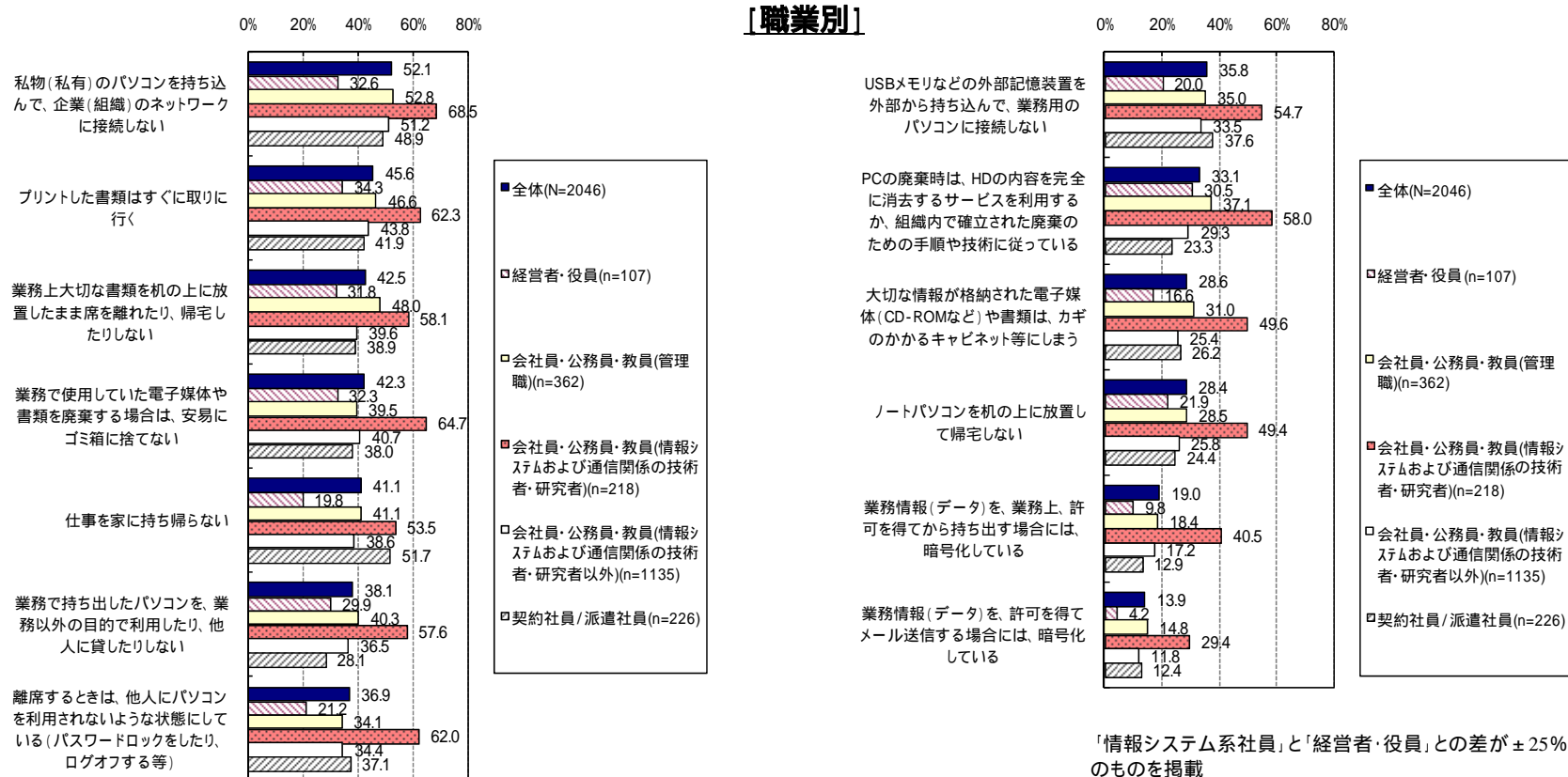
組織における情報セキュリティ対策の実施状況(複数回答) <職業差が比較的小さいもの>



### 3.3.5 組織における情報セキュリティ対策の実施状況(7)

- 特に「会社員・公務員・教員(情報システムおよび通信関係の技術者・研究者)」と「経営者・役員」との実施率の差が大きいのは、「離席するときは、他人にパソコンを利用されないような状態にしている(パスワードロックをしたり、ログオフする等)」(±40.8%)、「私物(私有)のパソコンを持ち込んで、企業(組織)のネットワークに接続しない」(±35.8%)、「USBメモリなどの外部記憶装置を外部から持ち込んで、業務用のパソコンに接続しない」(±34.7%)等である。
- 「仕事を家に持ち帰らない」は「情報システム系の社員」で53.5%、次いで「契約社員/派遣社員」で51.7%とこれらの職業では半数以上が徹底している一方で、「経営者・役員」では19.8%と差が大きい。

組織における情報セキュリティ対策の実施状況(複数回答) <職業差が比較的大きいもの>



「情報システム系社員」と「経営者・役員」との差が±25%以上のものを掲載

# 調査票

情報セキュリティに関する脅威に対する意識調査

下記アンケートにご協力をお願いします。

※アンケートの回答者の匿名をお願いします。

マクロは最近の脅威は下記のとおり調査に使用可能な脅威を調査しています。

※アンケートの回答およびアンケートでの回答を記録については、決して第三者に口外しないよう指示書やホームページの表示をお願いします。ご協力をお願いします。

01 あなたが、パソコンでインターネットを利用し始めた時期はいつですか。

【必須入力】

- 1. 1997年以前
- 2. 1998年
- 3. 1999年
- 4. 2000年
- 5. 2001年
- 6. 2002年
- 7. 2003年
- 8. 2004年
- 9. 2005年
- 10. 2006年
- 11. 2007年以降

ここでご返ページ

02 あなたのパソコンで利用しているOSは何ですか。

※複数台利用している方は、主にご利用になっているパソコンのOSをお選びください。

【必須入力】

- 1. Windows 95
- 2. Windows ME
- 3. Windows 2000
- 4. Windows XP
- 5. Windows Vista
- 6. Mac OS X
- 7. その他(Mac OS)
- 8. LinuxなどのOS
- 9. その他
- 10. わからない

ここでご返ページ

03 あなたがパソコンでインターネットを利用する場所はどこですか。(複数回答可)

【必須入力】

- 1. 職場
- 2. 学校
- 3. 自宅(家族)
- 4. 自宅(単独LAN)
- 5. 外出先(インターネットカフェ)
- 6. 外出先(企業専用LAN)
- 7. インターネットカフェ、マンガ喫茶 等
- 8. その他

ここでご返ページ

04 そのうち、最も長時間利用する場所はどこですか。

【必須入力】

- 1. 職場
- 2. 学校
- 3. 自宅(家族)
- 4. 自宅(単独LAN)
- 5. 外出先(インターネットカフェ)
- 6. 外出先(企業専用LAN)
- 7. インターネットカフェ、マンガ喫茶 等
- 8. その他

ここでご返ページ

05 パソコンでインターネットを利用する時間(平日)はどれくらいですか。

【必須入力】

- 1. 30分未満
- 2. 30分～1時間未満
- 3. 1～2時間未満
- 4. 2～3時間未満
- 5. 3～4時間未満
- 6. 4～5時間未満
- 7. 5時間以上

ここでご返ページ

06 パソコンによるインターネットで以下のサイトやサービスを利用していますか。

【必須入力】

	1 ご利用していません	2 ご利用していませんが、今後ご利用する可能性があります	3 ご利用しています	4 ご利用しています(インターネット-EDP/インターネット)
1. 企業(団体の)サイト	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
2. 個人のホームページやブログ	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
3. インターネットショッピング、インターネットオークション	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
4. インターネットショッピング、検索エンジンの利用	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
5. 商品(対面)やサービスのコミュニケーション(メール、チャット、ブログ)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
6. OLAサイト(Word検索器、数式入力等)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
7. 電子書	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
8. Wikipedia等、百科事典サイト	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
9. DDD(動画)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
10. オンラインゲーム	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
11. 動画サイト	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
12. 検索エンジン、音楽エンタテインメントの検索や購入	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
13. フォト(写真)ソフト (iPhoto等)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
14. アプリケーションプログラム	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
15. 社会サービス	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

ここでご返ページ

07 パソコンによるインターネットで以下のサイトやサービスの利用に関して、不安を感じることがありますか。

【必須入力】

	1 不安を感じます	2 不安を感じることがない
1. インターネットショッピング、インターネットオークション	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
2. インターネットショッピング、検索エンジンの利用	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
3. ホームページの閲覧	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
4. メールソフト	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

ここでご返ページ

10 パソコンによるインターネットでは下のサイトやサービスの利用に対して、どのようなことに不安を感じますか。  
【必須入力】

	1 深刻な不安を感じる	2 やや不安を感じる	3 ほとんど不安を感じない	4 不安を感じない
1. オンラインショッピング、オンライン予約サービス	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2. オンライン取引サービス、電子決済サービス	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3. オンラインサービスの閲覧	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
4. メール利用	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

3 < 次ページ

11 あなたは普段インターネットを利用する際、情報セキュリティに関して、どのようにお考えですか。  
【必須入力】

1 全く重要ではない	2 やや重要ではない	3 まあ重要である	4 非常に重要である
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

3 < 次ページ

\*パソコンやインターネットを安全に利用するための情報セキュリティを測っておきます。

12 法の企業を開設したことはありますか。開いたことがあるものをすべて選んでください。  
【必須入力】

- 1. エレクトロニクス
- 2. スパムメール
- 3. セキュリティメール(脆弱性)
- 4. フィッシング詐欺
- 5. サイバーア
- 6. 脅迫
- 7. フックアップ不正請求
- 8. セキュリティ対策ソフトの購入/利用の有無
- 9. 脆弱性のヒアリングの有無
- 10. その他(開いたことがない)

3 < 次ページ

13 Q18で「コンピュータウイルス」という企業を開設したことがある方にお聞かせします。  
どのようなことが生じるか(事業)を知っていますか。  
【必須入力】

- 1. 知っている
- 2. 知らない

3 < 次ページ

14 コンピュータウイルスに関する認識について正誤を判定してください。  
【必須入力】

	1 正	2 誤
1. セキュリティ対策ソフトをインストールしただけでは、ウイルス感染を防ぐことができない	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2. 不要なファイルの送信はメールが最も危険だが、ファイルを開くだけで感染したことがない	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3. ウイルスとは主にメールの送信ファイルによって感染するので、Webページ閲覧の上から感染することは少ない	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

15 Q18で「スパムメール」という企業を開設したことがある方にお聞かせします。  
どのようなことが生じるか(事業)を知っていますか。  
【必須入力】

- 1. 知っている
- 2. 知らない

3 < 次ページ

16 スパムメールに関する認識について正誤を判定してください。  
【必須入力】

	1 正	2 誤
1. 心当たりがないメールや不要なメールは、送信停止の依頼を送ることがよい	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2. 2週間以上送られてくればスパムメール(迷惑メール)の迷惑度は増える(ただし迷惑メールをフィルタリングするサービスを提供する事業者がある)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3. スパムメールの迷惑度は、ウイルス等の不正プログラムが仕込まれたWebサイトへリンクされている場合が最も高く、次に注意すべきである	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

3 < 次ページ

17 Q18で「セキュリティメール(脆弱性)」という企業を開設したことがある方にお聞かせします。  
どのようなことが生じるか(事業)を知っていますか。  
【必須入力】

- 1. 知っている
- 2. 知らない

3 < 次ページ

18 セキュリティメール(脆弱性)に関する認識について正誤を判定してください。  
【必須入力】

	1 正	2 誤
1. セキュリティメールとは、WindowsやMacなどのOSのみで見られるものである	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2. セキュリティメールが来たメールを開くだけで、ネットにつなぐだけでウイルスに感染する可能性がある	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3. セキュリティメールを解決するには、Microsoft Updateなどを利用してソフトウェアを最新の状態にしておく必要がある	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

3 < 次ページ

19 Q18で「フィッシング詐欺」という企業を開設したことがある方にお聞かせします。  
どのようなことが生じるか(事業)を知っていますか。  
【必須入力】

- 1. 知っている
- 2. 知らない

3 < 次ページ

20 フィッシング詐欺に関する認識について正誤を判定してください。  
【必須入力】

	1 正	2 誤
1. フィッシング詐欺とは、金融機関などを使ったメールを送り、Webサイトへのリンクを押し付けて、偽造したクレジットカード番号やIDワードなどを騙し取らる行為である	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2. 偽サイトを見破るための最善策は、アドレスバーのURLや検索エンジンの証明書を確認することである	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3. フィッシング詐欺を仕掛ける偽サイトに接続した際、IDやパスワードを盗取するといった危険なウイルスはないと目録の心遣いが大切である	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

Q18「スワイフ・ア」といふ言葉を知ることがある方にお聞かせします。  
 どのようなことが生じるか(事象)を知っていますか。

【必須入力】

1. 知っている  
 2. 知らない

ここでご返ページ

Q19 スワイフ・アに関する記述について正誤を判定してください。

【必須入力】

	1 正	2 誤
1. スワイフ・アとは、ネット上でどのようなサービスに接続されて、他の利用者の記録を盗むもの で、自宅からインターネットに接続しただけでは盗むことができない。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
2. スワイフ・アとは、利用者の個人情報を複製し、複製したものをクラウドで送る	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
3. クラウド環境や幅広いサービスにあるデータをクラウドアップすることにより、スワイフ・アが 実行できるため、さまざまなサービスが実行されるクラウドがことごとく実行される	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

ここでご返ページ

Q20「ボット」といふ言葉を知ることがある方にお聞かせします。

どのようなことが生じるか(事象)を知っていますか。

【必須入力】

1. 知っている  
 2. 知らない

ここでご返ページ

Q22 ボットに関する記述について正誤を判定してください。

【必須入力】

	1 正	2 誤
1. ボットに感染したら、パソコン自体が勝手に動くので自分で感染したことがわかる	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
2. ボットは、ファイル感染のやりかたはネットワーク経由などを利用して感染することが多く、ボ ット自体は感染することは少ない。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
3. ボットに感染すると、自分のパソコンが操作されて、迷惑メールを勝手に送信したり、他の電 子機器のサービスへのサービス妨害などが行われてしまうことがある。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

ここでご返ページ

Q23「ワンクリック不正請求」といふ言葉を知ることがある方にお聞かせします。

どのようなことが生じるか(事象)を知っていますか。

【必須入力】

1. 知っている  
 2. 知らない

ここでご返ページ

Q25 ワンクリック不正請求に関する記述について正誤を判定してください。

【必須入力】

	1 正	2 誤
1. ワンクリック不正請求は、ウェブページへのアクセスが、勝手に実行されたため、料金を請求 される可能性があることである。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
2. ワンクリック不正請求は、アドレスサイトから実行される。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
3. 自分が電話で、個人情報が表示された場合は、すぐに請求書に記載された連絡先に電話し、要 求の連絡をすべきである。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

Q26「セキュリティ対策ソフトの無効化行為」といふ言葉を知ることがある方にお聞かせします。  
 どのようなことが生じるか(事象)を知っていますか。

【必須入力】

1. 知っている  
 2. 知らない

ここでご返ページ

Q28 セキュリティ対策ソフトの無効化行為に関する記述について正誤を判定してください。

【必須入力】

	1 正	2 誤
1. セキュリティ対策ソフトの無効化行為とは、「無効化のメニューをクリックして無効化するの で、セキュリティ対策ソフトをオフにすることが目的です。また、不正プログラム をオフロード購入することもできる。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
2. ホームページ閲覧中に「あなたのパソコンがウイルスに感染しています」といった内容のメ ッセージが表示されたら、すぐにクリックして確認すべきである。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
3. 別のセキュリティ対策ソフトをインストールして、また、クレジットカード番号の入力などのポ ップアップ画面が頻りに表示されることが多い。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

ここでご返ページ

Q29「悪質なフィッシング詐欺」といふ言葉を知ることがある方にお聞かせします。

どのようなことが生じるか(事象)を知っていますか。

【必須入力】

1. 知っている  
 2. 知らない

ここでご返ページ

Q30 悪質なフィッシング詐欺に関する記述について正誤を判定してください。

【必須入力】

	1 正	2 誤
1. 悪質なフィッシング詐欺とは、特定の被害者やユーザーをターゲットとしてウイルスを送り こけたり、フィッシングを仕掛けるものであり、狙った被害者ユーザーの情報を盗み出すこと が行われることが多い。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
2. 悪質なフィッシング詐欺では、メールの発出元のアドレスや本文の内容に「怪しい」と表示され たりするので、注意が必要。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
3. 悪質なフィッシング詐欺は、セキュリティ対策ソフトで検知されないことが多い。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

ここでご返ページ

Q32 あなたは、パソコンやインターネットを利用して、この1年(2022年1月～2022年12月の間に、

情報セキュリティに関する被害を被験したことはありますか。

ある場合は、被験したものを選んでください。(複数選択可)

【必須入力】

1. エンタープライズに感染した(感染したセキュリティ対策ソフトが検出したアースまで)
2. パソコンのシステムやファイルが盗み取られたこと、複製された
3. 金銭が盗取られたこと(大量メールが送られてきた)
4. メールに添付されたファイルを開くと、個人情報の入力要求などのメッセージが表示された
5. 19年度中に、同じような内容の、今後の支払を要するメッセージが表示された
6. 知らない理由の支払いを要するメールが送られてきた
7. 知らない理由の支払い請求が送られてきた
8. 知らない理由の支払い請求をメールで送られてきた
9. 個人情報を盗み取られたこと
10. 個人情報を盗み取ってしまったことがある
11. その他(別の被害)
12. 被害に当たったことはない(わからない)



139 セキュリティ対策ソフトに関して、あなたのお考えをお知らせください。  
【必須入力】

	1 はい	2 ややはい	3 どちらでもない	4 ややいい	5 いい
1. 種類がいろいろで、どれを選べばいいかわからない	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
2. インストールが簡単、わかりやすい	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
3. 最新バージョン、自分のパソコンの使用状況にあった機能がどれか確認できる	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
4. ソフトの使い方がわからない	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
5. 企業ファイルの更新時やウイルススキャン行動時ソフトウェアの動作が滞りなく進むのを確認	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
6. 更新料の支払い手段が複数あり	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
7. 一度購入後に変更ができて、そのため、更新料を支払う理由がわからない	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

3 < 次ページ >

139 あなたが職業を以下からひとつ選んでください。  
【必須入力】

- 1. 経営者・役員
- 2. 会社員・公務員・教員（管理職）
- 3. 会社員・公務員・教員（情報システムおよび通信関係の技術者・研究者）
- 4. 会社員・公務員・教員（情報システムおよび通信関係の技術者・研究者以外）
- 5. 医者・弁護士等、専門職
- 6. 経営者・役員以外
- 7. 専業主婦
- 8. 家事手伝い・無職
- 9. パート・アルバイト
- 10. 専門学校生・短大生・大学生・大学院生
- 11. 高校生
- 12. 中学生
- 13. 小学生
- 14. その他

3 < 次ページ >

★企業等に勤務の方にはお読みいただけます。ご自身の職業に関する場合は、おに所属しているものについてお答えください

140 所属する企業等の組織で、あなた自身の責任として、以下からお選びはよろしいものと一つ選んでください。  
複数の責任にかかわっている場合は、主な責任を選んでください。  
【必須入力】

- 1. 所属組織のシステム管理にかかわる業務
- 2. ツールやアプリケーションの更新にかかわる業務
- 3. 企業業務でITが、情報システムや機器に関する設定・管理にかかわっている
- 4. いずれにもあてはまらない

3 < 次ページ >

141 あなたが所属する企業等の組織の規模は、以下のうちどちらにあてはまりますか。  
【必須入力】

- 1. 300人未満
- 2. 300人以上

3 < 次ページ >

142 あなたが所属する企業等の組織では、情報セキュリティに関する規定などのルールは制定されていますか。  
また、制定されている場合、あなたはそのルールをどの程度守っていますか。  
【必須入力】

- 1. 制定されているが、ルールを守っている
- 2. 制定されているが、あまり守っていない
- 3. 制定されていない
- 4. わからない

143 所属する企業等の組織で、情報漏えい対策として、あなたが実施しているものは以下のうちどれですか。（複数選択可）  
【必須入力】

- 1. 個人に持ち出された情報を、許可なく、他人に送るまたは提供しない
- 2. 業務に関するメール・ワーケーションなどのプログラムをインターネットからダウンロードしたり、使用しない
- 3. 業務で使用する電子メールアドレスを、私用で使わない
- 4. 業務に関するウェブサイトを業務用のパソコンで閲覧しない
- 5. 業務情報（データ）を、業務上、許可を得ずに持ち出す場合は、報告している
- 6. 業務情報（データ）を、許可を得ずにメール送信する場合は、報告している
- 7. 印刷機などの外部記憶装置を外部から持ち込んで、業務用のパソコンに接続しない
- 8. 大切な情報に格納された電子媒体（CD-ROMなど）を盗難ま、紛失の恐れがある場合は、速に報告する
- 9. 大切な情報も、住所や電話番号などの個人情報も、パソコン（ネットカフェのパソコン等）で入力しない
- 10. 自分で管理できないコンピュータでは、重要な個人情報の入力を行わない
- 11. 業務上大切な情報を知りたがる第三者にそのまま提供したり、持ち出ししない
- 12. 印刷機などのパソコンを持ち込んで、企業（組織）のネットワークに接続しない
- 13. 業務で持ち出したパソコンは、必要時に企業（組織）のネットワークに接続しない
- 14. 業務で使っている電子媒体や書類を廃棄する場合は、確実に破壊して捨てる
- 15. パソコンの廃棄時は、HDDの内容を完全に消去するサービスを利用するか、企業（組織）内で廃棄された廃棄のための手順が整備されている
- 16. 業務上大切な情報も、許可なく送らない
- 17. パスワードを他人に教えない
- 18. 顧客に関する情報は、他人のパソコンで閲覧しない（必要な場合は、パスワードを教えた人がログオフする等）
- 19. ネットパソコンを持ち込んで訪問して接続しない
- 20. 業務で持ち出したパソコンは、業務以外の目的で使用したり、他人に貸さない
- 21. 仕事を家に持ち帰らない
- 22. 個人用のスマートフォンは他人の目に触れさせないようにする
- 23. その他
- 24. どれも実施していない

アンケートは以上で終わります。ご協力ありがとうございました。  
回答ありがとうございます。よろしければお返事もお気軽にお願いします。

**送 信**